

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校・習志野高校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校・習志野高等学校
事業名	1 小学生・中学生・高校生のキャリア教育の推進		平成26年度事業費決算見込み額
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆小学生・中学生を対象にした職場体験を充実させます。 ◆職場体験を受け入れる企業を開拓します。 ◆中学校で、現在ある職業について学習する機会を増やします。 ◆高校3年間を見通した組織的な進路指導を充実させます。 ◆部活動を含めた学校教育全体を通じたキャリア教育を推進します。 		
平成26年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆習志野商工会議所・習志野市商店会連合会に職場訪問及び職場体験学習の趣旨説明、受入の協力依頼、実施予定調査を集約するとともに、実施日が重ならないよう調整しキャリア教育を推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆次代を支える人材の育成を目指して、小・中学校のキャリア教育の連携の充実を図り、児童・生徒の勤労観・職業観を育みます。(指導課・小学校・中学校) ◆講演会、研修会などを通して、生徒に職業観勤労観の育成を推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆現代社会の学習・職業の研究を通じて、高校3年間を見通した組織的な進路指導を充実させ、生徒の職業理解を推進します。(習志野高校) 		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆キャリア教育についての文書等を配布し、周知徹底を図りました。(指導課・小学校・中学校) ◆小中学校の職場体験学習が円滑に実施できるように関係諸機関へ依頼等を行いました。(指導課・小学校・中学校) ◆小論文指導、上級学校ガイダンス、会社訪問等を実施し、キャリア教育を推進しました。(習志野高校) 				
評価指標	◆職場体験実施校数	平成25年度数値	◆小学校16校・中学校7校・高校0校	平成26年度数値	◆小学校16校・中学校7校・高校0校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容
-------------------	---	-------------------

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆キャリア教育の重要性や体験学習の重要性を研修会や学校訪問の際に周知し、職場体験学習が充実したものになりました。(指導課・小学校・中学校) ◆平成26年度の事業内容を実施したことにより、知識理解・関心意欲態度の向上が図られました。(習志野高校) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆キャリア教育で育成すべき能力のうち特に意思決定能力をつけていくために体験活動を重視して行くことが課題となります。(指導課・小学校・中学校) ◆キャリア教育を推進するため、各学校での年間計画の中に「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の形成を位置づけ、充実させていくことが重要です。(指導課・小学校・中学校) ◆部活動との両立を目指した実体験的なキャリア教育の推進を図る方法を検討します。(習志野高校)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆研修会や学校訪問を充実し、キャリア教育と学校教育の連携を図り、特に、体験活動を充実させます。(指導課・小学校・中学校) ◆異校種間のキャリア教育の情報交換や連携を図るための手立てを考え、進めていきます。(指導課・小学校・中学校) ◆職場体験学習を充実させるためにも職場の確保や日程の調整を行い、推進していきます。(指導課・小学校・中学校) ◆高校3年間を見通した組織的・計画的な進路指導を実施し、生徒の進路に対する実践的な意識の向上を図ります。(習志野高校)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校・習志野高校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校・習志野高等学校
事業名	2 開かれた学校づくりの推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆開かれた学校づくりを推進するために、学校評議員制度をすべての市立小学校・中学校・高校に導入しています。		
平成26年度事業目標	◆市立各小中高で、学校評議員から意見を伺い、教育目標の具現化に生かすために今後も学校評議員制度を継続し、開かれた学校づくりを推進します。 ◆秋津小学校では、コミュニティスクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(小学校) ◆学校評議員協議会をさらに充実させるとともに、校内の学校評価に係る体制をより確立させたいと考えています。(習志野高校)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆小中学校・高等学校で、学校評議員に実際の教育課程を参観していただき、教育目標の具現化や教育課題等意見を伺い、学校評議員制度を継続させ、開かれた学校づくりを推進しました。(指導課・小学校・中学校) ◆秋津小学校では、コミュニティスクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進しました。(指導課・小学校・中学校) ◆学校評議員会を通じて学校評価を充実させ、学校教育の中に活かしました。(指導課・小学校・中学校) ◆学校評議員協議会、学校関係者評価委員会、ミニ集会等を実施し、学校に対する共通認識と今後の方向性について協議しました。(習志野高校)				
評価指標	◆学校評議員制度導入校数 ◆学校運営協議会設置校数	平成25年度数値	◆小学校15校・中学校7校・高校1校 ◆小学校1校	平成26年度数値	◆小学校15校・中学校7校・高校1校 ◆小学校1校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆学校評議員委員会制度や学校運営協議会を開催することで、学校運営や教育活動を見直し、改善することができ、地域に開かれた学校づくりの推進が図れました。(指導課・小学校・中学校) ◆学校の考え方や方向性に対する理解を深めることにつながりました。(習志野高校)	◆実態と理想像との乖離をどのように克服し、より良い方向に結びつけることができるかが課題となりました。(習志野高校)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆今後も評議員制度を継続し、市内各小中高で意見を伺いながら教育目標の具現化を図れるように推進していきます。(指導課・小学校・中学校) ◆秋津小学校のコミュニティスクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・小学校) ◆外部の方々のご意見を吸収し、より良い学校経営に結びつけるため、内容のある協議会を実践します。(習志野高校)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター・小学校・中学校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校
事業名	3 個に応じた多様な指導の充実		
事業の概要	◆学校訪問等で授業研究を実施した際、個に応じた指導方法・学習形態の在り方に関して研究・協議を行い、きめ細かな指導をします。 ◆少人数指導による積極的な活動により、きめ細かな指導をします。		
平成26年度事業目標	◆各学校で、より効果的な少人数指導及びチームティーチング指導を実施し、その成果と課題を明らかにします。(指導課) ◆学校訪問等で授業を実践した際に、個に応じた指導方法・学習形態のあり方、指導と評価の一体化等に関して研究・協議を継続します。(指導課・総合教育センター)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆学校要請訪問にて、指導目標と指導内容の明確化を図る中で、個に応じた指導がどうあるべきかを具体例を挙げて、事前協議(指導案検討会)を行い、授業後の協議会にて、具体的な児童・生徒の発言、つぶやき、ノートへの記述などの把握の方法とそれらを活かす指導のあり方を指導助言したり、ビデオ等にとり、見直すことによって、適時適切な指導のあり方を話し合いました。				
評価指標	◆少人数(TTを含む)授業実施校数	平成25年度数値	◆23校	平成26年度数値	◆23校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆少人数指導(TT)での指導では、2人の役割を明確にすることが重要であることが再確認できたとともに、必要に応じて臨機応変に対応することによって、子どもたちの学力向上、特に思考力・判断力・表現力の育成に役立ちました。	◆すべての少人数指導(TT)を含む授業者に対して、指導方法を広めていくためのビデオづくりをするなどの工夫を重ねていくこと、更に、学習形態の工夫改善を具体化することが課題としてあげられます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆各学校で、より効果的な少人数指導及びチームティーチング指導を実施し、その成果と課題を明らかにします。(指導課) ◆より多くの学校訪問等を行い、授業実践の記録を残し、より具体的に個に応じた指導方法・学習形態のあり方、指導と評価の一体化等に関して研究・協議を継続します。(指導課・総合教育センター)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	幼稚園・保育所・こども園・小学校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	幼稚園・保育所・こども園・小学校
事業名	4 幼稚園・保育所・こども園・小学校関連研修会の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校が連携して、保育・授業参観、合同研修会、相互職場交流研修、園児・児童の交流学習等を開催し、相互の連携に努めます。		
平成26年度事業目標	◆幼稚園・保育所・小学校間での交流を通して、子ども親や保育観・教育観を培い、幼稚園・保育所・こども園・小学校の職員それぞれが、長い期間で子どもの発達や教育を語れるようにします。(小学校) ◆幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目指して、子どもの発達、教育内容や指導方法について相互理解を図り、それぞれの指導に生かします。(幼稚園・保育所・こども園)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆幼稚園・保育所・小学校間での子ども同士での交流活動の企画・実施、保育や授業の相互参観などの機会を有効活用し、保育や指導の考え方、実践の流れ、そこでの子どもの様子などについて理解を深め、指導に活かしてきました。 ◆今年度、袖ヶ浦こども園が開園し、11幼稚園・3こども園・8公立保育所・4私立保育園と16小学校で15ブロックに分かれて、交流活動や実践及び情報交換を実施しました。 ◆全体研修会を3回実施しました。 ◆民営化した私立保育園2園の他私立保育園1園も研修に参加し、交流を実施しました。				
評価指標	◆全体研修会開催回数	平成25年度数値	◆3回	平成26年度数値	◆3回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆情報交換を適宜行うことで、子どもの発達に応じた課題や実態に応じた指導につなげることができました。 ◆交流や保育・教育の相互参観をととして幼児の発達の捉え方や、保育観・教育観や指導のあり方の情報交換を行ってきたことで、子どもたちの生活の仕方の見直しや学習指導に活かすことができました。 ◆交流の場について事前の発達や学びが、小学生や小学校へのあこがれや親しいにつながり、子どもたちの不安が期待へとつながりました。(幼稚園・保育所・こども園)	◆子ども同士の交流と職員間の情報交換、実践に向けての話し合いは適宜丁寧に行っていくことが大切であり、幼児の学び、児童の学びを捉え、必要な環境を整えたり配慮したりしていく必要があります。 ◆保育・授業の相互参観などは互いの子ども達の発達を知ると同時に小学校への滑らかな接続とは何を大切にするのか、指導のあり方はどうなのかを担当者だけでなく、施設全体を巻き込んで共に考えることが課題としてあげられます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校間での交流と保育・授業の相互参観・情報交換をとし、校種間の独自性と連続性を踏まえた学びのつなげ方について考えます。 ◆小学校教育への円滑な接続をめざし、子どもの発達や教育内容・指導方法について相互理解を図り、学びの連続性を見直しながら保育を実施します。 ◆幼稚園・保育所・こども園・小学校間での交流と保育・授業の相互参観・授業を行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校
事業名	5 福祉教育の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆社会福祉協議会と連携を図り、福祉教育やボランティア活動に取り組んでいきます。 ◆勤労精神やボランティア精神を養う体験的な活動を経験するため、中学生の地域美化活動、地域独居老人給食サービスの手伝い、地域敬老会への参加等を推進します。		
平成26年度事業目標	◆各教科・道徳・総合的な学習・特別活動などにおいて、生徒の勤労精神やボランティア意識を高める実践を小・中学校で実施します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆小中学校で、総合的な学習や特別活動の中で地域の福祉施設との交流や福祉教育を推進することで、地域の行事に意欲的に参加しました。				
評価指標	◆ボランティア活動実施校数	平成25年度数値	◆小学校16校・中学校7校	平成26年度数値	◆小学校16校・中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆福祉体験や福祉施設との交流などを通して福祉に対する理解が深まり、子どもたちの心身の健全な成長と自立を支える支援につながりました。 ◆今年度より七中学区において福祉教育推進地区の3年間の指定を受け、初年度として計画立案に努力しました。	◆特になし。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆教育課程の全体を通して福祉教育を推進し、勤労意欲やボランティア意識を高め、子どもたちの心身の成長と自立させるための実践を小中学校で実施します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	クリーンセンター施設課・谷津干潟自然観察センター・公園緑地課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市内小学校の4年生
事業名	6 環境教育の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	250,000円
事業の概要	◆小学生の環境教育を推進するための一環として、クリーンセンター(リサイクルプラザ・清掃工場)、谷津干潟自然観察センターの施設見学を実施します。		
平成26年度事業目標	◆来館した児童に、野鳥や生きものなどの自然の観察活動などを通じて、谷津干潟について体験的に学んでもらえるようにします。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課) ◆観察センターでの学習をより効果的に行うため、対応内容やこちらに求められる対応についてさらに詳しく聞き取るなど、教員との連携を図ります。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課) ◆事前に学校単位で、職員と担当教員の打合せを行い、時間配分、見学内容の見学行程表を作成し、ごみの減量、3Rの推進を図る学習になることを目指します。(クリーンセンター施設課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆小学校4年生の環境教育の一環としてクリーンセンター(リサイクルプラザ・清掃工場)の施設見学を実施しました。(クリーンセンター施設課) ◆谷津干潟自然観察センター実施プログラム:「谷津干潟ビンゴ」(所要時間およそ70分)(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課) ○プログラム目標 ・谷津干潟に生息する生きものや自然を自ら探し、観察を楽しむ。 ・レンジャーによる事前や事後のレクチャーを通して、観察の仕方や、干潟の働きなどを学ぶ。 ・ラムサール条約について知る。 ○内容 ・谷津干潟に飛来した渡り鳥やカニや貝などの生きものや自然など、谷津干潟において見られるさまざまな要素を題材にしたビンゴシートを用いて、ゲーム形式で観察を行いました。本プログラムでは、観察センターの館内、および野外(谷津干潟周辺の遊歩道)から、谷津干潟を観察しました。児童には、ビンゴシートをきっかけに、野鳥や生き物探しやその観察を楽しんでもらい、体験を通して谷津干潟の自然や生物について学習してもらいました。				
評価指標	◆谷津干潟自然観察センター ◆クリーンセンター見学児童数	平成25年度数値	◆小学校4年生1,526人 ◆小学校4年生1,525人	平成26年度数値	◆小学校4年生1,449人 ◆小学校4年生1,519人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆教師の意見・感想から抜粋(クリーンセンター施設課) ・実物に触れたことが子どもたちにはかなり新鮮だった。 ・ワークシートを活用しながら意欲的に見学ができた。 ・見学だけでなく、作業している人とかかわりがもて良かった。 ・ビデオを見てからの見学はわかりやすかったが、専門用語が多々あり、子どもたちには少し難しかった。 ・有害ごみや、回収できないごみについての説明をもっと聞きたかった。 ・リデュースに対する関心意欲をもっと高められるような資料展示や説明がほしかった。 ◆引率の教員向けのアンケートより抜粋(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課) ・今後、総合学習において谷津干潟に関連した自然をテーマにした学習を組んでいるのでいっしょにできるといいなと思ったと思います。 ・レンジャーやボランティアの方に親切に教えていただいた。 ・日頃なかなか来られないところでカニや魚、鳥が直接自分の目で見る事ができた。望遠鏡など観察道具がそろってよかった。 ・遊歩道からの観察ができてよかった。 ・レンジャーからのお話の内容も事前打合せの時に少し相談させていただけると指導をあらかじめしやすくなります。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆ごみの処理の流れ、ごみを減らす大切さとリサイクルの必要性を学んでもらいました。(クリーンセンター施設課) ◆習志野市の自然財産である谷津干潟について ・色々な野鳥や生き物があること ・周辺は埋め立て地であること ・市民の力により埋め立てを免れたということ 等が観察およびレクチャーを通じて印象付けられたと思われます。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課) ◆特に野外(遊歩道)での観察は干潟との一体感があり、のびのびと観察している様子でありました。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)	◆近年、児童数の多い小学校(158名)と児童数の少ない小学校(33名)があるため、説明時間等の調整が必要です。特に児童数の多い小学校については移動時間が長くなり説明時間の不足や子どもたちの集中力が低下してしまいます。(クリーンセンター施設課) ◆子どもたちにわかりやすい説明を心掛けているつもりですが、専門用語等の言葉は子どもたちには難しく、もう少し噛み砕いた説明の必要性を感じました。(クリーンセンター施設課) ◆レクチャーが盛りだくさんで全体が間延びしてしまったことがあったことから、プログラム全体の時間配分を学校の人数や天候、児童の体調などを見ながら臨機応変に行う必要があります。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課) ◆解説用の資料の更なる充実(保護運動のパネルや生き物の実物等)が必要です。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆事前に学校単位で、職員と担当教員の打合せを行い、時間配分、見学内容の見学行程表を作成し、ごみの減量、3Rの推進を図る学習になることを目指します。(クリーンセンター施設課) ◆解説用資料を拡充させます。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課) ◆事前打合せによるプログラムの充実を図ります。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課) ◆コンパクトな時間配分による、スムーズなプログラム運営を行います。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校
事業名	7 学校健康教育の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆思春期の子ども達の心身の健康教育、特に体力向上や健康安全教育(エイズ・自然災害・交通災害・喫煙・薬物乱用・食育等)について指導を行います。		
平成26年度事業目標	◆食育等の健康教育や安全教育については、新学習指導要領において重点項目にあげられていることから、引き続き学校訪問の全体会等で指導していきます。 ◆体力・運動能力については、研修・研究会を充実させ、向上を図っていきます。 ◆県平均より下回る種目に関して、県平均を上回ることを目指していきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆各学校で実施している事業等を研修会で発表し合い、参考とするようにしました。 ◆体力・運動能力調査を実施し、結果分析を行い、各学校に配布しました。 ◆学校訪問等において、健康教育推進のための指導・助言を行いました。 ◆各中学校で、消防署の協力を得た救急救命講習の学習の普及を行いました。				
評価指標	◆学校運動能力証合格率	平成25年度数値	◆小学校 32.5% ◆中学校 33.2%	平成26年度数値	◆小学校31.1% ◆中学校36.6%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆運動能力証合格率が中学校では増加し、小学校では減少しています。新体力テストの市の平均は、県の平均を上回る結果を出しており、各学校の日頃の運動への取り組み、体育の授業での取り組みが児童生徒の体力の維持・向上につながっています。 ◆薬物乱用防止教育では、外部の講師を招き、生徒が薬物に関する正しい知識を身につけ、心身の健全な成長と自立を支える取り組みとなりました。 ◆普通救命救急講習の実施を通して、安全に対する意識の向上、命の大切さを考える取り組みとなりました。(全中学校、小学校4校で実施)	◆体力・運動能力に関して、運動能力証の合格率が、県の平均を上回る結果を示しているが、種目ごとの成績を見てみると、走力(50m走)、投力(ソフトボール、ハンドボール投げ)が劣っている傾向が見られ、特に投力については特殊な技能を必要とするため、各学校での取り組みの改善が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆体力・運動能力については、教科研修・研究会を充実させ、目標を持って向上を図っていきます。 ◆県平均を下回っている種目について、運動処方や体力トレーニングの周知や研修を深め、県平均を上回るように取り組んでいきます。 ◆食育・学校安全などの健康教育について、養護教諭の研修や保健主事の研修等で指導していくことや学校訪問などの機会をとらえ、指導していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	教育総務課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	児童・生徒・学校教職員
事業名	8 学校施設の整備		
		平成26年度事業費決算見込み額	908,243,000円
事業の概要	◆情報化社会等に対応しつつ、また防災対策として学校施設の大規模改造を行います。		
平成26年度事業目標	◆耐震性のない建物に対し耐震補強工事を実施し、耐震化を図ることは喫緊の課題であることから、平成26年度までに耐震化完了を最優先に取り組みます。平成26年度は東習志野小学校校舎、藤崎小学校校舎及び体育館、向山小学校校舎、実花小学校体育館、第一中学校校舎、第四中学校校舎新館、第五中学校体育館、第六中学校校舎の耐震補強工事を実施します。 ◆学校体育館にあっては災害時の避難所としての機能を有することから、非構造部材の耐震化の必要性について小学校15校(津田沼小除く)、中学校7校について調査を実施します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆東習志野小学校校舎、藤崎小学校校舎・体育館、向山小学校校舎、実花小学校体育館、第一中学校校舎、第四中学校校舎新館、第五中学校体育館、第六中学校校舎の耐震補強工事を実施し、市内小中学校施設の耐震化を完了しました。 ◆学校体育館の非構造部材(天井材、照明器具、バスケットゴール等)の耐震化の必要性について調査・点検を実施しました。 ◆小中学校施設の老朽化対策の実施に向け、袖ヶ浦西小学校、大久保東小学校の大規模改修工事のための設計を実施しました。				
評価指標	◆学校施設耐震化率	平成25年度数値	◆81.7%	平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆平成23年3月11日の東日本大震災以後、課題であった小中学校の安全・安心な教育環境確保を図るため早期の施設構造体の耐震化を計画どおり、国の方針を1年前倒した平成26年度で完了しました。	◆小中学校施設の構造体の耐震化完了後の課題として、平成27年度中に体育館の非構造部材の耐震対策の実施及び学校施設の老朽化対策として、今後、計画的な大規模改修や改築を進めていく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆小中学校の体育館における非構造部材の耐震対策の完了を目指します。
------------	-----------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	教育総務課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市内で組織された団体(町会・まちづくり会議等)
事業名	9 余裕教室の有効活用		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆学校の余裕教室を地域に開放する等、有効活用します。		
平成26年度事業目標	◆学校運営に支障のない範囲で、引き続き余裕教室の有効活用を図ってまいります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆袖ヶ浦西小学校(袖ヶ浦西コミュニティールーム 継続) ◆袖ヶ浦西小学校(ボランティアサークルひまわり活動室 継続) ◆秋津小学校(秋津コミュニティールーム 継続) ◆香澄小学校(社会福祉協議会香澄支部活動室 継続) ◆袖ヶ浦東小学校→袖ヶ浦西小学校(習志野市PTA連絡協議会 継続) ◆袖ヶ浦東小学校((仮称)千葉県立習志野特別支援学校開設準備 新規) 				
評価指標	◆教育財産使用許可件数	平成25年度数値	◆5件	平成26年度数値	◆6件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆余裕教室を地域や団体に開放することで、より市民に開かれた学校とすることができ、また資産の有効活用を図ることができたと考えております。	◆学校施設管理者との十分な協議と理解が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆学校運営に支障のない範囲で、引き続き余裕教室の有効活用を図ってまいります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	総合教育センター
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市内在住、または小・中学校に在籍していて、心理的要因により不登校となっている児童・生徒(小4～中3)
事業名	10 適応指導教室の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	233,153円
事業の概要	◆不登校児童・生徒の状況に応じた、個別・小集団を通しての指導・援助を行います。		
平成26年度事業目標	◆通級している児童・生徒全員の在籍校復帰を目指します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆学習活動(教科の学習、図書館学習、PC学習、英語活動、等) ◆体験的活動(校外学習、こども園との交流 等) ◆集団活動(体育活動、調理実習、清掃、係活動 等) ◆カウンセリング ◆在籍校、保護者との連携(学校訪問、保護者会、個人面談 等)				
評価指標	◆不登校児童・生徒の学校復帰率(部分復帰を含む)	平成25年度数値	◆89%	平成26年度数値	◆71%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(通級生徒の保護者・担任からの感想(面談時・連絡時)) ◆友達とつながりがもてるようになりました。 ◆年度当初は高校への進学は考えられませんでした、進学先を決めることができました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆通級申請者7名中5名が在籍校への部分復帰をかなえました。 ◆個別にセンターに在所している生徒で、体験として適応指導教室で学習したり集団生活を送ったりすることで、在籍校に完全復帰や部分復帰をしたり、人との関わりを広げたり等の成果がありました。(3名)	◆在籍校との細やかな連携が必要です。 ◆生徒が心理的要因から通級できなくなった時の対応を検討する必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆通級している児童・生徒全員の学校復帰を目指します。
------------	----------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター・学校教育課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校
事業名	11 教育相談活動の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆小学校・中学校・高校に児童・生徒教育相談員、スクールカウンセラーを配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実と、いじめ・不登校等の問題行動の解決を図ります。 ◆総合教育センターにおける電話相談、来所相談、グループ相談、訪問相談(学校・家庭)への対応や啓発資料の配布等、教育相談活動の充実を図ります。		
平成26年度事業目標	◆研修会や連絡会を充実させ、引き続き各小・中学校の教育相談体制の充実を図りながら、中学校区内の小学校・中学校との連携を進めるとともに不登校児童の多い学校に児童生徒相談員を配置し、いじめ・不登校の未然防止、解消を目指す教育を推進していきます。(指導課) ◆教育相談研修の内容が、学校教育相談を推進していく上で必要な資質や能力の向上につながるように精選し、年に3回の受講希望者が増加するように努めます。(総合教育センター)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆児童・生徒教育相談員連絡会の実施 (小学校2名、中学校7名の教育相談員により、実践報告と事例研究を実施し、午後には市内小中学校の生徒指導主任、長欠対策主任と合同で研修会を開催し、教育相談の現状と課題を協議し、情報の共有を行うことができました。) ◆学期ごとの報告をもとに、各学校の実施内容を確認しました。 ◆市で統一のいじめアンケートを年3回実施し、各校の集計結果をもとに情報の共有を図りました。				
評価指標	◆教育相談員配置校数	平成25年度数値	◆小学校1校 ◆中学校7校	平成26年度数値	◆小学校2校 ◆中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆今年度は、新たに小学校に1校に児童・生徒教育相談員を配置しました。不登校傾向の児童の迎えに行き等、積極的に活動しており、不登校児童・生徒の減少に寄与しています。	◆教育相談員の増員(小学校への配置) ◆相談件数の増加 ◆相談室の環境整備
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆研修会や連絡会を充実させ、引き続き各小・中学校の教育相談体制の充実を図りながら、中学校区内の小学校・中学校との連携を進めるとともに不登校児童の多い学校に児童生徒相談員を配置し、いじめ・不登校の未然防止、解消を目指す教育を推進していきます。(指導課) ◆教育相談研修の内容が、学校教育相談を推進していく上で必要な資質や能力の向上につながるように精選し、年に3回の受講希望者が増加するように努めます。(総合教育センター)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	総合教育センター
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市民
事業名	12 青少年・家庭教育相談活動の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	558,000円
事業の概要	◆平成24年4月より、教育相談・特別支援就学相談・青少年テレホン相談の窓口が、総合教育センターに一元化されました。それにより、幅広い市民の皆様を対象に、来所相談・電話相談・訪問相談等に取り組みます。		
平成26年度事業目標	◆25年度活用していただいた状況を保持していくとともに、相談の質の向上を目指します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆来所相談:新規受件数 163件 延べ回数 2,191回に対応しました。 ◆電話相談:教育相談・特別支援教育 556件、青少年テレホン相談 999件に対応しました。 ◆訪問相談:学校訪問 132件、家庭訪問 75件に対応しました。 ◆教育相談研修:幼稚園・こども園・保育所・小中学校教職員を対象に、年に3回実施しました。				
評価指標	◆青少年テレホン相談件数 ◆教育相談件数 (ともに1月末現在の数値)	平成25年度数値	◆青少年テレホン相談936件 ◆教育相談 2,953回	平成26年度数値	◆青少年テレホン相談999件 ◆教育相談 2,191回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆継続して、安定した対応をしてもらえる。 ◆子どもへの関わり方に自信がもてるようになり、親子関係が変わってきた。 ◆子どもが安心できる場所ができ、社会(学校)に出ていく力が蓄えられた。 ◆教育相談研修は、現場ですぐに生かせる内容で充実していた。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆相談窓口が一元化されたことで職員の人員増となり、多くの電話・来所相談に対応することができました。 ◆教育相談研修を充実させることで、実際に学校で子どもたちに関わる教職員の資質向上に役立つことができました。	◆相談内容がより重く、複雑になってきています。相談員も日々研修に努め、関係機関と連携していく必要があります。 ◆教職員の要望にあった教育相談研修を企画し、より充実させていくことが必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆26年度活用していただいた状況を保持していくとともに、相談の質の向上を目指します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市民
事業名	13 家庭児童相談の充実		
事業の概要	◆子育て支援相談室において、家庭児童相談等の推進を図ります。		
平成26年度事業目標	◆職員のさらなる知識技術の向上を図り、児童相談所や関係機関との連携を深め、児童家庭福祉(環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等)に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応できる体制づくりを目指します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	1. 子育て支援相談の実施 ◆0歳～18歳未満の子どもを持つ保護者及び児童等からの子どもに関するあらゆる相談に対し、電話、面接、訪問により、問題解決に向けた助言や情報提供を行いました。 ◆児童虐待の通報・相談窓口として千葉県中央児童相談所と連携し、問題解決に向けた取り組みを行いました。 H27.1月末現在の相談件数:7007件 実人数:563人(うち児童虐待相談件数:3370件 実人数:307人) 2. ならしのこどもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の運営 ◆児童福祉法第25条の2に基づく要保護児童対策地域協議会の事務局として、代表者会議(年2回)、実務者会議(年6回)、個別支援会議(37回 H27.1月末)や研修会の開催など、虐待防止に向けた庁内及び地域におけるネットワーク構築に努めました。 3. 養育支援家庭訪問事業の実施 ◆養育困難な妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、家庭訪問などにより育児についての技術的支援を行いました。(処理件数:6件 延べ65回) ◆臨床心理士による勉強会を実施し(年5回)、相談技術の向上に努めました。 4. コモンセンスペアレンティング講座の開催 ◆子育て支援・児童虐待予防の観点から、具体的なしつけの方法を親に効果的に教えるトレーニングプログラムである、コモンセンスペアレンティング講座を開催し、啓発・普及を図りました。				
評価指標	◆相談件数	平成25年度数値	◆5,989件	平成26年度数値	◆8,676件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆支援を必要とする家庭に対し、直接的な助言や情報提供を行うとともに、千葉県中央児童相談所や庁内関係機関との連携を図り、個々の家庭に応じた支援を行いました。 ◆各事業の支援を検討するうえで臨床心理士による勉強会を開催し(年5回)、職員の相談技術の向上を行いました。 ◆こどもを守る地域ネットワーク主催による研修会を開催し、子どもに関わる関係者の児童虐待防止の意識の醸成を図りました。 ◆子育て短期支援事業の開始や家庭児童相談のシステム導入など、さらなる充実に努めました。 ◆コモンセンスペアレンティング講座を開催し、児童虐待の未然防止に努めました。	◆支援を必要とする家庭への対応は、個々に合わせて、きめ細やかに行っているが、常にその対応について検証を行っていく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆職員のさらなる知識技術の向上を図り、児童相談所や関係機関との連携を深め、児童家庭福祉(環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等)に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応できる体制づくりを目指します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	男女共同参画センター
施策内容	2 次代の親の意識づくり	事業対象者	市民・市職員
事業名	14 男女平等推進のための意識づくり	平成26年度事業費決算見込み額	1,227,696円
事業の概要	◆「習志野市男女共同参画基本計画」に基づき、講座の開催やパンフレットの配布等で、男女平等推進のための意識づくりを推進します。		
平成25年度事業目標	◆家庭や地域・職場等、社会のあらゆる場面において、男女平等の意識づくりが浸透することを目指し、講演会等の啓発活動を実施します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<p>【1】市制施行60周年及び男女共同参画センター開設10周年記念による男女共同参画週間事業 講演会・分科会 ※登録団体から構成される運営委員会との協働により実施しました。日時:6月28日(土)13:00~16:30 会場:サンロード津田沼5階・6階 参加者:127名 テーマ:違いを認めあいにいきる 講師:弁護士 瀧美雅子さん</p> <p>【2】登録団体連絡会議 日時及び会場:第1回:5月30日(金)10:00~11:30 サンロード津田沼6階特別会議室 第2回:11月17日(月)10:00~11:30 サンロード津田沼6階大会議室 テーマ:活動報告・活動計画、登録団体と市との連携・協働のあり方について(意見交換)</p> <p>【3】男女共同参画基本計画・分野別計画(DV防止対策編)総括評価報告書を公表しました。(11月) 市内公共機関に冊子を配布し、市ホームページに掲載しました。</p> <p>【4】男女共同参画啓発講座 日時:9月18日(木)、25日(木)、10月3日(金)、9日(木)、16日(木)(5回講座)10:00~12:00 会場:サンロード津田沼5階研修室 参加者:104名(延べ) テーマ:ワタシへのごほうび講座2014 講師:NPO法人パートナーシップながれや代表 山口文代 他</p> <p>【5】子育て応援セミナー ※こどもセンター(鷺沼)との共催事業 日時:3月8日(日)10:00~12:00 会場:男女共同参画センター交流コーナー 参加者:41名 テーマ:夫婦で考える育児 講師:株式会社アイナロハ 代表取締役 渡辺大地さん</p> <p>【6】11回みんなでまちづくり ※協働まちづくり課との共催事業 日時:11月2日(土)、3日(日・祝)10:00~16:00 会場:サンロード津田沼5階、6階 参加者:641名 参加団体:35団体 テーマ:ふれあう つながる I LOVE 習志野 内容:登録団体企画によるワークショップ、展示等を行いました。</p> <p>【7】情報紙「さらさら」発行 ※市民参画による企画・編集 特集テーマ 第30号(7月発行)「編集委員が語る 男女共同参画の今」第31号(11月発行)「アメフト選手が語る子育て」第32号(2月発行)「仕事と子育て バランスよく働き続けたい~大学生に聞く男女共同参画」各13,000部 市内幼稚園、保育所、小学校保護者等に配布し、公共機関等に設置しました。</p> <p>【8】広報「習志野」平成27年1月1日号 コラム「男性にとつての男女共同参画」を掲載しました。</p> <p>【9】職員啓発紙「ビーナ通信」発行 第35号(10月発行)働き方を変えてみよう!~あなたが今日からできること~第36号(1月発行)女性職員・若手職員応援メッセージ「女性リーダーと語る『管理職の役割と魅力』」第37号(2月発行)女性職員・若手職員応援メッセージ「男性リーダーと語る『働く女性の活躍推進とワーク・ライフ・バランス』」</p> <p>【10】男女共同参画センター(ステップならし)の図書情報コーナーに、男女共同参画やDV、ワーク・ライフ・バランス等に関連する書籍を設置しています。</p>				
評価指標	◆男女共同参画週間中の講演会等実施回数	平成25年度数値	◆2回	平成26年度数値	◆1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>各事業におけるアンケートより</p> <p>【1】◆市長との対談は良かった。日本はまだまだ女性が社会に参画するのが難しいと感じました。</p> <p>◆どの地区も高齢化している中で、防災意識をどのように持ってもらえるのか、自動努力はどこまで実行できるのか、市民への周知方法が問題だと感じました。</p> <p>【4】普段馴染みのない場所ですが、この講座が来所者のきっかけとなり、男女共同参画を考えるきっかけとなりました。今回のような連続講座だけではなく、単発でもたくさん開かれると嬉しい。色々な角度から今の自分、未来の自分、まわりのことを見つめる機会となりました。</p> <p>【5】◆夫婦間での将来設計、コミュニケーションを図るうえでとても大事なポイントばかりでした。</p> <p>◆産後について具体的なイメージもわかず夫とのコミュニケーションにも不安を感じていたので、良い機会となりました。</p> <p>【6】このような自由な市民活動を大切に育んでいってほしいと思います。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>◆男女共同参画週間事業は例年より規模を拡大し講演会その他、分科会を開催しました。ただ講演を聞くことだけでなく、各テーマに沿った市民との意見交換の場となりました。参加者の年代も幅広く世代を超えて現状を認識し、問題を共有できました。</p> <p>◆登録団体連絡会議において、センター登録団体と意見交換を行い本来あるべき市との協働のあり方を議論することができました。これにより来年度において制定する登録団体要綱の土台をつくることができました。</p> <p>◆啓発講座は参加対象を「未就学児をもつ母親」と限定しテーマを絞ったことから、問題意識は概ね共有できました。5回連続講座において、これからの自分と向き合いロールモデルの情報や経験談をもとに、自分自身の将来設計を具体的に考える機会を提供できました。</p> <p>◆みんなでまちづくりにおいては、男女共同参画センター登録団体だけでなく、協働まちづくり課の登録団体と一緒にそれぞれの市民活動を広く来場者へPRしました。来場者も子どもから高齢者まで幅広く地域活動の意義を周知するきっかけとなりました。</p> <p>◆子育て応援セミナーは、夫婦で参加する内容であり、初めて男女共同参画センターへ来場した方が多かったことから、男女共同参画センター自体を知っていただくことにもつながり、併せて産後のコミュニケーションをきっかけに男女共同参画の視点にたつた子育て支援につながりました。</p> <p>◆市民に対する啓発紙として「さらさら」を発行していますが、男女共同参画(男女平等)について大学生の座談会や男性の視点からの子育て支援など特集記事を盛り込み、視点に偏りなく意識啓発することができました。</p> <p>◆庁内向けの啓発紙として「ビーナ通信」を発行していますが、これからの時代を担う若手職員や活躍推進を期待される女性職員へのメッセージを現職の管理職から発信するかたちで伝えることができました。</p>	<p>◆意識啓発は、常に発信し続けることが必要であり、連動性、継続性が不可欠であると認識しています。このことから、関係部署との連携がなくてはならないと考えています。講演会、講座セミナー等の開催についても、他部署で行う事業と、効果的な連携サイクルをつくりあげ市民ニーズに応えていかなければなりません。</p> <p>◆広く市民へ周知し意識づくりへつなげていかなければならないのですが、ターゲットを絞り込めない啓発は来場者向上にもつながりにくいことから、何を誰に伝えたいのかを、より明確にし啓発を行うことが必要となります。</p>
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆家庭、地域、職場、学校等社会のあらゆる場面において、男女共同参画の意識が浸透することを目指し、講演会等の啓発活動を実施します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	健康支援課・公民館・幼稚園・こども園・小学校・中学校・指導課
施策内容	2 次代の親の意識づくり	事業対象者	未就学児とその保護者、3歳児をもつ親、在園児及び保護者・小学校・中学校、PTA会員
事業名	15 年代に応じた「いのち・性」の教育の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	1,698,460円
事業の概要	◆自分だけではなく、他人も思いやり、互いのいのちを大切にするための支援の一環として、子ども・保護者に向けて、「いのち・性」の大切さを啓発する活動や学習の機会を充実を図り、自分自身が愛されて育てられたことを理解し、自分自身を肯定的に受け止められるように支援します。 ◆幼稚園・こども園・学校・PTA・公民館・ヘルステーション等の関係機関と連携し、「乳幼児健康相談事業」、「幼稚園健康教育」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」等、それぞれの年代に応じて、一貫した「いのち・性」の健康教育を行います。		
平成26年度事業目標	◆引き続き継続的に教育の機会を設けるとともに、関係機関との連携を深め、教育内容の充実を図る必要があります。(健康支援課) ◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、子どもの年齢に応じた生教育や「いのち」に関するプログラムを積極的に取り入れていきます。(公民館) ◆発達段階に合わせた性教育の実施について、周知徹底を図るとともに、県の「性教育」にかんする研修を全小学校・中学校が参加することで、最先端の情報を共有するように努めます。(指導課・小学校・中学校) ◆人権教育にかかわる研修の充実を図り、相手の立場になって考えられるやさしい心を育む指導をしていきます。(幼稚園・こども園)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆公立幼稚園との協働による「幼稚園健康教育」、公民館主催の「育児講座」、「幼児家庭教育学級」、「親と子のふれあい講座」、「PTA家庭教育学級」等の中で、乳幼児期の保護者に対して、子どもとの関わりや「いのち・性」についての内容を健康教育の中に取り入れ、実施しています。(健康支援課) ◆4か月児・10か月児健康相談では、基本的信頼関係や子どもとの向き合い方について媒体を用いて伝えています。(健康支援課) ◆1歳6か月児・3歳児健康診査の会場にも「いのち・性」に関する絵本を提示し、親子で話ができるよう工夫しながら情報提供を行いました。(健康支援課) ◆幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級の中で、家庭における「いのちの教育」や「性教育」の大切さや方法を学びました。(公民館) ◆教育計画に位置付けるとともに、意図的・計画的に研修体制を整え、人権教育についての共通理解を図りました。(保育所・幼稚園・こども園) ◆県主催の人権研修に参加し、園内で報告会を設けることで共通理解を図りました。(幼稚園・こども園) ◆事例研修を通して、優しい心を育む指導について協議し学ぶ機会としました。(幼稚園・こども園) ◆関係機関と連携し、健康教育や家庭教育学級で「いのち・性」に関する機会を設けました。(幼稚園・こども園) ◆「命を大切にするキャンペーン」を実施し、自分と他者の命を大切にする心、いじめや暴力行為等人権侵害は許されない行為であるという意識を高めました。(指導課) ◆小学校の健康教育における、性教育の実施しました。(小学校) ◆中学校の保健学習における「第二性徴」をはじめとする性教育の実施しました。(中学校)				
評価指標	◆性教育をしたことがある親の割合 ◆自分以外の人に優しく接している人の割合	平成25年度数値	◆28.2% ◆50.8%	平成26年度数値	◆28.2% ◆43.4%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆幼稚園健康教育では、「あかちゃんの人形に対して優しい表情で見ている子どもに対しほほえましく思えた」「子どものうちからいのちの大切さを伝えることの大切さを感じる」等の感想を得ています。(健康支援課) (PTA家庭教育学級 講演会)「いのちの話・体の話」 ◆子どもに命の大切さを伝え、自分自身を大切にして、他人への思いやりの気持ちを持ってほしいと感じました。(公民館) ◆ホルモンの影響で思春期・更年期ともに体調やメンタル面に不安が生じることを理解し、心構えができました。(公民館) ◆性について子どもに質問されたときに、健康に生きていくために必要な知識であるということを教えることができると思いました。(公民館)
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆講座・学級等では、100回述べ6,079人の乳幼児とその保護者に対して、4か月児健康相談では133回1,361人、10か月児健康相談では110回1,311人の乳児の保護者へ教育を行い、多くの対象者へ命の大切さや性についての教育を行いました。また、1歳6か月児・3歳児健康診査の会場に情報提供のために提示した「いのち・性」に関する絵本は、親子で見ている様子が多数みられました。(健康支援課) ◆事業に参加した保護者自身が「いのちの大切さ」や「性教育」について学ぶことにより、家庭で子どもと向き合い、話し合うきっかけづくりとなりました。(公民館) ◆研修会を設けることで意識の向上が図られました。また、幼児一人ひとりを理解し、良さを大切にする指導が実践されました。(幼稚園・こども園) ◆友達とかかわることの楽しさを味わうと同時に、自分の考えとの違いにも気づき相手の考えや気持ちに気づき受け入れたり、認めたりする気持ちが育ってきました。(幼稚園・こども園) ◆各小・中学校の取り組みを通して、命の大切さにふれることにより、子どもの心身の健全な成長と自立を支援することができました。(指導課)	◆乳幼児やその保護者対象の健康教育では、引き続き機会を捉えて多くの方に継続的な「いのち・性」に関する情報提供をしていく必要があります。(健康支援課) ◆情報交換会の結果、平成26年度は「いのち」や「親と子の絆」のテーマが多く、子ども同士の対応について学び、社会性や適応力の問題に目を向けるのもよいのではないか、という意見がありました。(公民館) ◆教師が幼児理解を深めることで、幼児の心の育ちを促すことにつながります。望ましいかわりを築くための発達理解や対応の仕方について、更に研鑽していくことが必要です。(幼稚園・こども園) ◆横断的な会議、打ち合わせが必要であると考えます。(指導課)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き断続的に教育の機会を設けるとともに、関係機関との連携を深め、教育内容の充実を図る必要があります。(健康支援課) ◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、子どもの年齢に応じた性教育や「いのち」に関するプログラムを積極的に取り入れていきます。(公民館) ◆相手の気持ちに気づき、相手の立場に立って考えられる思いやりと優しい心を育む指導をしていきます。(幼稚園・こども園) ◆発達段階に合わせた性教育の実施について、周知徹底を図るとともに、県の「性教育」に関する研修を全小学校・中学校が参加することで、最先端の情報を共有するように努めます。(指導課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	青少年課
施策内容	3 健全育成環境の推進	事業対象者	習志野市内書店
事業名	16 青少年有害図書の指定		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆青少年にとって有害な図書について、審議のうえ指定します。		
平成26年度事業目標	◆習志野市の各書店は、概ね徹底されています。今後は有害図書審議会のあり方について、存続等を検討してまいります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆市内書店等において、有害とみられる図書の陳列等はないか、本年10月に担当職員が現地調査を行ったが、有害と思われる図書の陳列はなく、区分分けされた陳列が徹底されていました。そこで本年度は審議会に諮る図書がなかったと判断し、審議会の開催を見送りました。		
評価指標	◆指定図書数	平成25年度数値	◆6冊
		平成26年度数値	◆0冊

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
	◆習志野市有害図書規制に関する条例について、現行の条例では、必ずしも時代に即した条例とは言えない条文が見られるため、平成27、28年度にて検討する必要があります。 ◆有害図書と指定する媒体について、現行では図書のみですが、県条例を参考に図書以外にもビデオやDVDなども指定媒体とするか否か等について、見直しを含めた検討が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	C

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆有害図書審議会のあり方について、存続等を検討していきます。
------------	--------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	公民館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実	事業対象者	PTA会員
事業名	17 PTA家庭教育学級の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	729,460円
事業の概要	◆PTA会員を対象に、家庭教育の重要性、幼少年期の発達課題、学校や地域との関係等、家庭教育の諸問題や親の対応について学習します。		
平成26年度事業目標	◆引き続き各PTAにおいて、地域の子育てを考えるため、PTA家庭教育学級を実施します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆PTA会員を対象に、家庭教育の重要性、年齢に応じた発達課題、学校や地域との関連等、家庭教育の諸問題や親の対応について学習しました。		
評価指標	◆実施回数	平成25年度数値	◆130回
		平成26年度数値	◆123回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(PTA家庭教育学級 開講式合同講演会)「家庭教育の重要性」 ◆家庭は楽しく安らぎの場所で、信頼関係づくりの基本であると改めて感じました。 ◆ゆとりをもって子どものペースにあわせ、見つめてやる必要があると感じました。 ◆子どもが興味を持ったことに挑戦させ、失敗の悔しさを味わったとしても、結果よりもそれまでのプロセスが大切であると知りました。 ◆様々なことを親から仕掛けていき、体験させ、生きる力の糧を築きたいと思いました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆各PTAでは年齢に応じた発達課題等を学び、家庭教育への理解を深めることができました。また、主体となるPTA役員同士がつながりを持つことができ、地域活動へ参加する意識を高めることができました。	◆過去に実施していない内容として、体験型や参加型プログラムを導入し、保護者の積極的な参加を図る必要があります。 ◆年度末の情報交換会や反省会の結果を、次年度に反映させていきたいです。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き各PTAにおいて、地域の子育てを考えるため、PTA家庭教育学級を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	子育て支援課・図書館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実	事業対象者	市内在住の4か月児と保護者・新生児の市民
事業名	18 ブックスタート事業の充実	平成26年度事業費決算見込み額	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆乳幼児期から言葉と心を育むために、絵本との出会いの機会をつくり、絵本を介した親子のふれあいを支援します。 ◆4か月を迎えたお子さんを対象に、健康支援課が開催する4か月児健康相談終了後、民生委員児童委員の協力のもと、読み聞かせの大切さを伝え、絵本とコットンバッグをお渡しします。 ◆誕生記念として特別にデザインした図書館カードを、ブックリストとともに新生児に配付し、登録を促進します。 		
平成26年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆贈呈する絵本を既に持っている場合等に配慮し、絵本の贈呈方法について検討します。(子育て支援課) ◆関係課や民生委員児童委員との連携を図り、親子のふれあいを支援する体制の充実に努めます。(子育て支援課) ◆引き続き、誕生記念図書館カードの配布を行い、図書館利用の促進を図ります。(図書館) 		

1. 平成26年度に実施した事業内容及びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆市内11か所で実施している健康支援課による4か月健康相談において、民生委員児童委員協力のもと、絵本とコットンバッグを贈呈しました。(子育て支援課) ◆贈呈する絵本を3種類(「いないいないばあ」「くだもの」「がたんごとんがたんごとん」とし、第2子以降などに別の本を贈呈できるよう配慮しました。(子育て支援課) ◆市民課窓口において出生届出時に、誕生記念用にデザインした図書館カード・乳幼児向けに選定したブックリスト・図書館カード交付申込書を配布しました。(図書館) 				
評価指標	◆ブックスタートバック配付数	平成26年度数値	◆1,169セット	平成26年度数値	◆1,397セット

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆4か月の乳児でも、絵本をじっとみたり、微笑んだりするので、絵本を読んであげたいと思います。 ◆子どもと絵本の時間を楽しみたいと思います。 ◆第1子で「いないいないばあ」をいただいたので、第2子では「くだもの」をいただきました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆4か月健康相談の場を活用し、乳児期の早い時期に絵本等の配布を行うことで、絵本の大切さを伝えるとともに、親子のコミュニケーションのきっかけづくりを支援しました。(子育て支援課) ◆絵本を選択制にすることで、市民の様々なニーズに対応しました。(子育て支援課) ◆民生委員児童委員に協力を得て配布をすることで、子育て中の保護者に身近な相談先である担当地区の民生委員児童委員を知っていただく重要な機会となっています。(子育て支援課) ◆平成26年度の誕生記念図書館カードの登録者数は348名(累計登録者数5,739名)でした(数値はすべて平成27年3月末現在)。(図書館) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ブックスタート事業の開始から6年が経過していることから、「いないいないばあ」については、2人目の子どもの場合は既に所有している場合があること、また残り2冊についても既に所有している方がいることもあり、お渡しする絵本の種類については、種類を増やす、または変更する等、検討する必要があります。(子育て支援課) ◆事業周知と理解を深めるため、健康支援課や民生委員児童委員との更なる連携に努める必要があります。(子育て支援課) ◆誕生記念図書館カードの登録をしても未利用のまま長期未利用者となってしまう場合があり、今後も、図書館利用促進を更に図っていく必要があります。(図書館)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業開始から6年が経過し、場合によっては3種類の絵本を既に持っている場合等に配慮し、絵本の贈呈方法について検討します。(子育て支援課) ◆健康支援課母子保健担当や図書館、民生委員児童委員との連携を図り、親子のふれあいの支援や読書活動の充実に努めます。(子育て支援課) ◆引き続き、誕生記念図書館カードの配布を行い、図書館利用の促進を図ります。(図書館)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	公民館・社会教育課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	小学生
事業名	19 子ども広場事業の実施	平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆公民館の空いている部屋を利用し、安全・安心な放課後の子どもの居場所を確保します。		
平成26年度事業目標	◆子ども達の地域性や施設の構造に併せて、部屋の確保だけではなく、ロビーや建物外での活動も子どもの居場所事業として位置づけができるよう検討します。(社会教育課) ◆引き続き、生涯学習相談員の見守る中、子どもたちが気軽に来館し過ごせるような受け入れ態勢とします。(公民館)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆子どもたちが自由な発想で過ごせる環境づくりのための見守りを行いました。(公民館) ◆市民プラザ大久保において、週2日の「子どもの部屋」を実施しました。(社会教育課) ◆7公民館で週1日の「子どもの部屋」を開放しました。(社会教育課) ◆土日や長期休暇に子ども講座を実施しました。(社会教育課)				
評価指標	◆実施施設数	平成25年度数値	◆8施設	平成26年度数値	◆8施設

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆放課後、子どもたちが気軽に来館して過ごせるような受け入れを行いました。(公民館) ◆公民館・市民プラザ大久保において、子どもの居場所づくりを行い、安全・安心な子どもの居場所を確保しました。(社会教育課)	◆館によっては、曜日や時間帯に拘束されず、自由に使える共用コーナーの方が利用されていました。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き、生涯学習指導員の見守る中、子どもたちが気軽に来館し、過ごせるような受け入れ態勢とします。(公民館) ◆今後も、引き続き安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりに努めます。(社会教育課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	青少年課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	市内在住児童
事業名	20 あづまこども会館事業の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	2,605,000円
事業の概要	◆児童の健全な遊び、学習の場として、こども会館事業の充実を図ります。		
平成26年度事業目標	◆児童憲章の精神にのっとり、児童に健全な遊びを提供し、もって健康を増進し、情操を豊かにする施設として、あづまこども会館事業の充実を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆当会館では、幼児用の積木などのオモチャ、児童用には各種のゲームやフラフープなどの遊具、児童・生徒には卓球などのスポーツ機材を用意し、こども達の健全な遊びを提供しました。 ◆絵本、童話、マンガ、各種辞典などの図書をそろえており、貸出も行いました。 ◆自由に弾けるピアノもあり、子どもたちが楽しめました。 ◆絵画教室、卓球教室、書道教室、将棋教室などの講師を招いての主催事業の開催、母の日や父の日、敬老の日などにおけるプレゼントづくりなどの職員が講師となる自主事業の開催、ダーツ大会や射的大会、ビンゴ大会やこども会館祭りなど子どもが騒いで楽しむイベントも開催しました。		
評価指標	◆利用者数	平成25年度数値	◆幼児759名・小学生8,705名・中学生980名・一般2,702名 計13,146名
		平成26年度数値	◆幼児925名・小学生8,078名・中学生1,474名・一般2,521名 計12,998名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆日常的に安全で安心して遊べる場を提供し、子どもたちに楽しく創作意欲を持たせる主催事業や自主事業を開催したことで、児童の健全育成に寄与することができました。	◆児童数の減少か、子どもの遊びが多様化しているためか、当会館を使って遊ぶ児童の数が減少傾向ではあるが、児童に健全な遊びを提供し、もって健康を増進し、情操を豊かにする施設として、子どもたちに人気のある教室や事業を研究し、実施回数を増やすなどの方法により、利用者(児童)のニーズに沿った事業展開について柔軟な対応を検討します。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆児童憲章の精神にのっとり、児童に健全な遊びを提供し、もって健康を増進し、情操を豊かにする施設として当館の充実を図るべく事業を展開していきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	青少年課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	児童・育成者
事業名	21 青少年健全育成の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	3,028,749円
事業の概要	◆子ども会育成会・青少年相談員等の事業を援助し、青少年の健全育成を推進します。 ◆ボーイスカウト・ガールスカウト・スポーツ少年団等青少年健全育成団体の事業を支援し、青少年の健全育成を推進します。		
平成26年度事業目標	◆市民まつりにおけるこども広場の運営を中心に、青少年育成団体間の情報交換を引き続き実施するとともに、育成者の技術向上、情報交換、親睦を図るため、研修会を計画します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆定期的な会議において、市民まつりにおけるこども広場の運営を中心に、青少年育成団体間の情報交換を実施しました。 ◆子ども会育成会連絡協議会、青少年相談員連絡協議会、習志野リーダーズクラブへの助成を実施しました。 ◆青少年育成団体の夏休み期間の富士吉田青年の家の優先利用、借り上げバス利用によるサポートを実施しました。				
評価指標	◆青少年育成団体連絡協議会開催回数	平成25年度数値	◆7回	平成26年度数値	◆6回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆青少年育成団体の活発な子どもたちへの活動がみられました。	◆育成者が高齢化しており、また、構成員も減少傾向にあります。 ◆子ども広場とは別に、育成団体間の情報交換、共有等を図る事業・研修等を計画、実施するためには、費用負担等の問題もあるため、検討が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆市民まつりにおけるこども広場の運営を中心に、青少年育成団体間の情報交換を引き続き実施します。 ◆育成者の技術向上、情報交換、情報共有、親睦を図るための研修会等について検討します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	公民館
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	小学生
事業名	22 子ども講座の充実		
事業の概要	◆学校が休みの土曜日・日曜日や長期休業日に、親子、異年齢の子どもとのふれあいや豊かな心を育てることを目的として実施している、子ども講座の充実を図ります。		
平成26年度事業目標	◆公民館サークルの会員や地元で活動している指導者を講師にするなど、地域で子どもを支えるプログラムを考えていきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆子ども映画会、伝統文化教室、野外活動、科学実験、囲碁、お菓子作り等の各種講座・イベントを実施しました。		
評価指標	◆参加児童数	平成25年度数値	◆5,320人
		平成26年度数値	◆9,222人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「キッチン・キッズ」初めて自分で作ったすいとんは、とってもおいしかった。こんど、家で作りたいです。 ◆「囲碁講座」また、来年も来たい。おじいちゃんに勝てるようにがんばりたいです。 ◆「科学電気実験」いつもできないことができて、楽しかった。静電気はいろんなことができるので、すごく楽しかったです。 ◆「消しゴムハンコ」消しゴムを削るのがたいへんでした。はんこをつくるのは、たのしかったです。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆講座を通じて子どもが公民館への親しみを持つとともに、親子を対象とした講座では、家族のふれあいの機会となりました。	◆人気のある講座は電話受付開始後、すぐに定員に達してしまうため、申込み方法の検討が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆公民館サークルの会員や地元で活動している指導者を講師にするなど、地域で子どもを支えるプログラムを考えていきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	生涯スポーツ課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	市内各小学校地区在住、在勤者のスポーツ団体
事業名	23 学校体育施設の開放		
		平成26年度事業費決算見込み額	8,459,000円
事業の概要	◆市内小学校の校庭・体育館を土曜日・日曜日・祝日に開放し、運動する場を提供します。		
平成26年度事業目標	◆利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めていきます。また、各運営委員会と、利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てることを目標とします。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆市内小学校の校庭及び体育館を土曜日、日曜日、祝日に開放し、運動する場を提供しました。		
評価指標	◆体育施設開放校数	平成25年度数値	◆小学校16校
		平成26年度数値	◆小学校16校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆休日の学校体育施設を開放して、スポーツに親しむ機会を提供したことにより、健康の維持増進や、青少年の体力向上と健全育成に役立てることができました。	◆事故発生時の対応について、各運営委員会と学校と再確認をし、利用者が安全で安心して活動ができるよう、安全の確保を徹底していきます。 ◆多くの団体が施設を使用していますが、固定化しており、新規加入が難しいです。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めていきます。また、各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てることを目標とします。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	生涯スポーツ課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	市内小・中高生
事業名	24 児童教室の開催		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆スポーツ施設等で児童を対象としたスポーツ教室を定期的に開催します。		
平成26年度事業目標	◆技術の習得の他、協調性や人間形成を学べるような教室を実施していきます。 ◆引き続き、児童や中高生を対象とした教室を開催し、スポーツ活動に参加する機会を増やします。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆「キッズスイミング」・「キッズテニス」・「キッズフットサル」等、4日間の短期教室の実施しました。 ◆「キッズスポーツ」と題し、第2・第4土曜日に様々なスポーツを体験できる機会を提供するという目的で教室を実施しました。 ◆「学校特別支援事業」とし、市内の高校生と小中学生がスポーツを通して交流する講習会を実施しました。		
評価指標	◆開催事業 ◆参加児童数	平成25年度数値 ◆16事業 ◆797人	平成26年度数値 ◆17事業 ◆1,250人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆運動が苦手な子供でも参加しやすい短期教室だったので、飽きずに参加できた。 ◆丁寧に教えていただき、本人も楽しんで行っていました。 ◆スポーツの基礎を教えてくれる教室をもっと開催してほしい。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆定期的に開催した教室で、運動に興味を持ち、継続して参加する子どもたちが増えたことにより、運動嫌いが解消したという声を聞くことができました。 ◆様々なスポーツに触れることで、運動能力向上の手助けとなったり、自分に合ったスポーツを見つけるきっかけとなったという声を聞くことができました。	◆定員が限られているため、参加できない子どももいました。今後の開催にあたってはできる限り多くの子どもたちを受け入れられるように検討していきたいです。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆技術の習得だけでなく、協調性や人間形成を学べるような教室を実施していきます。 ◆子どもたちが自ら参加したいと思う場づくりを行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	小学校・中学校・指導課
施策内容	3 世代間交流の推進	事業対象者	小学校・中学校
事業名	25 地域交流事業の充実		
事業の概要	◆学校支援ボランティアの活用等、地域の人材や素材等の授業への活用と地域との交流を推進します。		
平成26年度事業目標	◆年間2回の学校支援ボランティア会議で、年間計画・活動報告について協議するとともに、学校間の横の連携も図ることで、学校支援ボランティアの活動の充実を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆年間2回の学校支援ボランティア会議を開催し、年間計画や活動報告について協議し、各学校の取り組みを充実させました。				
評価指標	◆学校支援ボランティア参加人数	平成25年度数値	◆9,606人	平成26年度数値	◆9,735人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆各学校で意欲的なボランティア活動が展開され、地域の方との連携が深まりました。	◆特になし。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆年2回の学校支援ボランティア会議で年間計画や活動報告について協議するとともに学校間の連携をはかり、学校支援ボランティア活動の充実を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	中学校・幼稚園・保育所・こども園・指導課
施策内容	3 世代間交流の推進	事業対象者	中学校・保育所・幼稚園・こども園
事業名	26 中学生と幼稚園児・保育所児・こども園児の交流の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆中学校家庭科、総合的な学習の時間等の授業の一環として中学生と幼稚園児や保育所児、こども園児との交流を実践します。		
平成26年度事業目標	◆保育所児や幼稚園児・こども園児と中学生との異年齢交流をさらに充実していきます。(中学校) ◆交流をとおして地域の子も達が相互に結びつき、互いに進んでかかわる気持ちを育み、生活がより充実したものとなるようにしていきます。(保育所・幼稚園・こども園)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆中学2年生家庭課及び3年生の職場体験学習の一環として、保育所・幼稚園・こども園において交流を行いました。 ◆体験学習・事前学習としてオリエンテーションを実施しました。 ◆各学年(2~6歳)に分かれて交流しました。 (室内遊び・造形遊び(製作・描画など)・ままごと・戸外遊び・かけっこなどの競技・鬼遊び・砂遊びなど)		
評価指標	◆実施校数	平成25年度数値	◆中学校7校
		平成26年度数値	◆中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子どもたちが中学生と触れ合ったり一緒に遊ぶことで世代の違う中学生に親しみをもつことができました。(保育所・幼稚園・こども園) ◆生徒から歌を歌ってもらったり演奏を聞かせてもらったり、その歌声や演奏に感動をしていました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆絵本を読んでもらうことで、心の触れ合いを持ったり、文字への関心を持つことができました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆中学生にとっては、園児との交流を行うことで、思いやりの心や、幼児への興味・関心、現在及び将来の家庭生活のあり方等について学習することができました。(中学生) ◆園児にとっては、他との関わり方や幼稚園・保育所生活の充実につながりました。(幼稚園・保育所・こども園)	◆短い時間ではあるが、事前の情報交換を活かし、より意欲的な交流が図れるよう、内容の充実を、図る必要があります。 ◆中学校、幼稚園・保育所・こども園相互の連携を取り合い、交流時期・交流内容・交流方法をより良くする方策を考えていく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆交流を通して地域の子も達が相互に結びつき、互いに進んでかかわる気持ちを育み、生活がより充実したものとなるようにしていきます。 ◆保育所児や幼稚園児・こども園児と中学生との異年齢交流を更に充実していきます。(中学校) ◆交流を通して、一つ一つが相互に結びつき、幼稚園・保育所生活が充実したものになるようにしていきます。(幼稚園・保育所・こども園)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	3 世代間交流の推進	事業対象者	小学校・中学校
事業名	27 地域参加型学校行事の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆学校行事に保護者・地域の高齢者等を招待し、地域との連帯意識を育み、人間性豊かな児童・生徒を育成します。		
平成26年度事業目標	◆学校行事の平日開催と共に、保護者や地域の方が参加できるように休日開催も推進することで、今まで以上に学校教育活動への理解を深めていきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆地域の方が参加しやすいような時間や曜日を設定し、学校行事を開催しました。				
評価指標	◆実施校数	平成25年度数値	◆小学校16校・中学校7校	平成26年度数値	◆小学校16校・中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆保護者や地域の方が数多く学校行事に参加することで、教育活動の理解を図り、学校全体の信頼が深まりました。	◆学校行事の見直しや地域との交流を取り入れていくことを検討します。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆学校行事の時間や曜日を保護者や地域の方が参加しやすいような設定をします。 ◆学校行事の見直しや計画をするにあたり、地域との交流を考えたものにします。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	学校教育課・指導課・公民館・こども保育課・幼稚園・保育所・こども園
施策内容	4 「食育」の推進	事業対象者	公・私立幼稚園・保育所・こども園在園児及び保護者・小学校・中学校等
事業名	28 幼稚園・保育所・こども園・小学校・家庭等における「食育」の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	1,720,460円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆親子を対象にした適切な食生活習慣を確立させるための講義や指導、調理実習等を開催し、家庭における「食育」を推進します。 ◆幼稚園・保育所・こども園・学校教育全体の中で、食に関する指導を実施し、健全で豊かな食生活を送るために必要な力が身につくような指導を実施します。 ◆保健連絡会等を通して、幼稚園・保育所・こども園・学校との連携を図り、発達段階に応じた食育を実施します。 		
平成26年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆毎年、小・中学校における朝食喫食率の向上を目指し実施してきましたが、依然として朝食をほとんど食べない児童生徒の割合に変化が見られないことから、平成26年度は、児童生徒個別の指導に重点をおき食育指導を進めていきます。また、朝食の用意が簡単にできるように保護者向けに「家庭で簡単にできる給食レシピ集」等の発行を目指していきます。(学校教育課) ◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、学習プログラムの中に食育の内容を積極的に取り入れていきます。(公民館) ◆食生活アンケートを実施し、園児・児童の食生活の実態を把握し、家庭と連携した食育を実施していく。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園) ◆にんじん堀りやみそ作りなどの食育体験を実施し、園児・児童の食への興味関心を高めていく。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園) 		

1. 平成26年度に実施した事業内容及び、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆食生活アンケートを実施し、児童園児の食生活の実態にあわせた食育を行いました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆にんじん堀りやみそ作りなどの体験活動を通して児童園児の食についての興味関心を高めました。親子で体験する施設もあり、家庭と連携した食育を行いました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆幼稚園・保育所・こども園の教諭や保育士等を対象に「食育の実践と評価」について研修会を実施し、食育についての理解を深めました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆親子を対象にした適切な食生活習慣を確立させるための講義や指導、調理実習等を開催し、家庭における「食育」を推進しました。(指導課・小学校・中学校) ◆幼稚園・保育所・こども園・学校教育全体の中で、食に関する指導を実施し、健全で豊かな食生活を送るために必要な力が身につくような指導を実施しました。(指導課・小学校・中学校) ◆保健連絡会等を通して、幼稚園・保育所・こども園・学校との連携を図り、発達段階に応じた食育を実施しました。(指導課・小学校・中学校) ◆各学校の食に関する指導の全体計画に基づき、教科や学級活動、給食時間に食に関する指導を実施しました。保護者対象の試食会や家庭教育学級において、食育の講演会や調理講習会を実施しました。栄養教諭だけでなく養護教諭や給食指導主任等、食育を担当する教職員を対象に研修会を実施しました。(学校教育課) ◆幼児家庭教育学級とPTA家庭教育学級の学習プログラムに、食育についての内容を取り入れました。(公民館) 				
評価指標	◆朝食摂取率	平成25年度数値	◆小学校5年生95%・中学校2年生88.2%	平成26年度数値	◆小学校5年生94.1%・中学校2年生86.4%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆食育の実践方法及びその評価方法について理解を深め次年度への食育の計画作成の参考となりました。(こども保育課) ◆体験活動とおして園児・児童の食への興味関心が高まった。また、農家の方など働く人への感謝の気持ちを養うことができました。(こども保育課) ◆(幼児家庭教育学級(公民館)) ◆「幼児期の食生活 食育の基本を知る」食べてもらうための工夫の仕方など、参考になりました。試食のおかず、とてもおいしかったので、作ってみたいと思います。野菜をたくさん摂ることが、大事であると実感しました。 ◆「朝ごはんは思考力アップ」安易な市販の菓子だけに頼らず、食事では摂取しにくい芋類や果物を出すよいことがわかりました。 ◆「いのちにつながる食べ物のななし」子どもが喜ぶメニューを食卓に並べがちだが、きちんとした食事を与えることが大人の責務であると感じました。食に関して正しい知識を持つことは、家族の健康をまもることであると思いました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども達の健やかな心と身体の発達のために日常の食育が重要であることが認識され、実践につながりました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆各学校の食に関する全体計画に基づき、発達段階に応じた食育が実施され、児童生徒に望ましい食習慣や朝食の大切さについての意識を高めることができました。しかしながら、昨年度の朝食喫食率と比較すると小学校では0.9%減少し、中学校では1.2%の減少となっていました。(学校教育課) ◆幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級をおとして、保護者に対し、「食」について考えさせ、実践への支援をすることができました。(公民館) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆乳幼児期の食育は、家庭との連携が必要となります。現状では、各施設からの配布物や保育参観・試食会における懇談会等を中心に家庭への情報提供や啓発活動を実施しています。今年度は食生活アンケートを実施し、家庭における食生活についての悩みや疑問点など把握しました。今後も引き続きアンケートを実施し、実態把握を行うとともに、家庭と連携した食育について取り組んでいきます。(幼稚園・保育所・こども園) ◆食育の推進、特に小・中学校で取り組んでいる「早寝・早起き・朝ごはん」運動は平成17年度に施行された「食育基本法」を受けて毎年実施しており、児童生徒全体への指導は既にある程度の成果があがってきております。今後は、全体指導の継続的な取り組みとともに、児童生徒個別の指導に重点をおき、家庭との連携を図りながら進めていくことが必要です。(学校教育課)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆食生活アンケートを実施し、園児・児童の食生活の実態を把握し、家庭と連携した食育を実施していきます。(幼稚園・保育所・こども園) ◆体験活動を中心に日常保育の中で食育を行い、園児・児童の食への興味関心を高めていきます。(幼稚園・保育所・こども園) ◆毎年、小・中学校における朝食喫食率の向上を目指し実施してきましたが、依然として朝食をほとんど食べない児童生徒の割合に変化が見られないことから、平成27年度も引き続き、児童生徒個別の指導に重点をおき食育指導を進めていきます。また、朝食の用意が簡単にできるように保護者向けに「家庭で簡単にできる給食レシピ」を各学校毎に作成し配布することを目指します。(学校教育課) ◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、学習プログラムの中に食育の内容を積極的に取り入れていきます。(公民館)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	健康支援課
施策内容	4 「食育」の推進	事業対象者	妊婦及び乳幼児とその保護者
事業名	29 健康的な食習慣の確立の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	502.061円
事業の概要	◆「ママ・パパになるための学級」、「離乳食教室」、「乳幼児健康相談事業」、「食生活なんでも相談」等を通じて、望ましい食生活習慣の確立に向けて、妊娠中から乳幼児期まで一貫した取り組みを関係機関と連携しながら行います。		
平成26年度事業目標	◆使用している媒体や講義内容が現状に見合っているかどうか、確認しながら引き続き各事業において啓発を行います。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆「ママ・パパになるための学級」では、「食事バランスガイド」に基づき、バランスのよい食事や妊娠中特に必要な栄養についてフードモデルを用いてより具体的な量や揃え方が理解できるよう図りました。 ◆「離乳食教室」では、内容を見直し、離乳食開始から2回食に進めていく時期に重点をあて、離乳食に対する不安感を解消し、楽しんで始められることを目指して実施しました。 ◆「乳幼児健康相談事業」、「食生活なんでも相談」では、対象に合わせたリーフレット等を使用し家庭でも継続して実践できるよう支援しました。間食の意義と役割、量や選び方などに関する新たな媒体を作成し、健診会場で配布しました。 ◆6月の「食育月間」では、朝食の大切さを伝えるとともに、「親子、家族の健康づくりと1日3回の食事について」伝え、簡単朝食レシピの配布を行いました。9月の「食生活改善普及運動」においても広報やリーフレットにて情報の発信を行いました。 ◆「乳幼児健康教育事業」においては、養育者自身の健康管理についても講話を行いました。				
評価指標	◆離乳食教室稼働率	平成25年度数値	◆95%	平成26年度数値	◆91.1%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「ママ・パパになるための学級」では、「バランスよく食べているつもりであったが、野菜が足りていないことがわかった」、「今までよりもっと食べていいことがわかった」など、必要量が具体的に理解できたという内容の感想が多く出ています。「既実践できている」という意見もありました。 ◆「離乳食教室」では、「素材の味だけでも、とてもおいしい」、「実際に調理する過程を見ることができて参考になった」など、素材を味わう喜びを実感したり、家庭での調理意欲を感じさせる感想が出されています。 ◆教室終了後の質疑応答では、離乳食の冷凍について、水分補給について、食物アレルギーへの対応についての項目が件数として多い状況です。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆講義をするだけでなく、リーフレットやフードモデルを活用することで具体的にバランスの良い食事についてイメージすることができ、望ましい食習慣の正しい理解につながりました。 ◆写真を用いた媒体やレシピ集を活用することで、家庭での調理の啓発、情報発信につながりました。	◆各事業において、参加者の声を聞くことに努めた結果、健康や食生活に関する情報はスマートフォンやインターネットを活用している人が多いという実態がわかり、健康情報があふれる中、どの情報が正しいのかわからないという意見もあります。 ◆「バランスのよい食事」の伝達ツールとして、「食事バランスガイド」の活用を目標に取り組んできました。周知と理解は進みましたが、活用はされにくい状況です。 ◆対象者の食生活の実態と合ったよりわかりやすいツール(媒体)を検討していく必要があります。 ◆講義内容についてはアンケートを実施し対象者のニーズ、満足度を調査し、内容の見直しと充実を図ることが求められます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆バランスのよい食事の理解と実践に結びつけるために、「食事バランスガイド」に加え、「主食・主菜・副菜を揃える」こと等より具体的な媒体、手法を検討、活用していきます。 ◆参加者へのアンケートを実施し、対象者のニーズや満足度を調査し事業の充実を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2. 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども政策課・こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	就学前の全ての乳幼児とその保護者
事業名	30 こども園の整備	平成26年度事業費決算見込み額	494,400,000円
事業の概要	◆幼稚園、保育所、こどもセンターが一体となったこども園を整備し、地域の子育ての拠点として、様々な支援を実施します。 【具体的目標】 22年度 26年度 ★こども園 1か所 ⇒ 3か所		
平成26年度事業目標	◆袖ヶ浦こども園の新園舎を完成させます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆袖ヶ浦こども園新園舎共用に向けて、施設の建築を進めました。				
評価指標	◆施設数	平成25年度数値	◆2か所	平成26年度数値	◆3か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆袖ヶ浦こども園新園舎が完成し、平成26年9月より共用を開始しました。	◆予期せぬ事由による工事遅延の対応がありました。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆大久保こども園整備に向け、現在の施設状況を把握します。
------------	------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備																																				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課																																	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	就学前の全ての乳幼児とその保護者																																	
事業名	31 保育所・こども園における保育サービスの充実	平成26年度事業費決算見込み額	算出困難																																	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆待機児童ゼロを目指し、保育定員を増やします。 ◆一時預かりを行う施設を、7か所に拡大します。 ◆24時までの受け入れ態勢がある施設を、拡大します。 <p>【具体的目標】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>22年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>★通常保育定員</td> <td>1,585人</td> <td>⇒ 1,711人</td> </tr> <tr> <td>★延長保育(19時まで)</td> <td>15か所</td> <td>⇒ 16か所</td> </tr> <tr> <td>★延長保育(20時まで)</td> <td>1か所</td> <td>⇒ 3か所</td> </tr> <tr> <td>★延長保育(24時まで)</td> <td>1か所</td> <td>⇒ 3か所</td> </tr> <tr> <td>★一時預かり定員</td> <td>60人</td> <td>⇒ 105人</td> </tr> </table>		22年度	26年度	★通常保育定員	1,585人	⇒ 1,711人	★延長保育(19時まで)	15か所	⇒ 16か所	★延長保育(20時まで)	1か所	⇒ 3か所	★延長保育(24時まで)	1か所	⇒ 3か所	★一時預かり定員	60人	⇒ 105人	【目標に対する実績の推移】	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>通常保育定員</td> <td>1,585人</td> <td>1,605人</td> <td>1,721人</td> <td>1,801人</td> </tr> <tr> <td>一時預かり定員</td> <td>60人</td> <td>60人</td> <td>75人</td> <td>82人</td> </tr> </table>		H22	H23	H24	H25	通常保育定員	1,585人	1,605人	1,721人	1,801人	一時預かり定員	60人	60人	75人	82人
	22年度	26年度																																		
★通常保育定員	1,585人	⇒ 1,711人																																		
★延長保育(19時まで)	15か所	⇒ 16か所																																		
★延長保育(20時まで)	1か所	⇒ 3か所																																		
★延長保育(24時まで)	1か所	⇒ 3か所																																		
★一時預かり定員	60人	⇒ 105人																																		
	H22	H23	H24	H25																																
通常保育定員	1,585人	1,605人	1,721人	1,801人																																
一時預かり定員	60人	60人	75人	82人																																
平成26年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画第2期計画」の着実な実施をします。 ◆袖ヶ浦こども園の開設・運営します。 ◆認可外保育施設の利用者に対する保育料の助成を継続して行います。 																																			

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆袖ヶ浦こども園を開設し、新園舎での保育を開始しました。 ◆認可外保育施設の利用者に対する保育料の助成を継続して行いました。 ◆民間認可保育所の開設に向け、補助を行いました。 				
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆通常保育定員数 ◆一時預かり定員数 ◆一時預かり利用児童数 ◆時間外保育・延長保育利用率 	平成25年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆1,801人 ◆82人 ◆10,665人 ◆89.85% 	平成26年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆1,811人 ◆97人 ◆10,871人 ◆88.04%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆保育所に入所できない児童の増加に伴い、保育所の増設を求める意見が多くあります。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第2期計画」に基づき、奏の杜地区への民間認可保育所の誘致を行いました。 ◆計画的な待機児童の解消を図るため、「習志野市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆2つの計画を着実に実施していくための管理体制の構築と財源の確保が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
C	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第2期計画」及び「習志野市子ども・子育て支援事業計画」を着実に推進します。 ◆認可外保育施設の利用者に対する助成を継続して行います。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備				伊東
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	民間保育事業者	
事業名	32 民間保育事業者の多様なサービス力の活用		平成26年度事業費決算見込み額	50,999,000円
事業の概要	◆通常保育受け入れ枠の拡大や延長保育時間の拡大、休日保育等に民間保育事業者のノウハウによる多様なサービス力を活用します。			
平成26年度事業目標	◆通常保育受け入れ枠拡大のために、平成27年4月以降の開園を目指す、民間認可保育所の整備を支援します。			

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆平成27年4月の開園を目指す、民間認可保育所の施設整備費の補助を実施しました。 ◆さらなる保育受け入れ枠の拡大を図るために、平成27年10月の開園を目指す民間認可保育所の施設整備について、協議等を実施しました。				
評価指標	◆民間認可保育所施設数	平成25年度数値	◆4か所	平成26年度数値	◆4か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆平成27年4月1日に、アスクかなでのもり第二保育園が開園することで、120名の定員増加が図られました。	◆定員の増加を図るも、待機児童の解消に至っていないこと、また人口増加による保育需要の増加が見込まれることから、更なる保育の受け皿の整備が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆保育受け入れ枠拡大のために、平成27年10月以降の開園を目指す、民間認可保育所の整備を支援します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	生後6か月～小学校6年生までの子どものいる家庭(家事支援は、妊娠中・産前産後、小学校6年生までの子どものいない体調不良の家庭)
事業名	33 ファミリー・サポート・センターの充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	6,039,000円
事業の概要	◆ファミリー・サポート・センターの育児・家事支援に加えて、ショートステイ(児童の宿泊を伴う預かり)支援を行い、ファミリー・サポート・センター機能を充実するとともに、提供会員の確保に努めます。		
平成26年度事業目標	◆多様化する利用会員のニーズに応え、提供会員の高齢化に対応するため、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、会員の制度の理解と意識の向上を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用会員の援助の申し込みに基づき、育児支援、家事支援、ショートステイについて、提供会員派遣のためのコーディネートを随時行いました。 ◆平成26年9月より、ファミリー・サポート・センター事業の一時預かり事業として、「ファミ・ボる〜む」をこどもセンター(鷺沼)に加えて、きらっ子ルームおおくほで開始し、併せて広報、ホームページ等で周知しました。 ◆入会説明会を毎週水曜日(44回)、土日(5回)、地域ごと(6回)、個別訪問(随時)により実施しました。 ◆会員に対し、基礎研修会(4回)、研修会(3回)、交流会(1回)、談話室(3回)を開催しました。 ◆ファミリー・サポート・センターだより(年4回)を発行し、会員に対して送付しました。 ◆広報習志野に掲載(2回)し、事業の周知を行いました。 		
評価指標	◆会員数 ◆活動件数	平成25年度数値	平成26年度数値
		<ul style="list-style-type: none"> ◆育児2,479人、家事1,522人、ショートステイ272人、一時預かり233人 ◆育児2,623件、家事381件、ショートステイ2件、一時預かり22件 	<ul style="list-style-type: none"> ◆育児2,536人、家事1,607人、ショートステイ407人、一時預かり439人 ◆育児2,691件、家事62件、ショートステイ20件、一時預かり46件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域に親切的な提供会員さんがいるので、ありがたく利用させていただいています。 ◆提供会員が参加する「談話室」は他の会員の方の話が聞けるので、これからも定期的に開催してほしいです。 ◆子どもの成長に関する学習がしてみたいです。 ◆幼稚園の入園前の練習として、ファミ・サボる〜むの利用をしたいと思います。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆保育所の一時預かり事業が利用が困難な中で、ファミリー・サポート・センター機能を活用した一時預かり事業を拡大することで、在宅で乳幼児を育てる保護者の支援に努めることができました。 ◆市独自の事業であるショートステイを実施し、身内の援助の難しい家庭に支援を行いました。 ◆ファミリー・サポート・センター事業の周知及び相互援助のコーディネートをを行うことにより、子育てを地域で支えあう機運の醸成に寄与しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用会員のニーズの需要の増加や多様化、また、奏の杜地区の人口増加に伴う利用者の増加により、さらに提供会員の確保に努める必要があります。 ◆相互援助が円滑に進められるよう、制度の仕組み等について会員へきめ細やかな説明を行うとともに、研修会等による会員の意識の向上に努める必要があります。 ◆これまで利用の少なかったショートステイ事業について、身内の援助の受けられない家庭等に配慮し、適切な判断のもと、柔軟に対応していく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆現在2か所で開催している一時預かり事業(ファミ・サボる〜む)を全てのこども園こどもセンターにおいても実施し、在宅で子育てを行っている家庭を支援します。 ◆多様化する利用会員のニーズに応え、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、会員の制度の理解と意識の向上を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	青少年課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	児童・保護者・指導員
事業名	34 放課後児童会の運営	平成26年度事業費決算見込み額	160,944,487円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆各児童会において、希望する小学校1年生から3年生までの児童を受け入れます。 ◆障害のある児童については、引き続き6年生まで受け入れます。 ◆障害のある児童がいる放課後児童会には、指導員を加配します。 		
平成26年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆入会を希望する児童(1～3年生及び障害のある児童については6年生まで)を受け入れます。 ◆谷津児童会を分割します。 ◆指導員の研修を実施します。 ◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営について条例を制定します。 ◆小学校6年生までの受入を検討するにあたり、ニーズ調査を実施します。 		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆入会を希望する児童(1～3年生及び障害のある児童については6年生まで)を受け入れました。 ◆谷津児童会の児童数適正化を図るため、児童会を分割しました。 				
評価指標	◆施設数	平成25年度数値	◆21か所	平成26年度数値	◆22か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆公設公営を維持してほしい。 ◆児童福祉法の一部改正による、小学校6年生までの受入に対する、施設や職員配置等の体制の整備と、職員の資質向上のための研修を実施してほしい。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆児童に適切な遊び及び生活の場を与えて、健全な育成を図りました。 ◆谷津児童会を分割、谷津第二児童会を開設し、適正な児童数としました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童福祉法の一部改正による、小学校6年生までの受入に対する施設整備及び職員配置について、迅速かつ確実な対応が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆入会を希望する児童の内、小学1～3年生及び障害のある児童については6年生までを全て受け入れます。また、小学4～6年生の入会を希望する児童につきましては、定員内に限り、受け入れてまいります。 ◆受入対象児童の拡大に対し、習志野市子ども・子育て支援事業計画に基づく施設整備と、職員の配置に取り組みます。 ◆秋津児童会を分割します。 ◆職員の研修を引き続き実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	民間保育事業者
事業名	35 休日保育の充実		
事業の概要	<p>◆休日保育を継続して実施するとともに、実施施設を拡大します。</p> <p>【具体的目標】 22年度 26年度 ★実施か所数 1か所 ⇒ 3か所</p>		
平成26年度事業目標	◆休日保育に対する需要を把握した上で、実施か所数の増加に向けた方策について検討します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆民間認可保育所(1か所)において、引き続き休日保育を実施しました。				
評価指標	◆休日保育施設数	平成25年度数値	◆1か所	平成26年度数値	◆1か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆実施施設は1か所にとどまっていますが、利用希望者に対してもれなくサービスを提供することができました。	◆休日保育に対する需要があることは把握できましたが、施設機能部分や保育士の確保といった問題により、事業実施の段階までは至りませんでした。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
C	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆保育士の確保や施設機能の強化について民間保育事業者との調整を図ります。
------------	--------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育ち・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	公立幼稚園・保育所・こども園・私立保育園
事業名	36 障がい児保育の充実		
事業の概要	◆集団保育が可能な障がいのある子どもや、介護を必要とする子どもを受け入れ、健常児とともに保育します。		
平成26年度事業目標	◆個別に支援を要する児童への援助方法や保護者への対応に関する職員の資質向上を図るとともに、個別指導計画作成・実施・評価・見直しを行い、子どもの成長・発達の経過や支援方針を確実に引き継ぐ体制を整備します。 ◆支援を要する児童を含めた学級運営と集団保育に対する支援体制を充実します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆特別支援アドバイザーによる保育所特別支援事業事例研修(年10回)を実施しました。 ◆学級運営支援事業(年46回)を実施しました。 ◆ひまわり発達相談センターによる巡回相談(平成27年2月末現在87回)を実施しました。				
評価指標	◆障害児保育実施施設数	平成25年度数値	◆26か所	平成26年度数値	◆26か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆翌日より、即実践できる程、個別の対応方法について、詳しくご指導いただけたことで、援助を取り入れ、乳幼児の育ちを助長していくことに大変有効であった。 ◆1学期と2学期、臨床心理士に見ていただけると成長や変容の姿から助言いただける。今年度5歳児を見ていただいたが、4歳児の時にも見ていただき、育ちの姿を踏まえた助言をいただきわかりやすかった。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆支援児や、気になる子どもの対応を、保育者がその子どもに合わせてゆったりと行う様子を見て、周りの子どもたちもいろいろな友達がいるということに気づき、一緒に過ごす中で温かい目で見守ったり、かかわったりすることができるようになってきました。 ◆他の幼児が待つ時間は少ない方がよいこと、支援児のよさを認める友達の存在を感じられるようにしていくことが大切であるということ学びました。支援児もクラスの一員として、クラス全体で育ち合うように指導することを心がけてきました。少しずつ、クラスの友達と一緒に過ごす時間が多くなってきています。 ◆ねらいや活動内容は、支援児等に合わせたものだけではなく、学級の実態に合わせたものも必要で、互いに刺激し合うことで幼児同士の育ちにつながるということがわかりました。 ◆支援児の苦手なことや難しいことを、担任が受けとめ寄り添いながらかわかることで、クラス全体が支援児を支えていく雰囲気になってきました。	◆支援を要する子どもに対する支援や関係各所への積極的な取り組みなど、コーディネーターとしてのスキルを高めていくことが必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆個別に支援を要する児童への援助方法や保護者への対応に関する職員の資質向上を図るとともに、個別指導計画作成・実施・評価・見直しを行い、子どもの成長・発達の経過や支援方針を確実に引き継ぐ体制を整備します。 ◆支援を要する児童を含めた学級運営と集団保育に対する支援体制を充実します。 ◆支援を要する子どもに対する支援や関係各所への積極的な取り組みなど、コーディネーターとしてのスキルを高めていくための研修を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	在園児と保護者
事業名	37 幼稚園・こども園における預かり保育の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	6,348,762円
事業の概要	<p>◆幼稚園・こども園で、預かり保育を継続して実施します。</p> <p>【具体的目標】 22年度 26年度 ★実施か所数 15か所 ⇒ 14か所(公立幼稚園の再編に伴う減少)</p>		
平成26年度事業目標	◆保護者のニーズを把握し、預かり保育の実施内容について充実を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<p>◆11幼稚園、3こども園で預かり保育を実施しました。</p> <p>◆家庭的な雰囲気作りと教育課程に係る時間終了後の教育時間として活動を考慮して実施しました。</p>		
評価指標	<p>◆施設数</p> <p>◆利用児童数</p>	平成25年度数値	<p>◆15か所</p> <p>◆20,149人</p>
		平成26年度数値	<p>◆14か所</p> <p>◆19,289人</p>

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>◆学級担任と預かり保育担当者が連携して、幼児の1日の生活リズムを考慮し、心身に無理のない活動内容で実施することができました。</p> <p>◆教育課程に係る教育時間の活動内容との関連を考慮して実施することができました。</p>	◆幼児の心身の負担への配慮と保護者のニーズを考慮した実施内容の検討が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆預かり保育の利用時間を拡大し保護者のニーズに対応するとともに、教育課程に基づく預かり保育の実施内容の充実を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	年長5歳児
事業名	38 鹿野山宿泊保育の充実		
事業の概要	◆鹿野山少年自然の家で、自然体験のため1泊2日の宿泊保育を実施します。		
平成26年度事業目標	◆五感を通して自然に触れたり、体験したり、幼児同士の交流を深めたりします。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆鹿野山少年自然の家の耐震工事に伴い宿泊保育に代わる自然体験保育を11幼稚園、3こども園にて実施しました。		
評価指標	◆園児の満足度割合	平成25年度数値	◆96%
		平成26年度数値	◆90%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆耐震工事の関係で宿泊保育は実施できませんでしたが、鹿野山の自然に匹敵するほどの自然体験ができる千葉市昭和の森で、山を歩いたり植物の観察をしたり、広い原っぱで思いきり活動ができました。	◆宿泊保育体験が幼児の自立心につながるということもあり、27年度は宿泊を伴う体験を行うとともに、活動内容についても見直しと工夫が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆五感をととした経験を重視した自然体験と宿泊保育に参加する中で、幼児間の交流の深まりと自立心を養う生活ができるようになります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	生後56日を経過した日から小学校3年生までの児童
事業名	39 病児・病後児保育の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	22,587,000円
事業の概要	<p>◆子どもが病気の時に、家庭の事情や仕事の都合等で育児が困難な期間に医療機関に付設された市内2か所の施設で、施設間の連携を図りながら事業を実施します。</p> <p>【具体的目標】 ★実施か所数 22年度 2か所 ⇒ 26年度 2か所</p>		
平成26年度事業目標	<p>◆保育所等に新規で入所する児童の保護者に対して、チラシやリーフレットの配布・広報活動等によって、事業の周知を図ります。</p> <p>◆制度が円滑に利用できるよう、施設との情報共有、連携に努めます。</p>		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<p>◆保育所等に新規で入所する児童の保護者に対して、チラシやリーフレットの配布を行い、事業の周知を図りました。</p> <p>◆病児・病後児施設連絡会議を開催し、病児・病後児施設との情報共有、意見交換を行いました(平成26年7月11日(金)開催)。</p>		
評価指標	<p>◆施設数</p> <p>◆利用児童数</p>	平成25年度数値	<p>◆2か所</p> <p>◆エンジェル保育室498人、キッズケアなでしこ1,027人</p>
		平成26年度数値	<p>◆2か所</p> <p>◆エンジェル保育室408人、キッズケアルームなでしこ951人</p>

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>◆病児・病後児施設は市内で同じような地区にある。海側にもう1か所つくってほしいです。</p> <p>◆子どもが急に病気になったときに預かってもらうことができ助かっています。このような施設があるおかげで、仕事を続けていくことができます。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>◆保護者が仕事などで家庭での看護が困難な子育て家庭を支援することで、子育てと仕事の両立支援を図りました。</p> <p>◆病児・病後児施設との連絡会議の開催により、行政との情報の共有だけでなく、実施機関同士の情報の共有、理解を深めることができました。</p>	<p>◆利用者が制度を円滑に利用できるよう、今後も施設との連携、情報共有に努める必要があります。</p>
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	<p>◆保育所等に新規で入所する児童の保護者に対して、チラシやリーフレットの配布等を行い、事業の周知を図ります。</p> <p>◆制度が円滑に利用できるよう、引き続き病児・病後児施設との連絡会議を開催し、情報共有に努めます。</p>
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	就学前の乳幼児
事業名	40 保育所補修整備の推進		
事業の概要	◆安心で安全な保育環境を保持するため、保育所の施設整備、改修を計画的に推進します。		
平成26年度事業目標	◆菊田第二保育所の給食調理室の改修を実施します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆菊田第二保育所の給食調理室を改修しました。				
評価指標	◆給食調理室改修済施設数	平成25年度数値	◆9か所	平成26年度数値	◆10か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆全ての給食調理室の改修が完了しました。	◆全ての給食調理施設改修終了までに12年を要したため、新たな改修計画を検討する必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆藤崎保育所床張替工事を実施します。
------------	--------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2. 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課、健康支援課等の関係各課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	市民
事業名	41 養育支援家庭訪問の実施		
事業の概要	◆育児支援が必要な家庭に対し相談員や保健師等が、子育て支援サービスや情報の提供を行うとともに、子育てに関して専門的な指導及び支援を家庭訪問により実施します。		
平成26年度事業目標	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図ります。 ◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報交換や、母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の発掘を行います。 ◆特定妊婦からの関わりを深め、出産後、支援がスムーズに入れる体制を構築します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆養育困難な状況にある妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、保健師や家庭相談員が家庭訪問などを行い、育児についての技術的支援を行いました。 ◆臨床心理士による勉強会を実施し(年5回)、職員の相談技術の向上に努めました。				
評価指標	◆育児支援家庭訪問対象世帯数 ◆訪問件数	平成25年度数値	◆4件 ◆49回	平成26年度数値	◆6件 ◆66回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆養育困難な家庭に対し、妊娠中から家庭相談員や保健師が訪問などを行い、安心して出産、育児に臨める環境づくりに努めました。 ◆臨床心理士との勉強会の実施により、支援方法を検証し、今後の支援方法を検討するうえでの一助としました。	◆支援を求めない家庭について、行政としてどのようにかかわっていくか、また、支援内容の充実について、今後検討していく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図ります。 ◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報交換や、母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の発掘を行います。 ◆特定妊婦からの関わりを深め、出産後、支援がスムーズに入れる体制の構築が必要です。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	公民館
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	子育て中の親
事業名	42 公民館の託児付き成人講座の実施	平成26年度事業費決算見込み額	138,000円
事業の概要	◆公民館で実施する成人向け講座に託児を設けます。		
平成26年度事業目標	◆引き続き、子育て中の母親が参加しやすいように、託児付きの成人講座を実施していきます。また、実施回数を増やすことができるよう検討していきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆料理、気功、趣味の講座を託児付で実施しました。				
評価指標	◆実施講座数	平成25年度数値	◆4講座	平成26年度数値	◆4講座

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆育児中の母親が子育てから解放され、学習することにより心身のリフレッシュができ、共通の趣味を通して仲間づくりができました。 ◆特に料理講座は、料理を楽しむコツを学びながら、家族の健康を守る知識を得ることができました。	◆特になし。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き、子育て中の母親が参加しやすいように、託児付きの成人講座を実施していきます。 ◆他の公民館でも実施できるよう検討していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課・こども保育課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	主に就学前までの子どもとその保護者
事業名	43 こどもセンターの充実		
事業の概要	◆子どもと親が自由に遊び交流する場として、子育てに関する情報提供、小児科医等による育児相談、乳幼児を対象とした学習会、公民館等、地域に出向いた育児講座等の行事を行い、また土曜日に開館することで、父親の育児参加を促します。 【具体的目標】 22年度 26年度 ★実施か所数 2か所 ⇒ 4か所		
平成26年度事業目標	◆子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、創意工夫によりサービスの充実に努めます。(子育て支援課) ◆ボランティア等との連携により子育てを支援していきけるよう、その活用方法を検討します。(子育て支援課) ◆平成26年度新たなこどもセンターのオープンに向けて、袖ヶ浦こども園の施設を完成させます。(こども保育課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆こどもセンター(鷺沼)は、平成25年度に引き続き、鷺沼連合会館2階と白鷺園園庭を借用し、暫定施設として事業を実施しました。(子育て支援課) ◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こども園こどもセンター(東習志野、杉の子、袖ヶ浦)やきらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)との情報共有、連携により事業を実施しました。(子育て支援課) ◆親子がいつでも気軽に遊び交流できる場の提供や子育てに関する情報提供、保護者からの育児相談等を行いました。(子育て支援課) ◆地域のボランティアの協力を得ながら、四季折々の遊び(年5回)、学習会(年7回)、地域世代子育て交流会(年3回)、きらっ子こどもまつり(10月18日開催)など、地域と連携したイベントを実施しました。(子育て支援課) ◆ファミリー・サポート・センター事業の一時預かり事業をこどもセンター(鷺沼)で引き続き実施しました。(計23回)(子育て支援課) ◆鷺沼こどもセンターより「あ・そ・ぼ」を「あ・そ・ぼの会」による編集・発行として偶数月に作成したほか、行事案内を毎月発行しました。(子育て支援課) ◆こどもセンターの整備を含む袖ヶ浦こども園の建設を進め、平成26年9月より地域の子育て支援拠点として事業を開始しました。(こども保育課)				
	評価指標	◆施設数 ◆利用者数	平成25年度数値	◆3か所 ◆鷺沼20,874人 ◆東習志野14,839人 ◆杉の子20,088人	平成26年度数値

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆現在の施設は狭いので、4歳、5歳の子どもは利用できないので残念です。 ◆施設の早期再開を希望します。 ◆職員の方がやさしく声を掛けてくださり、安心して利用しています。 ◆車などの大きい遊具があるので、子どもは喜んで遊んでいます。 ◆家にはないおもちゃがあり、子どもは飽きずに過ごすことができます。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆こどもセンター職員(保育士、保健師)による育児相談を実施し、子育て中の保護者の育児不安の解消につながりました。(子育て支援課) ◆土曜日の開館により、父親や共働き家庭の利用が図られました。(子育て支援課) ◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こども園こどもセンター、きらっ子ルームの施設間での情報共有を図ることができました。(子育て支援課) ◆袖ヶ浦こども園新園舎完成に伴い、新たに袖ヶ浦地区にこどもセンターを開設しました。(こども保育課)	◆暫定施設使用のため、施設の現状に合わせた事業内容とする必要があります。(子育て支援課) ◆施設数が増えていることから、施設によって取り扱いが異なるよう、同じ地域子育て支援拠点として、今後はさらに施設間の情報共有、連携に努めていく必要があります。(子育て支援課)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)を全てのこどもセンターときらっ子ルームで実施することで、子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供を行います。 ◆一時預かりファミリー・サポート・センター事業(ファミサポる〜む)を全てのこどもセンターで実施します。 ◆ボランティア等との連携により子育てを支援していきけるよう、その活用方法を検討します。 ◆こどもセンター(鷺沼)の建て替えに向け、建物の解体工事設計を行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	主に0歳～3歳までの子どもとその保護者
事業名	44 つどいの広場(きらっ子ルーム)の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	7,034,000円
事業の概要	◆商店街の空き店舗やマンションの一室を活用し、主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合いながら交流を図り、育児相談等を行う場を提供することにより、孤立しがちな子育て家庭の負担軽減を図ります。 【具体的目標】 22年度 26年度 ★実施か所数 2か所 ⇒ 2か所		
平成26年度事業目標	◆子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、サービスの充実に努めます。 ◆地域(ボランティア等)との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆親子が気軽に来所し、遊び交流できる場の提供及び子育てに関する情報の提供に努めるとともに、来所した親子に見守りや声掛けを行い、保護者からの相談に随時対応しました。 ◆平成26年9月よりきらっ子ルームおおくぼにおいて、ファミリー・サポート・センター会員が預かりを行う一時預かり事業(ファミサポる～む)を開始しました。(計43回) ◆地域ボランティアを積極的に活用し、おはなし会他講習等を行いました。 (きらっ子ルームやつ)学習会4回、おはなし会12回、パネルシアター7回、ベビーマッサージ10回、ミニコンサート7回等 (きらっ子ルームおおくぼ)学習会3回、おはなし会2回、ベビーマッサージ7回等		
評価指標	◆施設数 ◆利用者数	平成25年度数値	平成26年度数値
		◆2か所 ◆やつ13,805人、おおくぼ13,508人	◆2か所 ◆やつ16,100人、おおくぼ15,626人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆引越してきたばかりで知り合いがないとき、きらっ子ルームがあって本当によかったと思いました。 ◆子どもがのびのびと遊んでくれます。 ◆職員の方がいつも親身になって相談にのってくださるので、いつも助かっています。また、生活リズムを整えたいと思ったら、きらっ子に行きます。 ◆職員の方に子育ての苦勞を共感してもらい、頑張ることができました。 ◆利用者のお母さんが作成し、施設内で見ることができるミニコラムが楽しい。 ◆ミニ講座では知らなかったことをわかりやすく学ぶことができ、少しずつですが、自信をもって子育てができるようになりました。 ◆「ファミ・サポる～む」の利用は、始めは心配でしたが、子どもを預けることができ、とても助かりました。また利用したいです。お友達にも紹介したいです。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆きらっ子ルームやつは、土日に開館していることにより、父親や共働き家庭の利用が増加しています。 ◆保育士による見守りや声掛け、保護者からの相談に対応し、育児不安の解消につながりました。 ◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こどもセンター(鷺沼、東習志野、杉の子、袖ヶ浦)、きらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)の施設間で情報の共有を図りました。 ◆ボランティアによるイベント・ミニ講座等を積極的に開催し、両施設ともに利用者が増加しています。	◆地域ボランティアとの連携により、講習やイベントなどを更に充実していく必要があります。 ◆子育てに関する情報の充実に努めるほか、利用者の視点に立った利用しやすい施設運営を行う必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)を開始し、子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供を行います。 ◆きらっ子ルームおおくぼで、引き続き、一時預かり事業(ファミサポる～む)を実施します。 ◆地域(ボランティア等)との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	保育所・こども園・こども保育課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	就学前児童及びその保護者
事業名	45 保育所・こども園における地域開放活動の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆子ども同士のふれあい、保護者同士の交流、育児情報の提供の場として、保育所・こども園を地域に開放します。		
平成26年度事業目標	◆地域における乳幼児の子育て支援に努め、相談に応じるとともに、情報提供・親子来所来園・保護者同士の交流の機会を提供し、子育て家庭に対する不安感の軽減や支援の充実を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆各施設、月1～3回程度所庭・園庭を開放しました。		
評価指標	◆実施施設数 ◆参加人数	平成25年度数値	◆13施設 ◆1,791人
		平成26年度数値	◆13施設 ◆1,516人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆安心して遊べる場を提供しました ◆来所・来園した親子が在所児・在園児の遊ぶ様子を見たり、一緒に遊んだりすることで、子どもの発達や援助の仕方など子育ての参考とすることができました。 ◆栄養・健康に関する情報提供を行い、子育ての参考になることに努めました。	◆所庭、園庭開放の日時や内容の周知を充実させ、より多くの地域の方に利用してもらえるようにする必要があります。 ◆栄養・健康に関する情報提供の充実及び遊びや援助の仕方など子育て支援情報提供の充実を図る必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆安全・安心に遊べる場を提供するとともに、保護者同士の交流の機会や子育てについての相談、情報提供の場として活かし、家庭における子育ての不安感の軽減と支援を努めます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	幼稚園・こども園・こども保育課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	未就園児とその保護者
事業名	46 幼稚園・こども園における子育てふれあい広場の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	97,701円
事業の概要	◆親子、親同士、子ども同士、園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放します。		
平成26年度事業目標	◆子育てに関する情報の発信や親子・子ども同士・親同士・在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆在園児との交流や遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域の未就園の子どもと保護者に開放しました。		
評価指標	◆実施施設数 ◆参加人数	平成25年度数値 ◆15か所 ◆4,400人	平成26年度数値 ◆14か所 ◆4,268人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	幼稚園開放に参加した未就園児と保護者から「様々な人と交流し、楽しく遊んで満足して帰宅した。また参加したい」と期待する言葉が聞かれたほか、アンケート調査においても同様の記載がありました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆遊び方や歌や手遊びなどを紹介することで、家庭での親子のコミュニケーションにつながりました。 ◆施設間のつながりで内容の工夫を図り地域の子育て支援の役割を果たすことができました。	◆施設間で更なる情報交換を行うことで、内容の充実を図る必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆子育てに関する情報の発信や親子・子ども同士・親同士・在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課・公民館
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	市民(乳幼児を持つ親等)
事業名	47 育児サークルへの支援		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆親同士の情報交換と育児の仲間づくりを進めるため、場所の提供や育児サークルの育成・交流等の支援を行います。		
平成26年度事業目標	◆こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あ・そ・ぼ」の発行などに対する支援を行います。(子育て支援課) ◆親同士子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課) ◆育児サークル化の支援とともに、活動しやすい環境づくりに努めます。(公民館)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆育児サークル「あ・そ・ぼの会」の主な活動である「こどもセンターたより」について、こどもセンターの支援のもと編集・発行を行いました。(年5回発行)(子育て支援課) ◆こどもセンター(鷺沼)、きらっ子ルームの掲示板において、子育て情報として、育児サークル発信によるチラシ等の掲示を行い、情報提供に努めました。(子育て支援課) ◆親同士の仲間づくりを支援するため、利用者が作成した情報を利用者が見れるよう設置したり、グループ化の支援を行いました。(子育て支援課) ◆育児講座の終了後に、サークル化に向けて適宜アドバイスを行いました。併せて、既存の育児サークルの活動支援のため、部屋の貸出を行っています。(公民館)				
評価指標	◆育児講座終了後のサークル化数	平成25年度数値	◆6学級中4サークル	平成26年度数値	◆6学級中1サークル

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「あ・そ・ぼ」の活動は、とても楽しくやらせていただいています。 ◆「あ・そ・ぼ」の編集会議でいろいろと意見を交換しながら作成しています。 ◆お母さんの視点で作成している情報紙は楽しく見えています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆「あ・そ・ぼの会」の支援により、参加メンバーは、こどもセンターたよりの編集、発行作業を通じ、こどもセンターを拠点とする親同士の仲間づくりや交流を深めるとともに、子どもとの遊び方、その他子育てに関する情報を得、子育て期の充実につながっています。(子育て支援課) ◆講座終了後にサークル化することにより、講座中に育まれた仲間づくりを継続することができました。また、育児の悩みを共通理解することで、育児の孤立化を予防しています。(公民館)	◆今後も、こどもセンターやきらっ子ルームにおいて、育児サークル等の情報提供を行うとともに、仲間づくりや情報交換の場の提供と支援に積極的に努める必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あ・そ・ぼ」の発行などに対する支援を行います。 ◆親同士、子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課) ◆育児サークル化の支援とともに、活動を継続しやすい環境づくりに努めます。(公民館)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課・健康支援課
施策内容	3 子育てに関する情報提供の充実	事業対象者	子育て家庭等・妊婦とその夫(パートナー)・乳幼児を持つ保護者
事業名	48 子育て情報の提供		
		平成26年度事業費決算見込み額	745,600円
事業の概要	◆「ならしの子育てハンドブック」、「すこやか習志野っ子ファイル」、「すこやか子育てガイド」、「子育て情報マップ」等を作成し、妊娠中から子育て期に合わせて、必要な子育て情報を提供します。		
平成26年度事業目標	◆引き続き、「ならしの子育てハンドブック」を配布するとともに、最新の子育て支援情報について、市のホームページや携帯サイト・広報等で周知を図ります。(子育て支援課) ◆子育てに関するウェブサイト導入について検討をします。(子育て支援課) ◆提供する情報の充実と正確さを図るために、定期的に内容を見直していきます。(健康支援課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を子育て支援課窓口にて、お父さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布を行いました。(子育て支援課) ◆子育て支援に関連する各種制度のチラシ・パンフレット等を子育て支援課窓口やこどもセンター、きらっ子ルーム他、市内公共施設に設置し、市民の方々へ情報提供を行いました。併せて市ホームページにおいても、子育て支援に関する情報の充実と、特にタイムリーな情報発信を行いました。(子育て支援課) ◆子育て情報に特化したサイト「きらっ子ナビ」を株式会社アスコパートナーズとの官民連携により無償で作成し、平成26年12月より公開しました。(子育て支援課) ◆千葉県が作成した女性をターゲットにしたアプリ「ちばウーマンダイアリー」の実証実験に参加し、情報を提供しました。(子育て支援課) ◆母子健康手帳交付時に「すこやか子育てガイド」を配布し、新生児訪問時には「すこやか子育てガイド」を活用して保健活動を行いました。さらに母子保健推進員家庭訪問時に「すこやか習志野っ子ファイル」、「子育て情報マップ」の内容を説明しながら配布しました。「すこやか子育てガイド」は妊娠期の情報をまとめ、母子保健サービスの流れについて理解できるように工夫し、「すこやか習志野っ子ファイル」ともに、継続して活用できるよう、内容の充実を図りました。また、「ママ・パパになるための学級」や「4か月児健康相談」においても「すこやか子育てガイド」を活用し、情報提供しました。(健康支援課)				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率	平成25年度数値	◆96.1%	平成26年度数値	◆97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆スマートフォンなどで情報を探すのも便利かもしれませんが、必要な情報が掲載されている冊子はやはり便利であり、手元にあると安心します。(子育て支援課) ◆市のホームページスマートフォンでは字が小さく見にくいのですが、「きらっ子ナビ」は、スマートフォンに対応して画面が見やすいので便利です。また、子育てについての情報がまとまっているので、調べたい情報が探しやすいです。(子育て支援課) ◆すこやか子育てガイドでは、「市のサービスの流れが記載してありイメージがつきやすかった」、また子育て情報マップでは、産後のママから「遊び場がたくさん載っていてわかりやすい」などの感想を得ています。(健康支援課)
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆「ならしの子育てハンドブック」やその他チラシ・パンフレットの配布により、市民への子育てに関する情報提供を適切に行うことができました。また、子育てに特化したサイトである「きらっ子ナビ」を公開し、スマートフォンを活用する子育て世代に対し、わかりやすい、情報を得やすい環境づくりに寄与することができました。(子育て支援課) ◆「すこやか習志野っ子ファイル」、「すこやか子育てガイド」、「子育て情報マップ」により妊娠中から子育て期の対象者に合わせた必要な情報を提供できました。また、様々な事業の中でも情報提供する媒体として繰り返し活用しました。(健康支援課)	◆「ならしの子育てハンドブック」は隔年で作成しているため、次のパンフレット作成までに制度改正等による修正事項が多くあり、その作業が手間になっています。パンフレットの作成頻度や作成方法について、費用対効果も考慮し、検討する必要があります。(子育て支援課) ◆情報提供は、様々な媒体と手段を活用し、行うことが必要と思われませんが、作業効率や他業務とのバランス、事業の位置づけ等から総合的に判断する必要があります。(子育て支援課) ◆引き続き、新しい情報をタイムリーに反映させていきます。(健康支援課)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆「ならしの子育てハンドブック」を作成し、最新の子育て支援情報について、市のホームページ・ツイッター、広報等で周知を図ります。(子育て支援課) ◆子育て応援サイト「きらっ子ナビ」を引き続き運営し、わかりやすい子育て情報の提供を行います。(子育て支援課) ◆提供する情報の充実と正確さを図るために、定期的に内容を見直していきます。モバイルサービス「すこやかナラシド予防接種ナビ」を活用し、必要な情報が伝わるよう、その周知に努めます。(健康支援課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	公民館
施策内容	3 子育てに関する情報提供の充実	事業対象者	乳幼児を持つ親
事業名	49 育児講座の充実	平成26年度事業費決算見込み額	295,000円
事業の概要	◆公民館で乳幼児を持つ親を対象に、乳幼児の健康や遊び、心理、心と体の発達等、子育てに関する講座を実施します。		
平成26年度事業目標	◆引き続き育児講座を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆乳幼児を持つ親を対象に、対象年齢にあった遊びや健康、発達段階について学びました。		
評価指標	◆実施学級数 ◆実施回数	平成25年度数値 ◆6学級 ◆36回	平成26年度数値 ◆6学級 ◆35回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>「絵本で育む親子の関わり」</p> <p>◆いろいろな絵本や、知らない絵本もたくさんあり、これから絵本を選ぶ時の参考にしたいと思いました。パネルシアターに子どもが非常に興味を示し、じーっと見ていたのでびっくりしました。</p> <p>「子守唄コンサート」</p> <p>◆ヴァイオリンとピアノの演奏がとても素敵でした。普段、なかなか聴く機会がないので、とても良かったです。寿学級と合同のため、お年寄りの方に抱っこしてもらい、息子も満足でした。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子育てに関する正しい知識を身につけるとともに、同じ悩みを共有することにより育児の孤立化を防ぎ、仲間づくりができました。	◆特になし。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き育児講座を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	公民館
施策内容	3 子育てに関する情報提供の充実	事業対象者	3歳児を持つ親
事業名	50 幼児家庭教育学級の充実	平成26年度事業費決算見込み額	961,000円
事業の概要	◆公民館で3歳児の親を対象に、様々な角度から子育てに関する講座を実施します。		
平成26年度事業目標	◆プログラムの充実を図るとともに、講座終了後に参加者が継続的な交流が持てるように支援していきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆3歳児に応じた健康や遊び、心と体の発達等、子育てに関する講座を実施しました。		
評価指標	◆実施学級数 ◆実施回数	平成25年度数値	◆7学級 ◆83回
		平成26年度数値	◆7学級 ◆82回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>「家庭教育・お父さんも一緒に！ 今よりもっと素敵な毎日を・・・」</p> <p>◆イクメンは「子」の方ではなく、「母」の方を向いて・・・という言葉がすごく嬉しかったです。もっと世間にその考えが伝わればいいのに！今日は主人が来てくれて嬉しかったです。今日の講義が響いてくれるとよいのですが。</p> <p>「いざというとき大丈夫？わが子を守る防災対策」</p> <p>◆震災の時には子どもと一緒にいたので安心でしたが、今後、離れている際のことを想定してシミュレーションが大切だと思います。備蓄も『最低限の必要な物』を考えておこうと思います。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子育てに関する正しい知識を身につけるとともに、同じ悩みを共有することにより育児の孤立化を防ぎ、仲間づくりができました。	◆講座終了後、母親の就労や子どもの幼稚園入園により、継続的な交流が持てない場合があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆プログラムの充実を図るとともに、講座終了後に参加者が継続的な交流が持てるように支援していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 地域の人材の知識や経験を生かす活動の推進	事業対象者	子育て経験者・高齢者
事業名	51 子育て経験者や高齢者のための子育て講座の実施		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆子育てについて豊富な経験を有するものの、子育てに関する情報が乏しい高齢者等に、最近の子育て事情等について講座を実施します。		
平成26年度事業目標	◆子育てを地域で支えていく意識を根付かせていくため、地域の高齢者や子育て経験者に対して子育て講座を実施します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆こどもセンター(鷺沼)とファミリー・サポート・センターの共催により、こどもセンター利用者とファミリー・サポート・センター会員を対象に講座を実施しました。 日時:平成26年11月7日(金) テーマ:「アロマハンドトリートメント(アロマの簡単使用方法と体験)」 参加者:20人(保育4名) 講師:JAA認定アロマインストラクター 安齋孝子氏		
評価指標	◆実施回数	平成25年度数値	◆1回
		平成26年度数値	◆1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆本当にリラックスした気持ちのよい講座でありがたかったです。 ◆癒され、しかも勉強になりました。提供会員や利用会員の方とお話できてよかったです。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆こどもセンターとファミリー・サポート・センターが共催で事業を実施することにより、子育て世代と自身の子育てを終了している世代が交流し、お互いの世代の感覚等の理解を深めることができました。	◆子育てを地域で支えていく意識や子育てしやすい環境づくりへの理解を深めるためには、今後も様々な世代が交流できる機会の提供が必要と思われます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆子育てを地域で支えていく意識を根付かせていくため、今後も地域のさまざまな世代が交流できる機会の提供を行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 地域の人材の知識や経験を生かす活動の推進	事業対象者	市民
事業名	52 地域の人材の活用	平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆こどもセンターで開催する学習会等において、地域の人々の子育てに関する知識・技術を有効活用します。		
平成26年度事業目標	◆地域力の活性化を目指して、子育てに関する知識を豊富に有している地域の方々によるボランティアの活用に努めます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容及びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆こどもセンター(鷺沼)やきらっ子ルームにおいて、地域のボランティアの方々には協力いただき、おはなし会や講座などを実施しました。 (ボランティア人数) こどもセンター(鷺沼) たなばたコンサート(1回、23人)、おはなし会(12回、4人)、誕生のつどい(1回、7名)、学生による親子ミニコンサート(1回、2名)、あそびの会(25回、10人) きらっ子ルームやつ おはなし会(12回、延べ3人)、ミニコンサート等イベント(17回、56人)、ベビーマッサージ(10回、1人)、人形劇(1回、4人)、パネルシアター(7回、1人)、学習会(2回、2人) きらっ子ルームおおくぼ おはなし会(2回、1人)、ベビーマッサージ(7回、1人)、おもちゃ拭き(10回、1人)		
評価指標	◆ボランティア活用人数	平成25年度数値	◆92人
		平成26年度数値	◆116人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆ボランティアの活動で友達がたくさんつくることができました。 ◆お互いの育児相談などの相談ができた。 ◆情報交換ができることがうれしいです。 ◆きらっ子ルームやつでのボランティアの活動が生きがいになっています。 ◆施設の雰囲気がよく、大変気持ちよくさせていただいています。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆ボランティアの方々のご協力により、こどもセンターやきらっ子ルームの事業の充実につながりました。 ◆きらっ子ルームやつは、利用者から積極的にやりたいと申し出る方が多く、イベント開催に多くつながりました。	◆今後も地域で活躍する方々の豊富な知識や経験を有効活用できるよう、こどもセンターやきらっ子ルーム等において、ボランティアの活用を継続していく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆地域力の活性化を目指して、子育てに関する知識を豊富に有している地域の方々によるボランティアの活用に努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 地域の人材の知識や経験を生かす活動の推進	事業対象者	子育て支援団体
事業名	53 ならしの子育て支援ネットワークの充実		
事業の概要	◆子育て支援に様々な形で関わっている団体等が、情報交換や問題点・課題を共有する場を設け、お互いの立場を理解し合いながら対策を講じることにより、地域における子育て支援をさらに推進していきます。		
平成26年度事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場を設定します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆平成26年度で11回目となる「ならしのきらっ子こどもまつり」について、子育て支援団体を含む「きらっ子こどもまつり実行委員会」を組織し、実施しました。 ・日時:平成26年10月18日(土) ・実行委員会開催回数:3回(8月、10月、11月) ・実行委員会参加団体:ならしの子ども劇場、ぼっぼの会他 ◆「子育て支援を考える会」と意見交換会を開催しました。 ・日時:平成26年6月3日				
評価指標	◆会議開催回数	平成25年度数値	◆2回	平成26年度数値	◆2回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆今後も行政との連携、情報共有を行っていききたいと思います。 ◆団体が主催する講座等に出席いただき、団体の活動に理解を深めてほしい。また協力をお願いしたい。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆複数の団体との意見交換会は開催できなかったが、市内の子育て支援に関わる団体との意見交換、共有に努めることができました。	◆生活者の立場から子育て支援の重要性について意見等を持つ関係団体との連携に努め、今後も情報共有、意見交換を積極的に実施していく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等との情報交換や課題を共有するよう努めます。 ◆「ならしのきらっ子こどもまつり」を実施し、子育て支援団体等との連携に努めます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	5 子育て家庭の経済的負担の軽減	事業対象者	0歳から15歳までの児童を養育している父母等
事業名	54 児童手当の支給		
		平成26年度事業費決算見込み額	2,613,157,289円
事業の概要	◆15歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童の養育者(父母等)に手当を支給します。 ◆平成24年4月1日より、児童手当に制度改正されました。		
平成26年度事業目標	◆継続的に広報に掲載し、またホームページを更新することで、制度の周知に努めます。 ◆現況届未提出者に対する周知方法等について検討し、未提出による差止の防止に努めます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆広報、ホームページへの掲載、リーフレットの配布等により制度の周知、申請方法の案内に努め、未申請の防止を図りました。 ◆現況届の周知を行い、未提出者に対しては個別に現況届提出の催促を行い、未提出による差止めの防止に努めました。				
評価指標	◆支給児童数	平成25年度数値	◆20,788人	平成26年度数値	◆19,339人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆制度の周知や申請方法の案内により未申請の防止を図り、また、現況届の提出催促を行い未提出による差止めの防止に努めたことにより、適正な児童手当の支給を行うことができ、子育て家庭における経済的負担の軽減が図られました。	◆現況届の提出に係る周知や催促を複数回行うことで提出があったが、家庭の事情によって手続きを行うことが難しい場合もあるため、個別のケースにおける事情を考慮し、適切な案内を行っていくように検討します。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆継続的に広報、ホームページに掲載し、制度の内容や手続き方法の周知を図ります。 ◆現況届の提出の周知、未提出者への催促の方法について検討し、未提出による差止めの防止に努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	5 子育て家庭の経済的負担の軽減	事業対象者	市内在住の0歳～中学校3年生の子ども
事業名	55 子どもの医療費等の助成		
		平成26年度事業費決算見込み額	392,819,203円
事業の概要	◆0歳～小学校6年生の入院・通院、中学生の入院にかかる医療費について、保険診療自己負担分を一部助成します。		
平成26年度事業目標	◆引き続き本事業を継続するとともに、広報やホームページ等で定期的に本事業を周知させることで、子ども医療費助成受給券の交付率の向上や、受給券の誤使用の防止に努めます。 ◆更なる助成対象の拡大については、県や他市町村の動向等に注目しつつ検討し、子どもの保健向上及び保護者の経済的負担の軽減を目指していきます。 ◆平成26年12月診療分から、通院の助成対象年齢を小学校3年生から小学校6年生へ拡大することに伴う、制度の円滑な移行に努めます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆子どもの保健向上を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、子どもが医療機関等にかかった際の医療費の一部を助成いたしました。 ◆平成26年12月診療分から、通院の助成対象年齢を小学校3年生から小学校6年生へ拡大しました。				
評価指標	◆子ども医療費助成受給券交付率	平成25年度数値	◆92.70%	平成26年度数値	◆95.29%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子ども医療費助成受給券の交付率が前年度に比べ上昇し、子どもの保健向上及び保護者の経済的負担が軽減され、本市の子育て支援の充実が図られました。 ◆平成26年12月からの制度改正に伴い、通院の医療費について助成対象年齢を拡大し、より一層保護者の経済的負担の軽減につながりました。	◆中学生の入院で使用する子ども医療費助成受給券は、受給券のうち特に未交付の対象者が多くなっています。 ◆独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象医療費への誤使用が、昨年と同程度発生しています。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き本事業を継続するとともに、広報やホームページ等で定期的に本事業を周知させることで、子ども医療費助成受給券の交付率の向上や、受給券の誤使用の防止に努めます。 ◆平成27年8月診療分から、通院の助成対象年齢を小学校6年生から中学校3年生へ拡大することに伴う、制度の円滑な移行に努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	2 仕事と子育ての両立の推進	担当課	男女共同参画センター・商工振興課・子育て支援課・こども政策課
施策内容	1 企業における子育て支援対策の促進	事業対象者	市民・市職員
事業名	56 子育てに関する制度の活用推進	平成26年度事業費決算見込み額	1,227,696円
事業の概要	◆職業生活と家庭生活の両立に関する制度等について、パンフレットの配布等により情報提供を行います。 ◆育児休業制度、配偶者の出産休暇制度や子の看護休暇制度についてパンフレット等で啓発するとともに、求人情報サイト「アクティブならしの」にも掲載し、情報提供を行います。 ◆市内企業における仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを、商工会議所と連携して啓発し、「子育て支援先端企業」の誕生を目指します。		
平成26年度事業目標	◆子育てに関する様々な制度についての情報を窓口を設置し、市民の方々への情報提供を行います。(子育て支援課) ◆「子育てを地域(みんな)で支えるまち」づくりを推進する為、千葉県が「子育てサポート日本一」を目指し平成24年7月から実施されている「企業参画型子育て支援事業」への協賛事業者募集に関する周知を関係機関との連携により事業者に行うとともに、市内事業所の協賛事業所へのさらなる応募につなげていきます。(商工振興課) ◆男女がともに仕事と家庭の両立ができるよう引き続き周知してまいります。(男女共同参画センター)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	(男女共同参画センター) 【1】市制施行60周年及び男女共同参画センター開設10周年記念による男女共同参画週間事業 講演会・分科会 ※登録団体から構成される運営委員会との協働により実施しました。日時:6月28日(土)13:00~16:30 会場:サンロード津田沼5階・6階 分科会テーマ:くらし方 助言者:千葉大学 久保桂子教授 参加者:24名 【2】男女共同参画啓発講座 日時:9月18日(木)、25日(木)、10月3日(金)、9日(木)、16日(木)(5回講座)10:00~12:00 会場:サンロード津田沼5階研修室 参加者:104名(延べ) テーマ:ワタシへのこぼり講座2014 講師:NPO法人パートナーシップながれや代表 山口文代 他 【3】子育て応援セミナー ※こどもセンター(鷺沼)との共催事業 日時:3月8日(日)10:00~12:00 会場:男女共同参画センター交流コーナー 参加者:41名 テーマ:夫婦で考える育児 講師:株式会社アイノロハ 代表取締役 渡辺大地さん 【4】情報紙「きらきら」発行 ※市民参画による企画 編集 特集テーマ 第30号(7月発行)「編集委員が語る 男女共同参画の今」第31号(11月発行)「アフト選手が語る子育て」第32号(2月発行)「仕事と子育て バランスよく働き続けたい~大学生に聞く男女共同参画」各13,000部 市内幼稚園、保育所、小学校保護者に配布し、公共機関等に設置しました。 【5】男女共同参画センター(ステップならし)の図書情報コーナーに、男女共同参画やDV、ワーク・ライフ・バランス等に関連する書籍を設置しています。(商工振興課)企業参画型子育て支援事業の登録事業者でもある習志野商工会議所を通じて、市内事業所に対して本事業への応募を要請しました。 ◆子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を子育て支援課窓口にて、お子さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布を行いました。(子育て支援課) ◆子育て支援に関連する各種制度のチラシ・パンフレット等を子育て支援課窓口やこどもセンター、きらっ子ルーム他、市内公共施設に設置し、市民の方々へ情報提供を行いました。併せて市ホームページにおいても、子育て支援に関する情報の充実にも努め、特にタイムリーな情報発信を行いました。 ◆子育て情報に特化したサイト「きらっ子ナビ」を株式会社アスコエパートナーズとの官民連携により無償で作成し、平成26年12月より公開しました。 ◆千葉県が作成した女性をターゲットにしたアプリ「ちばウーマンダイアリー」の実証実験に参加し、情報を提供しました。 ◆男女共同参画センターと共催し、「子育て応援セミナー」を開催し、男性の育児参画についての啓発を行いました。 日時:平成27年3月8日(日曜)午前10時から12時 テーマ:夫婦で考える育児 講師:(株)アロハイナ代表 渡辺大地氏				
	評価指標	◆「子育て支援先端企業」認証企業数 ◆男性の家庭参画を促す講座等の実施	平成25年度数値	◆2 ◆1回	平成26年度数値

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(男女共同参画センター) 【1】一人ひとりが自立すること、そのために周りの人の自立を考えること。どんなサービスが地域にあるか情報をしっかり仕入れたいと思います。 【2】普段馴染みのない場所ですがこの講座が来所のきっかけとなり、男女共同参画を考えるきっかけとなりました。今回のような連続講座だけではなく、単発でもたくさん開かれますと嬉しいです。色々な角度から今の自分、未来の自分、まわりのことを見つめる機会となりました。 【3】◆夫婦間での将来設計、コミュニケーションを図るうえでとても大事なポイントばかりでした。 ◆産後について具体的なイメージもわかず夫とのコミュニケーションにも不安を感じていたので、良い機会となりました。(子育て支援課) ◆スマートフォンなどで情報を探すのも便利かもしれませんが、必要な情報が掲載されている冊子はやはり便利であり、手元にあると安心します。 ◆市のホームページスマートフォンでは字が小さく見にくいのですが、「きらっ子ナビ」は、スマートフォンに対応している画面が見やすいので便利です。また、子育てについての情報がまとまっているので、調べたい情報が探しやすいです。	
			事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆男女共同参画週間事業は例年より規模を拡大し講演会その他、分科会を開催し、ただ講演を聴くにとどまらず、各テーマに沿った市民との意見交換の場となりました。参加者の年代も幅広く世代を超えて現状を認識し、問題を共有できました。(男女共同参画センター) ◆啓発講座は参加対象を「未就学児をもつ母親」と限定しテーマを絞ったことから、問題意識は概ね共有できました。5回連続講座において、これからの自分と向き合いロールモデルの情報や経験談をもとに、自分自身の将来設計を具体的に考える機会を提供できました。(男女共同参画センター) ◆子育て応援セミナーは、夫婦で参加する内容であり、初めて男女共同参画センターへ来場した方から、男女共同参画センター自体を知っていただくことにもつながり、併せて産後のコミュニケーションをきっかけに男女共同参画の視点に立った子育て支援につながりました。(男女共同参画センター) ◆習志野市商店会連合会や習志野商工会議所等の庁外関係機関と連携して、子育てに関する制度の周知を図ることで、市内事業者にも制度の活用を促すことができました。(商工振興課・こども政策課) ◆「ならしの子育てハンドブック」やその他チラシ・パンフレットの配布により、市民への子育てに関する情報提供を適切に行うことができました。また、子育てに特化したサイトである「きらっ子ナビ」を公開し、スマートフォンを活用する子育て世代に対し、わかりやすい、情報を得やすい環境づくりに寄与することができました。(子育て支援課)	◆仕事と家庭の両立は男性女性ともにそれぞれの課題を抱えており、特に子育てや介護との両立は現状の人口減社会においても大きな問題です。両立できる環境を整え、支援に関する制度の周知を図り、社会全体で問題意識を共有することが必要だと考えています。(男女共同参画センター) ◆千葉県が実施している「企業参画型子育て支援事業」につきましては、千葉県が直接応募を受け付けていることから、市内事業所の応募状況を市がどのように把握するかという課題が残りました。(商工振興課) ◆「ならしの子育てハンドブック」は隔年で作成しているため、次のパンフレット作成までに制度改正等による修正事項が多くあり、その作業が手間になっている。パンフレットの作成頻度や作成方法について、費用対効果も考慮し、検討する必要があります。(子育て支援課) ◆情報提供は、あらゆる媒体と手段を活用し行うことが必要と思われますが、作業効率や他業務とのバランス、事業の位置づけ等から総合的に判断する必要があります。(子育て支援課)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆男女が共に仕事と家庭生活を両立できるよう子育て支援の充実に向けて、関係機関と連携し、引き続き周知してまいります。(男女共同参画センター) ◆商工会議所等と連携して、子育て支援に関する諸制度の市内事業所への周知を行います。(商工振興課・こども政策課) ◆子育てに関する様々な制度についての情報を窓口を設置し、市民の方々への情報提供を行います。(子育て支援課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	2 仕事と子育ての両立の推進	担当課	男女共同参画センター・商工振興課
施策内容	1 企業における子育て支援対策の促進	事業対象者	市民・市内事業者・勤労者
事業名	57 企業における男女平等の啓発		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆国・県・関係機関等が発行するパンフレット等を事業主に配布し、企業における男女平等に関する情報の提供を行います。		
平成26年度事業目標	◆男女が仕事と家庭の両立を図ることができるように、事業者として配慮することの重要性についてさらに認識してもらうことを目指し、情報の提供を行います。(男女共同参画センター) ◆再就職を考えている子育て中のお母さんを対象に「再就職支援セミナー」を実施します。(商工振興課) ◆企業・勤労者に対する男女平等の啓発を推進する為、男女共同参画センターとの連携によりパンフレット等を配布し、情報の提供を行います。(商工振興課) ◆子育てに関する制度を広く事業者へ周知するために、「アクティブならし」の積極的な活用をします。(商工振興課) ◆子育てに関する制度の周知において、事業者に対し直接的な働きかけを行うために、商工会議所との連携を継続し、体制を強化します。(商工振興課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容及び、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度の周知及び、さらなる推進を図るため、商工振興課と連携し習志野商工会議所を通じて市内事業所2,000か所に対して表彰制度募集のチラシを配布しました。また、商工会議所(工業部会)主催の企業見学会において、平成26年度男女共同参画推進事業所表彰知事賞を受賞した事業所が見学会の場となったことから、意見交換会に出席し、事業所との交流を図りました。(男女共同参画センター) ◆再就職を考えている子育て中のお母さんを対象に再就職支援セミナーを、千葉県ジョブサポートセンターと共催しました。(商工振興課) 【セミナーの概要】 開催日時：平成27年1月23日(金)9時30分から12時と13時から15時30分の2回開催 開催場所：サンロード津田沼6階大会議室 参加者：計9名 内 容：書類の書き方や面接の受け方等の説明 第1回 自己理解とキャリアプラン作成 第2回 就職スキル ◆男女共同参画センターと連携し商工会議所を通じて市内事業所へ、千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度のチラシを配布しました。(商工振興課) ◆商工会議所を通じて子育てに関する制度のチラシを配布し、市内事業者に周知しました。(商工振興課)				
評価指標	◆事業所に対する千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度の周知回数	平成25年度数値	◆1回	平成26年度数値	◆1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容
-------------------	---	-------------------

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆千葉県男女共同参画推進事業所表彰を受賞した事業所と、働く場における男女平等の推進について直接意見交換を行うことができ、今後の施策推進に向けた手がかりを得ることができました。(男女共同参画センター) ◆再就職を希望されている子育て中の女性に対して、就職活動に必要な知識や情報等を提供することができました。(商工振興課)	◆働く場における制度上の環境は少しずつ改善されつつあるが、男性の長時間労働、女性の就労継続等課題は多くあります。また、各企業の経営方針もそれぞれ異なるため、一律に同じ方向に向かって取り組んでいくのは難しい面があります。(男女共同参画センター) ◆今後もこども部と連携を図りながら、再就職を希望されている子育て中の女性に対して、就職活動に必要な知識や情報等を提供する必要があります。(商工振興課)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆企業に対し、仕事と子育て等の両立に関する制度等の普及・啓発、利用促進を行い、働く場における男女共同参画を推進します。(男女共同参画センター) ◆企業・勤労者に対する男女平等の啓発を推進するため、男女共同参画センターとの連携によりパンフレット等を配布し、情報の提供を行います。(商工振興課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	2 仕事と子育ての両立の推進	担当課	健康支援課
施策内容	2 男性の子育て参加の促進	事業対象者	妊婦とその夫(パートナー)
事業名	58 男女共同参画の子育て意識啓発		
		平成26年度事業費決算見込み額	126,092円
事業の概要	◆「ママ・パパになるための学級」、「明日の親のための学級」で、夫婦の役割を考えるきっかけとなる内容をプログラムに盛り込み、啓発します。 ◆妊婦、出産、育児のための情報を盛り込んだパンフレットの配布等、父親も育児を担えるような支援を行います。		
平成26年度事業目標	◆より多くの夫婦が「ママ・パパになるための学級」に参加し、夫婦の役割を考え、育児は夫婦共同という認識が持てるよう努めます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容及びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆妊娠届出者・転入時に面接した妊婦に対し、「ママ・パパになるための学級」の案内を配布しました。 ◆「ママ・パパになるための学級」に夫(パートナー)の参加を促し、妊婦シミュレーターを着用して妊婦体験を行いました。また、育児は夫婦共同である、という意識が持てるよう講義とグループワークを行いました。(年間12コース、うち2課が土曜日のコースを8回/年、平日のコースを4回/年実施)				
評価指標	◆妊娠届出者・転入時面接した妊婦への配布率 ◆ママ・パパになるための学級の妊婦・夫受講率	平成25年度数値	◆100% ◆妊婦49.9%・夫38.7%	平成26年度数値	◆100% ◆妊婦49.9% 夫38.0%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆ママ・パパになるための学級に参加した夫(パートナー)からは「パパの意識向上。家族を大事にする為に自分のやるべき事柄について、多くの役割があることを認識できた」「よく話を聞き協力できる夫になる」「子育てはもちろんのこと、夫として妻を支える意識を忘れないでいたい」「妻と子供をつつんでいけるよう意識ができました」「愛情をよくそそいでいきたいと思う」「妻と子育てについてより共有していきたい」「禁煙する」「なるべく平日は早く帰って手伝いをしたり、子供の起きている顔を見れるようにしたい」「赤ちゃんの触り方がわからずびびっていたが、しっかりと向き合い触れ合いながら学んでいきたいと思いました」等の感想をいただきました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆土曜日2課の参加者希望者が多いことから、会場のレイアウトを工夫して、多くの参加者を受け入れ、安全に教室運営ができるよう対応しました。 ◆2課に参加したパパのアンケートより、「パパとして実践したいこと、心がけたいことがありましたか？」の問いに「あった」「どちらかといえばあった」と回答した人が97.9%でした。	◆夫婦で参加しやすい日程を今後も考慮していく必要があります。2課の土曜日開催を多く望む声もありますが、平日しかお休みを取れない方もおり、現状の回数で実施予定です。 ◆受講者数は増加傾向にあり、安全に教室が運営できるよう、更なる会場レイアウトの工夫・講義内容の工夫が必要となっています。 ◆引き続き夫婦で育児をしていく意識の啓発をしていく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆夫婦の役割を考え、育児は夫婦共同という認識が持てるようママ・パパになるための学級の充実に努めます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課・こども保育課・健康支援課・指導課・学校教育課・青少年課・青少年センター・幼稚園・保育所・こども園・小学
施策内容	1 虐待防止対策の充実	事業対象者	市民・妊産婦・新生児・乳幼児とその保護者・市立小・中学校児童生徒・小学校・中学校・児童・保護者・指導員
事業名	59 虐待の予防、早期発見と対策、防止	平成26年度事業費決算見込み額	720,000円
事業の概要	◆ならしのこどもを守る地域ネットワーク(代表者会議、実務者会議、個別支援会議)、研修等を開催し、児童虐待防止に努めます。 ◆養育支援家庭訪問事業や子育て支援相談室での相談・支援を通じ、児童の虐待防止対策に努めます。 ◆健康相談や健康診査、訪問指導等の機会に児童虐待の予防及び早期発見に努め、関係機関と連携しながら継続的な支援を行います。 ◆民生委員・児童委員、母子保健推進員による予防・防止活動も実施します。		
平成26年度事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場として代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し、さらなる内容の充実と連携強化を目指します。また引き続き母子保健との連携に努め、養育支援家庭訪問事業の実施により、妊娠出産期を含めた早期からの虐待防止に努めます。(子育て支援課) ◆教育相談の充実を目指すため、研修による関係者の資質向上を目指します。(指導課・小学校・中学校) ◆児童生徒の健康相談や健康診断時等の機会に児童虐待の予防・早期発見に努め関係機関と連携しながら継続的な実施をします。(学校教育課) ◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施します。(青少年課) ◆学校警察連絡協議会等で虐待についての情報の共有を図り、対応についても関連機関と連携を取りながら積極的に取り組みます。(青少年センター) ◆研修会に参加し、補導相談などに対応できる職員の高質の向上を図ります。(青少年センター) ◆妊娠期からのハイリスク者の把握と継続した個別支援、「こんには赤ちゃん事業」の実施、健康相談・健康診査未受診者の把握等を徹底し、関係機関と連携して虐待の未然防止に努めます。(健康支援課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	(子育て支援課) 1. 子育て支援相談の実施 ◆0歳～18歳未満の子どもを持つ保護者及び児童等からの子どもに関するあらゆる相談に対し、電話、面接、訪問により、問題解決に向けた助言や情報提供を行った。また、児童虐待の通報・相談窓口として千葉県中央児童相談所と連携し、問題解決に向けた取り組みを行いました。H27.1月末現在の相談件数:7,007件 実人数:563人(うち児童虐待相談件数:3,370件 実人数:307人) 2. ならしのこどもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の運営 ◆児童福祉法第25条の2に基づく要保護児童対策地域協議会の事務局として、代表者会議(年2回)、実務者会議(年6回)、個別支援会議(37回 H27.1月末)や研修会の開催など、虐待防止に向けた庁内及び地域におけるネットワーク構築に努めました。 3. 養育支援家庭訪問事業の実施 ◆養育困難な妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、家庭訪問などにより育児についての技術的支援を行った(処理件数:6件 延べ65回)。 また、臨床心理士による勉強会を実施し(年5回)、相談技術の向上に努めました。 4. コモンセンスペアレンティング講座の開催 ◆子育て支援・児童虐待予防の観点から、具体的なしつけの方法を親に効果的に教えるトレーニングプログラムである、コモンセンスペアレンティング講座を開催し、啓発・普及を図りました。 ◆母子健康手帳の交付時には、妊婦やパートナーと看護職が全員と個別面接をし、不適切な養育環境につながるリスクのある対象者の把握に努めました。(健康支援課) ◆「こんには赤ちゃん事業」として、生後4か月までの乳児がいる家庭の全戸訪問を目指し、支援が必要な家庭の把握に努めました。(健康支援課) ◆必要に応じて地区担当保健師がこども部等の関係機関と連携を図りながら、個別に支援を実施しました。(健康支援課) ◆児童生徒の健康相談や健康診断時等の機会に、不自然な痣などの早期発見に努め児童虐待の早期発見に努めるとともに、関係機関と連携しながら実施をしました。(学校教育課) ◆教育相談員研修会を開催、市内すべての教育相談員が全員集まり、小中学校生徒指導主任・長久対策主任会議に合流し、情報交換等を行いました。(指導課) ◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施しました。(青少年課) ◆市内の小・中・高等学校の代表と警察、行政の関係者からなる学校警察連絡協議会(年3回)を開催し、その中で情報交換を実施しました。(青少年センター)				
	評価指標	◆こんには赤ちゃん事業家庭訪問実施率 ◆代表者会議・個別支援会議開催回数 ◆虐待相談件数	平成25年度数値	◆96.1% ◆代表者会議2回、個別支援会議24回 ◆3,043件	平成26年度数値

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「こんには赤ちゃん事業」の訪問では、「初めての育児で不安なことも多かったが、相談できてよかった」等の意見があります。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆母子保健、保育所、幼稚園、小中学校など、子どもを見守る関係機関と連携し、虐待防止、早期発見に努めた。また、千葉県中央児童相談所と綿密に連携し、同行訪問や、情報共有、適切な対応に努めました。(子育て支援課) ◆母子健康手帳の交付時の看護職の全員個別面接から、早期に虐待のハイリスク者の把握に努めました。また「こんには赤ちゃん事業」では生後4か月までの乳児のいる家庭を全戸訪問できるよう目指しました。その他、4か月児・10か月児健康相談の未来所者、1歳6か月児・3歳児健康診査の未受診者への積極的な勧奨と個別支援を実施しました。(健康支援課) ◆情報交換の中で、各学校の抱えている状況や悩みなどを共有することができ、互いに成果を上げた事例などを参考にすることができました。(指導課) ◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施することにより、児童虐待の早期発見と防止に努めました。(青少年課)	◆自らSOSを発信しない、関わりを拒否する等、支援につながりづらい家庭に対し、関係機関は常にアンテナを高くし、情報共有しながら家庭を見守る必要があります。また、虐待のない、子どもが安心して過ごせる社会に向け、啓発活動を引き続き行う必要があります。(子育て支援課) ◆居住の実態がないケースの把握は困難な場合もあり、今後も関係機関と連携しながら早期把握に努める必要があります。新たなマンション建設等で転入者、出生数の増加も見込まれているため、転入者等においても早期把握・支援に努める必要があります。(健康支援課) ◆小中学校の連携を図るため、情報交換の機会を可能な限り増やしていく必要があります。(指導課) ◆引き続き児童虐待に関する研修を実施することにより、虐待の防止に努めます。(青少年課)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場として代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し、さらなる内容の充実と連携強化を目指します。また引き続き母子保健との連携に努め、養育支援家庭訪問事業の実施により、妊娠出産期を含めた早期からの虐待防止に努めます。(子育て支援課) ◆妊娠期からのハイリスク者の把握と継続した個別支援、「こんには赤ちゃん事業」の実施、健康相談・健康診査未受診者の把握等を徹底し、必要時間関係機関と連携して虐待の予防、早期発見と対策、防止に努めます。(健康支援課) ◆児童生徒の健康相談や健康診断時等の機会に児童虐待の予防・早期発見に努め関係機関と連携しながら継続的な実施をします。(学校教育課) ◆小学校・中学校の連携を図るため情報交換を行います。(指導課) ◆1学期末、学年末の指導課訪問の内容を見直し、各学校の状況を詳細に把握します。(指導課) ◆引き続き児童虐待に関する研修を実施することにより、虐待の防止に努めます。(青少年課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭等の父母等
事業名	60 児童扶養手当の支給		
		平成26年度事業費決算見込み額	354,983,204円
事業の概要	◆「児童扶養手当法」に基づき、父親と生計を同じくしていない18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育している母親又は養育者に、手当を支給します。また、平成22年8月より、母親と生計を同じくしていない18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育している父親に、手当を支給します。		
平成26年度事業目標	◆新規申請時及び現況届の提出時に、就労をしていない場合や収入が少ない場合については、生計維持の方法の確認をおこない、必要に応じ、関係機関の紹介や支援制度の案内をおこないます。また、継続的な関わりが必要である場合は、ひとり親家庭自立支援相談員と協力して、継続的な就労支援を行います。 ◆就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、手当の支給に併せて就労指導を行います。 ◆また、ひとり親家庭の児童への学習支援について、近隣市の情報を集め、実施に向け検討します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容及び、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆支給資格認定申請書の受理及び処理、現況届の受理及び処理、資格喪失届の受理及び処理、転入・転出届の受理及び処理、5年等経過による一部支給停止適用除外事由届の受理及び処理、手当の支払い、返還金債権の管理等を行いました。 ◆ひとり親家庭の児童への学習支援について、近隣自治体の情報を集め、視察を実施しました。		
評価指標	◆一部支給停止者数	平成25年度数値	◆0人
		平成26年度数値	◆1人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆新規申請時や現況届の提出時に就労をしていない場合や収入が少ない場合について、生計維持の方法の確認を行いながら、マザーズハローワーク等の関係機関の紹介やひとり親家庭自立支援教育訓練給付金、ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等の支援制度の案内をしました。また、関係機関の紹介や支援制度の案内をスムーズに行えるよう情報収集に努め、密な連携を図りました。 ◆5年等経過による一部支給停止適用除外事由届の提出時に就労していない受給者については、ひとり親家庭自立支援員と協力して就労指導を行い、マザーズハローワーク等の関係機関につなぎ、求職活動を行ったことを確認しました。平成26年度一部支給停止者1名についても、求職活動を行ったことを確認しました。	◆現体制では、マザーズハローワーク等の関係機関につないだ受給者が、何人くらい就業することができたのか確認が取れないため、関係機関との情報共有方法など、連携の体制を見直す必要があります。 ◆「子どもの貧困対策の推進に関する法律」施行に伴い、ひとり親家庭の学習支援について、引き続き近隣自治体の情報を集め、実施に向けて検討する必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆新規申請時及び現況届の提出時に、就労をしていない場合や収入が少ない場合については、生計維持の方法の確認を行い、必要に応じて関係機関の紹介や支援制度の案内を行います。また、継続的な関わりが必要である場合は、ひとり親家庭自立支援相談員と協力して、継続的な就労支援を行います。 ◆就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、手当の支給に併せて就労指導を行います。 ◆ひとり親家庭の児童への学習支援について、近隣自治体の情報を集め、実施に向け検討します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭等の父母等及びその児童
事業名	61 ひとり親家庭等医療費等の助成		
		平成26年度事業費決算見込み額	13,548,743円
事業の概要	◆「習志野市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例」に基づき、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育するひとり親家庭の方等が、医療保険により受診した場合の医療費の一部を助成します。		
平成26年度事業目標	◆引き続き、広報・ホームページ・しおり等への掲載、児童扶養手当等の申請時に制度の説明、児童扶養手当現況届の提出のお知らせに際し、制度の案内を同封する他に、窓口においても児童扶養手当現況届の提出時や各種届出等の機会を活用し、積極的に制度について案内を行うことで、さらなる制度の周知を図り、助成申請件数や助成数の向上を図ります。また、今後も認定申請・助成申請等の機会を利用し、困っていることがあれば相談につなげていきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆支給資格認定申請書の受理及び処理、助成申請書の受理及び処理を行いました。 ◆ひとり親家庭等の父母等及び児童が医療機関等にかかった際の医療費の一部を助成しました。				
評価指標	◆助成者数(延べ人数)	平成25年度数値	◆826人	平成26年度数値	◆773人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆ひとり親家庭等の父母等への制度の周知を図り、また、認定申請・助成申請等の機会を利用し、就労等困っていることを相談につなげるなど、ひとり親家庭等の福祉の増進に寄与しました。	◆児童扶養手当受給者に比べ、公的年金受給者は利用できる制度の制約があるため、ひとり親家庭等を対象とした支援の制度の中でも、ひとり親家庭等医療費等助成制度のみの利用が多い状況です。今後も認定申請や資格更新、助成申請の機会を利用し、医療費等の助成以外の経済的支援の制度やマザーズハローワーク等の就労支援・相談等につなげる必要があります。 ◆児童扶養手当受給者の中にも、ひとり親家庭等医療費等助成制度を知らない者もいるため、児童扶養手当受給者にも積極的な制度の周知が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き、広報・ホームページ・ひとり親家庭支援のしおり等への掲載、児童扶養手当等の申請時に制度の説明、児童扶養手当現況届提出の通知を発送する際に、ひとり親家庭等医療費等助成制度の案内を同封する他に、窓口においても児童扶養手当現況届の提出時や各種届出等の機会を活用し、積極的に制度について案内を行うことで、さらなる制度の周知を図り、助成申請件数や助成数の向上を図ります。また、今後も認定申請・助成申請等の機会を利用し、困っていることがあれば相談につなげていきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦
事業名	62 母子父子寡婦福祉資金の貸付		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に基づき、母子家庭、父子家庭、寡婦を対象に事業資金等の福祉資金を貸付します。		
平成26年度事業目標	◆千葉県で起こっている母子父子寡婦福祉資金を母子家庭等の自立と結びつく貸付となるように、相談を受けし、申請を受理する際に引き続き就労支援や返済計画の確認をおこなうとともに、貸付開始後も千葉県と連携したサポートを図っていきます。また、他制度利用者へ窓口等で案内をし、周知を図っています。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦より、母子父子寡婦福祉資金の貸付の相談を受け付けし、申請を受理しました。		
評価指標	◆貸付相談件数 ◆貸付件数	平成25年度数値 ◆90件 ◆7件	平成26年度数値 ◆76件 ◆10件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆貸付の相談の受付時や申請受理する際に、千葉県と連携を図りながら、母子家庭等の自立に結びつくよう就労支援や返済計画の確認を行いました。 ◆児童扶養手当やひとり親家庭等医療費等助成などの申請時にしおり等により案内し、周知を図りました。 ◆母子父子寡婦福祉資金の貸付が難しい場合には、他の制度を案内するなど、一人ひとりの状況に合わせたサポートを行いました。	◆母子父子寡婦福祉資金の申請から支給までに2~3ヶ月程度要するため、相談があっても資金が必要な時期に間に合わず、貸付ができないケースがあるため、早めに相談に来てもらえるように案内の方法を見直す必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆千葉県で行っている母子父子寡婦福祉資金を母子家庭等の自立と結びつく貸付となるように相談を受け付けし、申請を受理する際には引き続き就労支援や返済計画の確認を行い、貸付開始後も千葉県と連携したサポートを図ります。また、他制度利用者へ窓口等で案内を行い、周知を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭等の父母等
事業名	63 ひとり親家庭自立支援員による相談体制の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆母子家庭や父子家庭等のひとり親家庭を対象に、生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、自立に向けて必要な支援を行います。		
平成26年度事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、ひとり親家庭の生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、自立に向けた指導・助言及び支援を行います。関連する支援制度の情報収集や関係機関との連携に努め、継続した支援を行います。また、個々のケースの検討を行い、より良い継続支援を目指します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆母子及び父子並びに寡婦福祉法、生活一般についての相談指導、職業能力向上及び求職活動等の就業についての相談指導、児童の養育等、その他家庭児童福祉の向上を図るための必要な相談指導、その他ひとり親家庭及び寡婦の自立に必要な支援を行いました。		
評価指標	◆相談件数 ◆就労相談件数	平成25年度数値 ◆889件 ◆121件	平成26年度数値 ◆775件 ◆75件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆面談、電話等にてひとり親家庭の父母等の生活や児童の養育に関する相談に応じ、助言及び必要な支援を行いました。就労支援等に関する支援制度、離婚等に関する手続きや支援制度等の情報収集に努めるとともに、マザーズハローワーク等関係機関と連携を図り、ひとり親家庭の自立に向けた相談を行いました。 ◆相談受付後に係内の情報共有や継続支援のためのケース検討を行いました。	◆継続支援が必要なケースは、経済的困窮、就労、障がいや病気、DV等複数の要因を抱えているケースが多いため、家庭児童相談室や保健師、担当ケースワーカー等との連携を図り、対応していくことが求められます。 ◆本人からの相談以外に状況を把握することができないケースへの対応について、継続して支援できる体制づくりが必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、ひとり親家庭の生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、自立に向けた指導・助言及び支援を行います。関連する支援制度の情報収集や関係機関との連携に努め、継続した支援を行います。 ◆個々のケースの検討を行い、より良い継続支援を目指します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2. 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭の父母
事業名	64 ひとり親家庭自立支援給付金の支給		
		平成26年度事業費決算見込み額	3,530,500円
事業の概要	◆ひとり親の経済的な自立を支援するため、就労に必要な知識や技能の習得等に係る教育訓練講座や高等職業訓練等の経費(受講料)を助成します。		
平成26年度事業目標	◆現況届提出時などに学業と子育ての両立の状況を確認し、資格取得を安心して行うことができるよう支援します。また、現在就業していない児童扶養手当受給者に対し、就労支援を行うとともに、資格取得等に関する案内を行います。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆児童扶養手当現況届等を利用し、就労に向けた資格取得についての相談に応じました。また、自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金の制度を案内し、必要に応じてマザーズハローワークやハローワークの紹介、千葉県主催の託児付き職業訓練講座の案内などを行いました。 ◆高等職業訓練促進給付金等支給事業において、2年以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれる申請者に対し「訓練促進給付金」を、修了した申請者に対しては「修了支援給付金」を支給しました。また、現況届や請求書、成績証明書などの提出時に面接を行い、修業状況や生活面等の確認を行いました。				
評価指標	◆申請件数	平成25年度数値	◆6件	平成26年度数値	◆4件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆資格取得を目指すひとり親家庭の生活の負担軽減及び自立支援が図られました。	◆就業していない児童扶養手当受給者に対し、マザーズハローワーク等への案内と併せて、資格取得についても案内をしていく必要があります。 ◆相談があっても、実際申請につながらない場合もあるため、継続した対応を検討する必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆現況届提出時などに学業と子育ての両立の状況を確認し、資格取得を安心して行うことができるよう支援します。 ◆現在就業していない児童扶養手当受給者に対し、就労支援を行うとともに、資格取得等に関する案内を行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	学校教育課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	児童・生徒
事業名	65 就学援助費の支給		
		平成26年度事業費決算見込み額	61,078,722円
事業の概要	◆経済的理由によって就学することが困難な児童及び生徒に対し、就学援助費を支給します。		
平成26年度事業目標	◆認定された者について100パーセント支給します。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆児童生徒の保護者から提出された申請を受け、当該手当支給認定に必要な書類を確認し、認定された方に学用品費・給食費等の給付を行いました。 【実績】支給延人数 準要保護 697人、要保護 104人				
評価指標	◆該当児童・生徒への実施率	平成25年度数値	◆100%	平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆認定された方については定められた補助内容を100パーセント支給しました。	
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆認定された方について100パーセント支給します。
------------	---------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	ひまわり発達相談センター、指導課、小学校、中学校、子育て支援課、こども保育課、幼稚園、保育所、こども園、他関係各課
施策内容	3 健やかな発育・発達を支える支援体制の充実	事業対象者	成長又は発達に不安や課題がある18歳未満の児童とその保護者
事業名	66 個別の状況に応じた継続的な発達支援の充実	平成26年度事業費決算見込み額	5,913,000円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆成長・発達に不安又は課題がある児童の健やかな成長に資するため、総合的な相談に応じるとともに、適切な指導及び支援を行います。 ◆障害の有無にかかわらず、発達に心配がある子どもに対しては、保護者の意向を踏まえ、個別支援計画を作成し、個別の状況に応じた指導・訓練の実施、評価、計画の見直しを行って、子どもの成長、発達を支えるしくみをつくります。また、子どもの成長・発達の経過や支援方針等を、確実に引継ぐ体制を整備します。 ◆注意欠陥多動性障害(ADHD)・学習障害(LD)・アスペルガー症候群等の発達障がいのある児童の早期発見、支援の強化を図ります。 ◆発達支援に関する研修を充実、強化し、子どもの支援にかかわる職員の資質向上を図ります。 		
平成26年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆(ひまわり発達相談センター) ◆就学期の子どもに対する相談支援の充実及び障害児相談支援事業の実施をします。 ◆保育所、幼稚園等への巡回相談の充実を図り、保育所等における保護者へのアプローチを行います。 ◆乳幼児個別支援計画並びに個別の教育支援計画に基づく継続的な支援体制の充実を図り、個別支援計画の質的向上を目指します。 ◆保護者の学習機会や仲間づくりの促進を図ります。 ◆ひまわり発達相談センターの運営システムの基盤確立し、関係各課との連携を深め、個々の状況に応じた継続的な支援を目指します。 ◆今後も就学前の引き継ぎと就学後の話し合いを実施し、一人一人のニーズに応じた丁寧な指導・支援ができるようにしていきたいと考えております。(指導課・小学校・中学校) ◆家庭児童相談において、引き続き関係機関と連携し、個々の子どもにあった適切な情報提供や支援を行います。(子育て支援課) ◆個別支援計画の充実を図り、小学校へ引き継ぐ際の方法・内容を検討し、確実に引き継ぐ体制を強化します。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園) 		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆(ひまわり発達相談センター) ◆保護者及び学校からの相談に対して、当センターでの対応が適当であると判断した場合においては、検査等の実施により状態を把握後、保護者への説明及び保護者の同意のもと、学校を訪問し担任等と子どもへの対応について、協議を行いました。総合教育センター等での対応が適当と判断した場合、保護者の承諾後、紹介しました。また、必要に応じて、当センターの医師相談にて医学的視点からの助言を得て対応しました。 ◆障害児相談支援事業の実施体制を整えるために、当センター職員が県主催の講習会に参加し、相談支援専門員の資格を取得しました。 ◆保育所、幼稚園等の職員との信頼関係をもとに、現場のニーズに応じた継続的な支援ができる体制とするために、巡回相談を専任する職員を配置し、時間を半日または1日のいずれかを現場サイドで選べるようにしました。これにより、保護者面接の希望があった場合も、子どもの対応等の協議とともに行える体制をつくりました。 ◆総合教育センター、教育委員会と共同で「乳幼児個別支援計画」「個別の教育支援計画」の推進に関するパンフレットを去年に引き続き作成し、市内保育所、幼稚園等及び小・中学校等に配布して、周知を図りました。また、発達支援連携会議として、総合教育センター、教育委員会と定期的に協議を行いました。 ◆保護者の仲間づくりの企画について、市民協働も発達支援推進協議会の委員及び当センター職員で協議・検討しました。その後、ヨガ及びフリースクールによる保護者の仲間づくり企画を試行として2回実施しました。 ◆総合教育センター、教育委員会との発達支援連携会議を年6回、健康支援課との定例会議を年4回(2回は子育て支援課も含め3課合同)、障がい福祉課、子育て支援課、あじさい療育支援センターとの定例会議を年4回実施し、関係各課との連携を図りました。(こども保育課) ◆個別に支援を要する児童の保護者とともに個別支援計画を作成し、その子に応じた支援を行いました ◆ひまわり発達相談センターの専門職員による巡回相談で、子どもの困り感や発達、具体的な支援の仕方の助言を受け、個別支援計画立案・支援・指導・評価に活かしました。 ◆施設内で支援の振り返りを行い、より具体的な支援について共通理解を図りました。 ◆個別支援計画を作成した児童(1年生)の小学校訪問を関係機関と共に実施し、計画の振り返りと連携体制の充実を図りました。 ◆ひまわり発達相談センターや小学校と連携を図り、個別支援計画をもとに具体的に引継ぎを行いました。(指導課) ◆就学前に個別支援計画の引き継ぎを実施した児童について、幼稚園・保育所等の就学前施設の担任と入学後の学校生活の様子について話し合う機会を持ち、学校での支援方法について参考にしました。 				
評価指標	◆個別支援計画作成件数	平成25年度数値	◆118件	平成26年度数値	◆131件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆(巡回相談) ◆個々の児童の様子に合わせてアドバイスをもらえることで、適切な手立てで早くに対応することができました。(保護者の学習機会や仲間づくりについて) ◆ヨガを行い身体がほぐれた後に、リラックスした中でフリースクールを開始したので、会話が弾みました。 ◆普段、身体をほぐしたり、おしゃべりしたり、やりたくてもなかなか時間がとれないので、こういう機会があると良いと考えます。楽しくすごすことができました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆(ひまわり発達相談センター) ◆就学期の子どもに対する相談支援においては、総合教育センター及び小・中学校とお子さんの対応等について協議を行い連携を深めたことにより、保護者の不安の解消につながりました。 ◆巡回相談を通じ、保育所、幼稚園等とは連携体制が整ってきています。保育所、幼稚園等からの相談内容も日々の実践をふまえ、より具体的にたっており、これまでの継続した巡回相談の成果であると考えます。また、巡回相談の中で保護者面談も実施しており、直接子どもを見ての対応について話ができるため、保護者の対応の理解も深まっています。 ◆乳幼児個別支援計画の引き継ぎを、就学前と就学後に1回ずつ行うことで、より対象児童への対応の理解が深まり、学校生活における支援や個別の教育支援計画作成に活かされるようになりました。 ◆当センターが主体となり、保護者の仲間づくりの企画を試行として2回実施しました。参加者からは概ね満足できたとの感想をいただきました。 ◆関係各課との日々の業務上の関わり他、定期的な会議の場があることで、発達支援に関する様々な業務の協議を行い共通理解を図ることができました。(こども保育課) ◆ひまわり発達相談センターや小学校など関係機関と連携を図り、個別支援が必要な乳幼児の情報の共有を図ることができました。 ◆個別支援計画を長期的な視点で計画策定する意識をもって、立案するようになりました。 ◆施設側の職員と小学校側の担任が直接引き継ぎを行い、支援のあり方の情報交換をすることができました。(指導課) ◆個別支援計画を就学期の個別の教育支援計画へ引き継いだことにより、入学直後の保護者との関係づくりが活かすことができました。また、就学前からの引き継ぎと就学後の話し合いにより、子どものプラス面が見え、子どもの可能性の発見、理解につながりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆(ひまわり発達相談センター) ◆就学期の子どもに対する相談については、総合教育センターや学校の体制や実情を把握し、相談者がより安心できる支援につながるための情報の交換及び共有に努めていく必要があります。障害児相談支援事業については平成27年度に実施していきます。 ◆私立(含む、認可)保育園、幼稚園の新設が年々増えています。ニーズの把握に努めるとともに当センターが担える巡回相談の業務量の見直しをしながら、状況に応じた体制づくりを検討します。 ◆個別支援計画の資質向上については、引き続き検討を重ねていかなければならず、また、管理については整備が整っていない部分(保存年限の統一等)があることで総合教育センター、教育委員会と連携しながら検討します。 ◆保護者が主体となって運営していくためには、まだサポートが必要ですが、平成27年度は保護者の意見を多く取り入れ、保護者が自主運営していける体制について検討をしていきます。 ◆関係各課との相互理解及び協力体制を強化し、発達支援施策を充実させていくために、引き続き定期的な会議を実施していく必要があります。(こども保育課) ◆施設側が作成した個別支援計画を小学校に引き継いだ後の子どもの状況を把握する必要があります。(指導課) ◆担当課が多岐にわたるため、今後も綿密な計画と打合せが必要であると考えます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆(ひまわり発達相談センター) ◆プログラム評価による施策の推進、体制を目指して、ロジックモデルに基づく発達支援施策及び本センター事業の推進を行います。 ◆利用者の利便性を目指し相談支援体制の充実を図るため、児童福祉法に基づく障害児相談支援事業の新規実施及び義務教育期の子どもに対する相談支援を行います。 ◆保育所、幼稚園等に対するアウトリーチ型支援(巡回相談)の充実及び保育所等職員に対する支援を強化します。 ◆乳幼児個別支援計画並びに個別の教育支援計画に基づく継続的な支援体制の整備を図ります。 ◆保護者の学習機会、仲間づくりを促進します。 ◆センターの運営システムの基盤確立に努めます。 ◆乳幼児個別支援計画を引き継いだ後の状況を把握し、乳幼児個別支援計画充実につなげていきます(こども保育課)。 ◆今後も就学前の引き継ぎと就学後の話し合いを実施し、一人一人のニーズに応じた丁寧な指導・支援ができるようにしていきます。(指導課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2. 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課・ひまわり発達相談センター
施策内容	3 健やかな発育・発達を支える支援体制の充実	事業対象者	個別に支援を必要とする子どもとその保護者・本市に住所を有する成長又は発達に不安や課題がある18歳未満の児童とその保護者
事業名	67 発達支援サポートネットワークの充実	平成26年度事業費決算見込み額	182,500円
事業の概要	◆本市の発達支援施策を推進するため、幼稚園、保育所、こども園、学校、福祉関係施設等、関係各課による「発達支援サポートネットワーク会議」で議論を深め、新たに設置された市民との協働による「習志野市市民協働こども発達支援推進協議会」において、市民との協働による施策の立案やシステム整備を図ります。		
平成26年度事業目標	◆ロジック・モデルの完成と推進により、発達支援施策及び当センター事業の推進を図ります。(ひまわり発達相談センター) ◆庁内連絡会の開催により、発達支援施策の推進に関し、関係部署との連絡調整を密にして、共通理解を図ります。(障がい福祉課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	(障がい福祉課) ◆発達支援施策の推進に関し、関係部署との連絡調整を図るため、習志野市発達支援施策庁内連絡会を2回実施しました。 (ひまわり発達相談センター) ◆習志野市市民協働こども発達支援推進協議会は3回開催し、発達支援施策のロジック・モデルの策定及び活用について、講義を受けるとともに協議を行い、ロジック・モデルを確定いたしました。 ◆「習志野市こども発達支援施策 ロジック・モデルの活用について 提言書」を作成し、市長へ提出するとともに、関係各部署へ配布し、周知を図りました。 ◆発達支援サポートネットワーク会議を5回開催しました。また、発達支援施策のロジック・モデルの策定及び活用について、講義とワークショップを行い、ロジック・モデル(案)の策定を行いました。		
評価指標	◆利用者数	平成25年度数値	◆467人
		平成26年度数値	◆564人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆市民及び関係団体の率直な意見をお伺いすることができました。 ◆市内の関係各部署との連携、協力体制が構築され、発達支援施策が推進されました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
(障がい福祉課) ◆庁内連絡会の開催により、発達支援サポートネットワークにおいて協議された、ロジックモデルの案や、今後の各課における取組等について、関係部署との連絡調整や共通理解を図ることができました。 (ひまわり発達相談センター) ◆習志野市市民協働こども発達支援推進協議会の設置により、市民と協働で発達支援施策の推進をしました。 ◆「習志野市こども発達支援施策 ロジック・モデルの活用について 提言書」を作成いたしました。 ◆習志野市市民協働こども発達支援推進協議会と発達支援サポートネットワーク会議において、発達支援施策に関するロジック・モデルの策定と活用について、めざすべき共生社会の実現に向けて協議しました。	(障がい福祉課) ◆作成されたロジックモデルに基づき、施策を実行していくことや、適宜見直しをしていくことが大切であり、引き続き関係部署との連携により、共通理解を図る必要があります。 (ひまわり発達相談センター) ◆市民の立場を重視した施策の立案には、その意見を十分にうかがい協議する必要があります。また、施策立案の議論には、庁内の合意形成が重要であるため相当数の会議が必要ですが、現実に開催できる回数は限られるため、難しい際には会議後に書面にて意見をうかがったり、事前の調整に努める必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆庁内連絡会の開催により、発達支援施策の推進に関し、関係部署との連絡調整を密にして、共通理解を図ります。(障がい福祉課)(ひまわり発達相談センター) ◆ロジック・モデルに基づく発達支援施策及び本センター事業を推進するため、ロジック・モデルの最終アウトカムを目指し、市民との協働による、プログラム評価におけるロジック・モデルの活用を行ってまいります。(障がい福祉課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	あじさい療育支援センター
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	主に知的障がい児、肢体不自由児とその家族
事業名	68 障害児施設での療育の充実		
事業の概要	◆知的障がい児、肢体不自由児等に対する生活動作訓練・運動機能訓練及び保護者への生活指導や療育方法の指導を行います。又、計画相談・相談支援を行います。		
平成26年度事業目標	◆公開療育を実施すると共に、療育内容の見直し・改善を行い、療育の充実を図り、利用者へのサービスの向上に努めます。 ◆当センター利用時の早急な対応と、きめ細かな相談支援を実施します。 ◆児童発達支援センターの体制整備を行います。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆福祉型児童発達支援と医療型児童発達支援で公開療育を実施し、関係機関からいただいた意見や感想等から今後の療育の参考としました。 ◆相談支援専門員を新たに1名配置し、昨年度の修了児についても障害児支援利用計画の作成を行い、継続して相談支援を実施しました。		
評価指標	個別指導計画作成件数	平成25年度数値 ◆52件	平成26年度数値 ◆49件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆保育所等への移行後や、就学後も相談支援が継続されることで、安心感があり、円滑なサービス利用ができました。 ◆面談時の個別参観は、普段気付かない成長を確認できる等、有意義な機会となっているので、今後も継続してほしい。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆医療型児童発達支援についても公開療育を実施したことで、各関係機関の方に当センターの現状を、より理解いただくことができました。 ◆相談支援専門員を2名体制としたことで、多様な保護者ニーズにもきめ細かく対応することができました。また、相談支援専門員間で情報を共有し、お互いのスキルアップの向上を図ることができました。	◆公開療育は、年度の終わりに近い2月に実施しましたが、時期により児童の課題や療育内容も違ってくるため、実施時期について検討することが必要です。 ◆増加する計画相談利用人数に対応するため、修了児の計画相談について今後どのようにしていくのか、検討が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆成長発達に課題のある乳幼児の通う保育所等に出向き、状況を観察し、助言等を行う保育所等訪問支援事業を実施します。 ◆通所による児童発達支援だけでなく、相談支援事業や保育所等訪問支援事業の実施により、療育支援施設としての充実を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	補装具が必要な身体障害者手帳所持者
事業名	69 補装具費の支給		
事業の概要	◆日常生活をサポートするために、補聴器、装具、車椅子等の補装具費を支給します。		
平成26年度事業目標	◆身体に障がいを抱える子どもの日常生活をサポートする本事業の目的に沿って、事業内容の周知に努め、継続して実施します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆身体障害者手帳の交付を受けた児童の保護者に対して、制度の説明を行い、厚生労働省令の定める基準により必要が認められたものについて、支給を行いました。		
評価指標	◆給付率	平成25年度数値	◆100%
		平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆支給可能な児童に対して、支給を行いました。	◆特になし。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆新規・更新の手帳交付の際、引き続き周知を行います。
------------	----------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育ち・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	支給決定を受けた支援が必要な障がい児
事業名	70 障害福祉サービスの利用促進		
事業の概要	◆地域生活を支援するため、家庭において障がい児を一時的に介護できない時に、ヘルパーの派遣、施設等での一時的預かり、デイサービス等、サービス環境の整備を促進します。		
平成26年度事業目標	◆多様化する使用者の要請に対して、行政機関として可能な限り応えられるよう、適切な支援、サービスの内容及び支給量の決定、提供に努めます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆対象児童の保護者の相談、要望を受け留め、適切な支援、サービスの内容及び支給量の決定、提供に努めました。		
評価指標	◆日中一時支援事業利用回数(地活事業実利用人数) ◆児童デイサービス事業利用日数(法定事業(児童福祉法・総合支援法)実利用人数)	平成25年度数値	◆5,493回(94人) ◆9,279日(児童福祉:151人、総合支援:19人)
		平成26年度数値	◆5,500回(95人) ◆12,094日(児童福祉:118人)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆対象児童の状況を把握し、適切な支援を行うことで、児童および保護者の身体的・精神的な負担を軽減しました。	◆特になし。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆今後も対象児童の状況の把握に努め、適切なサービスを提供することで、児童および保護者の心身の負担軽減に努めます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	精神・身体に一定以上の障がいを有する乳幼児・児童を、養育・看護する親等
事業名	71 特別児童扶養手当の支給		
事業の概要	◆「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、精神又は身体に障がいのある20歳未満の児童を監護・養育している方に、手当を支給します。		
平成26年度事業目標	◆手帳交付時及び広報等を通して、本手当の周知を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆療育手帳・身体障害者手帳を申請し、その障がい状態から各手帳を交付された障害児の保護者に対し、制度を説明のうえ、障がい状態が手当支給要件に該当しそうな場合は申請を促しました。 ◆本手当は障害者手帳の所持は必須要件ではないため、広報習志野、及び市ホームページに掲載し、制度の周知に努めました。		
評価指標	◆申請受理・進達率	平成25年度数値	◆100%
		平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆社会的、経済的にも負担の大きい、障害児を養育する世帯への経済的・心理的な支援を強化することができました。	◆特になし。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆支援を必要とする方に制度の恩恵を届けられるよう、引き続き制度の周知を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育ち・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	精神・身体に一定以上の障がいをもつ乳幼児・児童
事業名	72 障害児福祉手当の支給		
事業の概要	◆常時介護を必要とする在宅の重度障害児に対し、手当を支給します。		
平成26年度事業目標	◆手帳交付時や広報等を通して、本手当の周知を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆療育手帳・身体障害者手帳を申請し、その障がい状態から各手帳を交付された障害児の保護者に対し、制度を説明のうえ、障がい状態が手当支給要件に該当しそうな場合は申請を促しました。 ◆本手当は障害者手帳の所持は必須要件ではないため、広報習志野、及び市ホームページに掲載し、制度の周知に努めました。		
評価指標	◆給付率	平成25年度数値	◆100%
		平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆社会的、経済的にも負担の大きい、障害児を養育する世帯への経済的・心理的な支援を強化することができました。	◆特になし。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆支援を必要とする方に制度の恩恵を届けられるよう、引き続き制度の周知を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	対象となる手帳を取得した重度の心身障害児
事業名	73 重度心身障害児医療費の助成		
事業の概要	◆重度心身障害児を対象に、医療費の一部を助成します。		
平成26年度事業目標	◆提出された申請書類を遅滞なく審査・決定を行い、保険診療の自己負担額を助成することで、経済的負担を軽減します。 ◆平成27年4月からの現物給付化に向けて県が調整を開始したので、現物給付化に向けた準備を行います。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆提出された申請書類を遅滞なく審査・決定を行い、保険診療の自己負担額の助成を行い対象者の経済的負担の軽減を図った。 ◆平成27年8月からの現物給付化に向けて県が調整を開始したので、現物給付化に向けた準備を行った。		
評価指標	◆給付率	平成25年度数値	◆100%
		平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆医療費の助成を行った結果、経済的負担の軽減が図られました。	◆平成27年4月から現物給付化を行います。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆現物給付化の実施に向けて、対象者や関係機関への周知や事務手続きを着実に進めていきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2. 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれか一定基準を満たした手帳を所持し、本人が非課税(18歳未満は世帯全員が非課税)
事業名	74 タクシー利用券の交付		
事業の概要	◆障がい児のタクシー利用費用の一部を助成します。		
平成26年度事業目標	◆所得制限の範囲や対象者の見直しを引き続き検討しながら、事業を継続して実施していきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆障がい児のタクシー利用運賃の一部を助成し、移動の支援と経済的な負担の軽減を図りました。				
評価指標	◆給付率	平成25年度数値	◆100%	平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆福祉タクシー券利用者からは「毎年、タクシー運賃を助成してもらい、大変助かっている」という感想をいただいています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆障がい児の移動支援、経済的負担の軽減を図ることができました。	◆指定している福祉タクシー協力機関以外のタクシー会社を利用する等の事例が発生しており、正しい利用方法について周知する必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆申請時に福祉タクシー券の利用方法について周知を徹底する等、タクシー会社とのトラブル改善に向けて、検討します。 ◆所得制限の範囲や対象者の見直しを引き続き検討しながら、事業を継続して実施します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	学校教育課
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	児童・生徒
事業名	75 特別支援教育就学奨励費の補助		
事業の概要	◆特別支援教育を受ける児童及び生徒を養育する世帯を対象に就学奨励費を補助することで、経済的負担の軽減を図ります。		
平成26年度事業目標	◆認定された者について100パーセント支給します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆児童生徒の保護者から提出された申請を受け、当該援助支給認定に必要な書類を確認し、進達事務を行いました。 【実績】支給延人数 129人				
評価指標	◆該当児童・生徒への実施率	平成25年度数値	◆100%	平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆進達を行い、支給決定された者については100パーセント当該手当を支給しました。	
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆認定された方について100パーセント支給します。
------------	---------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦及び乳幼児とその保護者
事業名	76 健やかな子を産み育てる体制の充実		
事業の概要	◆母子健康手帳の交付から始まる、妊娠・出産・育児を通じた一貫性のある健診・相談・教育の実施体制を充実し、思春期保健を含めた親と子の健康づくりを進めます。 ◆母子保健活動の拠点としてのヘルスステーションの充実を図ります。		
平成26年度事業目標	◆引き続き、母子健康手帳交付時、転入時より妊娠・出産・育児を通じた一貫性のある健康診査・健康相談・健康教育・家庭訪問等の体制が充実するように努めます。また、平成26年度は「こんにちは赤ちゃん事業」として、すこやか子育てガイドや市民課での配布用紙に詳細を記載したり、市民課でのテレビモニターにも掲載して、全戸訪問による把握を推進していきます。そして、個別の相談も継続して行います。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆母子健康手帳の交付時や転入時より妊娠・出産・育児を通じた一貫性のある健康診査、健康相談、健康教育、家庭訪問等の体制が充実するように努めました。 ◆生後4か月までの全戸訪問を目指した「こんにちは赤ちゃん事業」(助産師による産婦・新生児訪問、母子保健推進員による家庭訪問)にて、乳児期の子育てに関する情報提供を行い、不安の軽減に努めました。				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率	平成25年度数値	◆96.1%	平成26年度数値	◆97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆新生児訪問では「体重が増えているか心配だったので来てもらって安心した」や4か月児健康相談では「離乳食の始め方がわかり、安心した」「健康相談で心配だったことがきけてよかった」等の感想を得ています。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆こんにちは赤ちゃん事業は、実施率97.2%、4か月児健康相談では、133回1,361名(来所率96.7%)、10か月児健康相談では、110回1,311名(来初率90.1%)、1歳6か月児健康診査では24回1,404名(来所率94.1%)、3歳児健康診査では24回1,409名(来所率92.6%)の来所があり、安心して子育てできるための支援につながりました。	◆引き続き未把握のケースの確認を行っていきます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き、母子健康手帳交付時、転入時より妊娠・出産・育児を通じた一貫性のある健康診査・健康相談・健康教育・家庭訪問等の体制が充実するように努めます。 ◆「こんにちは赤ちゃん事業」として、すこやか子育てガイドや市民課での配布用紙に詳細を記載したり、市民課でのテレビモニターにも掲載して、全戸訪問による把握を推進していきます。個別の相談も継続して行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課・他関係各課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦及び乳幼児とその保護者
事業名	77 心身の健康についてハイリスク者の把握と支援の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	158,535,000円
事業の概要	◆病気や障害の可能性を早期に把握し、適正な医療や療育の体制につなげていきます。 ◆家庭の養育力に着目した母子保健活動を展開する中から、子どもの心身の健全な発育・発達を阻害する因子に対して、早期対応を図ります。		
平成26年度事業目標	◆家庭の養育力の向上と安心して子育てができることを目指して、妊娠期からの各事業を一貫して実施し、個別支援が必要な方を早期に把握し、支援を充実させます。 ◆未熟児養育医療の給付事業を通して面接、相談により円滑な地域での支援につなげていきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆母子健康手帳交付時の看護職による面接 ◆未熟児養育医療の給付対象者への面接・支援 ◆新生児訪問指導 ◆4か月児・10か月児健康相談 ◆1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査 ◆幼児相談・発達相談 ◆電話相談・所内相談・訪問指導等の事業により、対象者の把握・支援を行いました。		
評価指標	◆支援が必要な妊婦への訪問等での対応割合	平成25年度数値 ◆96.1%	平成26年度数値 ◆97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「こどもの成長発達を確認できてよかった」「助言を受けて相談機関に通おうと思った」との意見がある一方で、「両親ともに仕事をしており、参加するのに日程調整が難しい」との意見がありました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆個別の支援が必要な方には、妊娠期から継続した支援を行うことで、家庭の養育力を高める支援、安心して子育てができる支援につながりました。 ◆幼児健診未受診者への再通知や予防接種照会、年2回の子育て支援課・子ども保育課・ひまわり発達相談センターへの3課照会を行うことで、事務の効率化とハイリスクである未受診者の把握拡大に努めました。	◆健康相談・健康診査等の未受診者に早期にアプローチし、支援につなげる活動を充実させる必要があります。 ◆未受診者フローチャートを用いてハイリスクである健診未受診者の把握に努め、リスクが高いと判断したケースについては子育て支援課等関係機関と共に支援していく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆家庭の養育力の向上と安心して子育てができることを目指して、妊娠期からの各事業を一貫して実施し、個別支援が必要な方を早期に把握し、支援を充実させます。 ◆未熟児養育医療の給付事業を通して面接、相談により円滑な地域での支援につなげていきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦
事業名	78 母子健康手帳の交付		
事業の概要	◆妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、個々の状況に沿った相談・指導を行い、妊娠初期からの継続した支援を行います。		
平成26年度事業目標	◆引き続き妊娠届出者に看護職が面接し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供していきます。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談等で継続して支援していきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆看護職の面接により母子健康手帳を交付し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供しています。不安や問題を抱える人に対しては、妊娠中より継続した支援をしています。 ◆他課との連携が必要な妊婦へは母子健康手帳交付時に他課の担当者の紹介をし、連携しながら支援を行いました。		
評価指標	◆妊娠届出者・転入時面接した妊婦への面接割合	平成25年度数値	◆100%
		平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆母子健康手帳交付時に「不安に思っていたことが話せてよかった」「今後、相談できる担当者を紹介してもらい安心した」等の感想が得られます。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆すべての妊娠届出者に個別面接し、母子健康手帳を交付し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供することができました。 ◆個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談などで対応しました。また、他課との連携が必要な妊婦には担当者を紹介して連携をしながら支援ができました。	◆母子健康手帳交付時の情報提供では、妊婦健康診査の受診に関するものも含んでいるため、妊娠確認後、速やかに妊娠の届出を済ませていただけるよう、さらに周知徹底が必要です。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き妊娠届出者に看護職が面接し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供していきます。 ◆個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談等で継続して支援していきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	継続して支援が必要な妊婦
事業名	79 継続して支援が必要な妊婦への支援の充実		
事業の概要	◆妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、個々の状況に沿った相談・指導を行い、妊娠初期からの継続した支援を行います。		
平成26年度事業目標	◆引き続き、積極的に継続支援の必要な妊婦に、妊娠中より支援していきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆妊娠届出時に不安や問題を抱える妊婦には、妊娠中より地区担当保健師が、訪問指導・所内相談・電話相談等で継続した支援をしました。		
評価指標	◆支援が必要な妊婦への訪問等での対応割合	平成25年度数値 ◆96.1%	平成26年度数値 ◆97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「妊娠中から保健師さんが相談にのってくれて心強かった」「妊娠中から担当の人の顔が見られることで産後も安心して相談できた」との感想を得ています。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆妊娠中から地区担当保健師が支援を開始し、訪問指導・所内相談・電話相談等で支援を行いました。現在、就労している妊婦は約6割おり、なかなか連絡がつかない方もいますが、妊娠期から対象者を把握していたことで、出生後早期から精神的・身体的に不安定な母親への支援をスムーズに行うことができました。	◆複雑な家族背景や精神的疾患を持った妊婦も増加しているため、妊娠期からの支援がより重要になると考えます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き、積極的に継続支援の必要な妊婦に、妊娠中より支援していきます。
------------	--------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦とその夫(パートナー)
事業名	80 ママ・パパになるための学級の充実	平成26年度事業費決算見込み額	126,092円
事業の概要	◆安心して妊娠・出産・育児に臨めるように、知識・技術を提供する場を設けるとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。		
平成26年度事業目標	◆安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう、知識・技術を提供する場を確保するとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。 ◆妊婦同士の交流・産後の同窓会を兼ねた交流を通して、妊娠期から子育て期の仲間づくりの場となるよう努めます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆妊娠中3回、産後1回の4日1コースで年間12回実施しました。(2課が土曜日コースを年8回・平日のコースを年4回)妊娠・出産・育児に関する知識・技術を提供しました。 ◆仲間づくりができるよう住まいが近くの妊婦でグループを編成し、講義の内容は変えずに、グループワークの時間を確保できるようにしました。 ◆2課では講義だけでなく夫(パートナー)の参加を促し「妊娠シミュレーター」を着用して夫(パートナー)が妊婦体験、またグループワークを行ない、産後の育児についてイメージできるように取り組みました。 ◆4課では、転入者にも声をかけ、産婦同士の仲間づくりを進め、更にこれから出産を控える妊婦さんに育児について具体的にイメージが湧きやすいようアドバイスしてもらいました。				
評価指標	妊婦・夫受講率	平成25年度数値	◆妊婦49.9%・夫38.7%	平成26年度数値	◆妊婦49.9% 夫37.9%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆アンケートでは「おむつを1日10個～15個使用すると、漠然としていたのですが、こんな大変な生活になるという事が良く理解できた」「グループごとの発表もあり有意義に過ごせました。地区ごとに分けていただけたので、より親近感が湧きました」「全くわからなかった赤ちゃんのリズムがよくわかった。これからの生活を考えなければなあと思った」「さっそくおっぱいケアをしようと思いました」「もっとグループの方との会話の時間があると良いと思いました」「体操や食事など、普段から参考にしていきたいです」「時間が長くて少し疲れてしまいました」「もう少し全員の顔が見れるようなセッティングとかりラックスできるような場所でやってもらえると良かった。妊婦にはパイプいすで負担がありそう」などの意見・感想がありました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆2課が土曜日開催のコースは毎回定員の30組を超える申し込みがありました。希望に添えるよう当日の欠席も見越し、会場のレイアウトを工夫することで、定員をオーバーした人数を受け付け、かつ安全に配慮した教室運営を心がけました。 ◆受講者アンケートは前向きな感想が多く、妊娠中に同じような症状を体験している妊婦同士で交流でき、安心感につながっているようです。育児についてイメージ化し、仲間と共に産後スムーズに育児ができるよう設定している内容は好評を得ています。4課でも月齢の近い子どもを持つ親同士で悩みを共有し、先輩妊婦へ体験談を話す事で自分の育児に自信を深める機会・仲間づくりの機会となっています。	◆2課が土曜日開催のコースは定員を超えた申し込みがあり、安全に教室が運営できるよう、更なる会場レイアウトの工夫・講義内容の工夫を行いました。◆コース(妊娠中3回)を通して参加いただくことで、知識・技術の情報提供・仲間づくりが進むと考えており、勤労妊婦が増加する中、2課だけを希望する方もいますが、できるだけコースで参加して頂けるような案内が必要です。引き続き不安の多い産後1か月のイメージを具体的にイメージできるよう、4課に出席した先輩ママから、出産だけではなく、産後1か月の生活を伝えていただく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き安心して妊娠・出産・育児ができるように、妊娠中から知識・技術を提供し、身近な地域での仲間づくりができるようママ・パパになるための学級の充実に取り組みます。 ◆妊婦同士の交流・産後の同窓会を兼ねた交流を通して、妊娠期から子育て期の仲間づくりの場となるよう努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	未就学児とその保護者
事業名	81 乳幼児に対する健康相談の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	7,278,000円
事業の概要	<p>◆助産師による産婦・新生児訪問、地区住民でもある制度ボランティアの母子保健推進員による全出生児の家庭訪問、全員を対象とした乳幼児の健康相談等を通して、子育てに関する不安の軽減や情報提供を行います。また、健康な生活を目指した食事・睡眠・遊び・むし歯予防等生活習慣について、保健師・栄養士・歯科衛生士が情報提供を行い、個々の状況に応じた相談にも応じます。</p> <p>◆乳幼児の発育・発達に関する心配については、専門医師による発達相談や、心理職による相談の機会を設け、親の不安を丁寧を受け止めながら、早期に適切な指導や療育につなげることによって、子どもにとっての最大限の成長・発達を促す支援をしていきます。</p> <p>◆電話や来所・訪問等で妊婦・保護者からの相談窓口として、ヘルスステーションの機能を強化していきます。</p>		
平成26年度事業目標	◆引き続き、健やかな子どもの成長・発達及び保護者の子育てに関する不安の軽減を目指して、各事業を推進します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<p>◆生後4か月までの全戸訪問を目指したこんにちは赤ちゃん事業(助産師・保健師による産婦・新生児訪問、母子保健推進員による家庭訪問)、4か月児・10か月児健康相談のほか、乳幼児の発育・発達に関する心配については、医師による発達相談や心理職による幼児相談により、保護者の不安の軽減や適切な指導の機会に努めました。</p> <p>◆電話相談、所内相談や訪問指導による相談事業を実施しました。</p>				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業実施率	平成25年度数値	◆96.1%	平成26年度数値	◆97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>◆妊娠期からの相談場所があることに対して、「地区担当の保健師が決まっています、心強い」との意見が聞かれました。こんにちは赤ちゃん事業では、「初めての育児で心細かったけれど、近所に住んでいる人に訪問してもらい、いろいろ話を聞いてもらえて、うれしかった」との声が聞かれています。</p> <p>◆医師や心理相談員による健康相談(発達相談・心理相談)の利用者からは「具体的なこどもへの対応方法を聞くことができ、とても参考になった」などの意見が聞かれました。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>◆4か月児健康相談は133回1,361人、10か月児健康相談は110回1,311人の来所がありました。</p> <p>◆4か月児・10か月児健康相談事業における相談内容は、発育・発達に関するものが1,671件、生活習慣に関するものが2,026件、育児の状況に関するものが798件、その他に関すること(きょうだいについて等)が692件でした。(いずれも1月末現在、延べ件数)</p> <p>◆妊娠期から続く切れ目ない支援により、個々のニーズに応じた育児における不安や心配ごとの解消につながりました。</p>	◆切れ目ない支援を念頭に、今後も引き続き対象者のニーズをとらえた健康相談事業を推進していく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆習志野市母子保健“切れ目ない支援”マニュアルに基づき、健やかな子どもの成長・発達及び保護者の子育てに関する不安の軽減を目指して、各事業を推進します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	未就学児とその保護者
事業名	82 健康教育の推進		
		平成26年度事業費決算見込み額	27,000円
事業の概要	◆生涯の健康の基盤をつくる大切な時期の、子どもの生活と健康をテーマとして、食事・排泄・睡眠・遊び等とその生活リズムの重要性を伝え、いのちと性の教育の第一歩として、乳幼児期の保護者への教育にも力を入れていきます。 ◆男女ともにかかわる妊娠・出産から子育てについての意識啓発や、体験学習の機会を拡充し、男女共同参画の視点で母性・父性の役割について学ぶ機会を設けます。 ◆乳児の相談や公民館・幼稚園における健康教育等の機会に、保護者に対して「いのちと性」の正しい理解を目的とした学習を、一貫した流れの中で行えるよう取り組んでいきます。		
平成26年度事業目標	◆関係機関と連携し、市民への周知につとめ、さらなる健康教育の機会の確保をめざします。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆「幼稚園健康教育」、「離乳食教室」、公民館主催の「育児講座」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」等の中で、乳幼児期の保護者に対して、子どもの生活と健康をテーマに食事・排泄・睡眠・遊びや生活リズムの重要性、「いのちと性」についての健康教育を講座の中で組み込み、実施しました。 ◆妊娠前から「ママ・パパになるための学級」において、子育てについて・母性父性の役割についての意識啓発や体験学習を行いました。 ◆4か月児・10か月児健康相談では、子どもの生活・健康面だけでなく、基本的信頼関係や子どもとの向き合い方について伝えました。		
評価指標	◆離乳食教室稼働率 ◆むし歯のない3歳児の割合 ◆性教育をしたことがある親の割合 ◆自分以外の人に優しく接している人の割合	平成25年度数値	平成26年度数値
		◆95.0% ◆84.0% ◆28.2% ◆50.8%	◆91.1% ◆85.7% ◆28.2% ◆50.8%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「あなたはとても大切な存在であること、いのちの大切さなど、日常の会話の中で親子で話したい」、「日々、子どものできないことに目がいきがちだが、もっと子どもをほめてあげたいと思った」などの感想が聞かれています。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆講座・学級等では、136回述べ7,470人の妊婦、乳幼児とその保護者に対して、4か月児健康相談では133回1,361人、10か月児健康相談では110回1,311人の乳児の保護者へ教育を行い、多くの対象者へ命の大切さや性についての教育を行いました。	◆今後は、まちづくり出前講座等、市民からの講義依頼を増やし、より多くの子育て中の方に支援をするために、母子保健活動事業全体の中で、PRを行い教育の機会を確保していく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆関係機関と連携し、市民への周知につとめ、さらなる健康教育の機会の確保をめざします。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦・乳児・1歳6か月～2歳未満児・3歳6か月児～4歳未満児
事業名	83 健康診査の充実	平成26年度事業費決算見込み額	151,257,000円
事業の概要	◆安全で安心な妊娠・出産と、子どもの発育・発達を確認し、健やかな成長を促すため、医療機関で行う一般健康診査の費用、妊婦歯科健康診査の費用を助成します。 ◆幼児期においては集団健康診査を行い、保護者とともに子どもの心身の発育・発達を確認し、ことばや行動等、保護者の心配事に対して、医師、歯科医師、心理職、言語聴覚士、保健師、栄養士、歯科衛生士等が対応します。		
平成26年度事業目標	◆妊娠期・乳児期においては、安全で安心な妊娠出産と健やかな子どもの発育・発達を促すために医療機関で行う健康診査の費用を助成するとともに受診を勧奨していきます。 ◆幼児期においては、引き続き集団健診を実施し、保護者とともに子どもの成長発達の確認を行います。また、育児支援にも力を入れ、保護者の育児不安の軽減に努めます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆妊婦一般健康診査(個別健診)は14回助成しました。 ◆妊婦歯科健康診査は妊娠中に1回実施しました。 ◆乳児一般健康診査(個別健診)は3～6か月児、9～11か月児の2階助成しました。 ◆1歳6か月児・3歳児健康診査(集団健診)は、子どもの発達を確認できるように個別面接を行い、子どもの成長発達の確認や子育ての情報を提供し、保護者が子どもの健康や健やかな成長に関心を持てるように支援、保護者の育児不安、ストレスへの支援も実施しました。 ◆3歳児健康診査では、希望者には保護者の歯科健診も併せて実施しました。				
評価指標	◆妊婦歯科健康診査受診率 ◆1歳6か月児健康診査受診率 ◆3歳児健康診査受診率	平成25年度数値	◆19.9% ◆91.5% ◆89.5%	平成26年度数値	◆21.9% ◆94.1% ◆92.6%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆1歳6か月児・3歳児健診では「健診を受けて子どもが順調に成長していることが確認できなかった」「子どもへの対応方法や食事や歯磨きについてなど、子育ての相談ができて安心した」などの感想がありました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆保護者とともに子どもの成長発達の確認を行い、児の成長段階にあわせた指導や状況に応じて個別相談を行うことで、保護者の不安の軽減につながりました。 ◆問診票の精神発達指標であるMCHAT重要項目の導入により、きめ細やかな支援が必要な者の振り分けができ、早期支援が開始されました。 ◆健診未受診者フローチャートを作成し、未受診者の把握拡大に努めました。	◆日時・会場の指定される集団健診は両親ともに就労している場合来所が難しいこともあり、健診日以外に家庭訪問・所内相談等での個別対応を行う必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆妊娠期・乳児期においては、安全で安心な妊娠出産と健やかな子どもの発育・発達を促すために医療機関で行う健康診査の費用を助成するとともに受診を勧奨していきます。 ◆幼児期においては、引き続き集団健診を実施し、保護者とともに子どもの成長発達の確認を行います。また、育児支援にも力を入れ、保護者の育児不安の軽減に努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	予防接種対象者(乳幼児・学童・中高生)の保護者
事業名	84 予防接種	平成26年度事業費決算見込み額	367,622,846円
事業の概要	◆感染力が強く、かかると重篤になりやすい疾患について、「予防接種法」に基づく定期予防接種を行います。		
平成26年度事業目標	◆今後新たに定期予防接種化される予防接種も出てくることから、対象者には平等に情報が提供できるよう、できる限り個別通知の方法で周知していきます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆「予防接種法」に基づく定期予防接種の実施と接種勧奨を実施しました。 ◆「予防接種法の一部改正」「予防接種実施規則の一部改正」による変更により、新たに開始された種類の予防接種については、対象者に予審査表を送付しました。 ◆予防接種の接種率を上げるため、こまめに接種勧奨のはがきを通知し、予診票をそれぞれの病院でも、手に入るよう医療機関に協力を求め実施した。		
評価指標	◆接種率	平成25年度数値	◆MR1期99.3% ◆MR2期98.1%
		平成26年度数値	◆MR1期96.8% ◆MR2期95.9%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆日本脳炎2期の手続きの仕方がわからないというご意見をいただきました。 ◆高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種についての問い合わせ・苦情が多くありました。 ◆水痘の予防接種が開始されたが、特例措置対象外の方より多くの苦情が寄せられました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆水痘接種開始に伴い、対象となる人に個別に通知することで、積極的に勧奨することができました。 ◆MRIについては、大規模マンション等により、転入者が急増していることで、真の接種率が把握できていないものと考えており、昨年よりも低下ということではないと考えています。	◆新しい予防接種が今後導入されることが決まっており、実施に向けた準備が必要です。 ◆マイナンバー制度が導入されることに伴い、国の実施体制に併せて開始していくことができるよう、国の動向を注視し、準備していく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆今後も新たな定期予防接種化される予防接種も出てくることから、対象者には平等に情報が提供できるよう、個別通知でのお知らせができるよう周知していきます。 ◆新たな予防接種が導入されることにより、接種間隔等のスケジュール立てが複雑になり、そのことによる事故を防ぐため、自分でもスケジュール管理ができるモバイルサービスを新規に導入することにより、事故が減るよう積極的な活用を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課、学校教育課
施策内容	2 思春期保健対策の充実	事業対象者	市立小・中・高等学校児童生徒・子育てに関わる各関係機関
事業名	85 中学校区地域保健連絡会の推進		
事業の概要	◆中学校区ごとに実施している地域保健連絡会において、幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・高校・公民館等の関係職員が連携を強化し、保護者や習志野健康福祉センター等、外部関係機関との連絡調整を行いながら、子どもの発育・発達に応じた健康づくりに取り組む体制づくりを進めていきます。		
平成26年度事業目標	◆子どもの発育・発達に応じた健康づくりに各関係機関が連携して取り組むために、定期的な地域保健連絡会を実施し、内容を充実させていきます。(健康支援課) ◆幼稚園・保育園・こども園・小中高等学校・公民館等の関係者の連携を強化しながら、学校保健業務の充実が図られるよう取り組んでいきます。(学校教育課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆市内7つの中学校区ごとに定期的な中学校区地域保健連絡会を実施し、実務にかかわる保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高校・公民館等の関係機関、健康福祉センター等の外部関係機関とともに各地域の問題点を共有しながら、子どもの健康づくりに取り組みました。(健康支援課) ◆各中学校区地域保健連絡会において、課題及び取組状況について把握し、必要に応じて支援を行いました。(学校教育課)				
評価指標	◆中学校区地域保健連絡会開催回数	平成25年度数値	◆21回	平成26年度数値	◆21回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆定期的に地域保健連絡会を実施することで、関係機関とスムーズな連携ができ、健康づくりに取り組む体制を継続することができています。また、それが日常の個々のケースへの対応や支援にも活かされています。(健康支援課) ◆中学校区地域保健連絡会の開催により、関係各機関の近況や取り組みについて情報交換が盛んに行われており、日々の業務の連携・協力体制につながっています。(学校教育課)	◆各地域の実情に合わせた課題の解決に向けて、各中学校区での取り組みは様々です。市全体として思春期保健対策の充実を図るため、さらに取り組みを進めていく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆子どもの発育・発達に応じた健康づくりに各関係機関が連携して取り組むために、定期的な地域保健連絡会を実施し、内容を充実させていきます。(健康支援課) ◆幼稚園・保育園・こども園・小中高等学校・公民館等の関係者の連携を強化しながら、学校保健業務の充実が図られるよう取り組んでいきます。(学校教育課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	3 小児救急医療体制の充実	事業対象者	15歳未満の小児
事業名	86 小児救急医療体制の整備、充実	平成26年度事業費決算見込み額	117,526,000円
事業の概要	◆小児が休日夜間の急病時に、確実に受け入れられる診療体制の充実を図ります。 ◆夜間や休日における一次・二次診療は、習志野市医師会等の関係機関の協力を得るとともに、近隣市の医療機関と連携しながら対応しております。今後も引き続き関係機関の協力を得ながら体制整備を図っていきます。		
平成26年度事業目標	◆引き続き、日頃からかかりつけ医を持つこと、また、一次救急・二次救急・三次救急といった医療体制や日中の早めの受診、夜間に急病になった場合の「子ども急病電話相談」の利用の促進について、市ホームページ、救急医療ガイド等により周知し、限りある医療資源を有効に活用することで、救急医療体制の充実を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆夜間に子どもが急に具合が悪くなった時、対応できるように千葉県医師会が作成した「チェックリストによる子ども急病ガイドブック」を配布しました。 ◆千葉県が実施している「子ども急病電話相談」の広報用シールを配布しました。 ◆ホームページの改善に務め、読みやすく、わかりやすいページづくりに取り組みました。 ◆救急医療ガイドのサイズを変更し、持ち運び等に配慮したものにしました。				
評価指標	◆急病診療所における小児患者数 ◆二次救急医療機関における夜	平成25年度数値	◆1,522人 ◆7,280人	平成26年度数値	◆1,384人 ◆7,472人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆小児救急が市内で行われていないことに対して「市の怠慢である。努力すべき」という意見が数件ありました。 ◆「子ども急病電話相談」#8000の実施時間が短い。 ◆ホームページの見にくさについて意見があり、対応しました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆市ホームページ及び救急医療ガイド、子育てガイドブックにて一次救急・二次救急・三次救急といった医療体制や日中の早めの受診について周知する以外に、千葉県医師会・千葉県が実施及び作成している「チェックリストによる子ども急病ガイドブック」及び「子ども急病電話相談」シールを配布し、2か月から3か月の子どもをもつ家庭に周知したことにより、小児を持つ家庭の不安緩和につながりました。	◆一次救急・二次救急・三次救急といった小児救急体制の整備状況の周知や日中早めの受診協力、県が実施している「子ども急病電話相談」の利用の促進により、限りある医療資源を有効に活用できるよう、適正な医療受診についての啓発を引き続き実施していく必要があります。 ◆病院の連携のみではなく、近隣市と連携する手法等について千葉県を通じて協議することについて、検討していきます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆引き続き、日頃から、かかりつけ医を持つこと、また、一次救急・二次救急・三次救急といった医療体制や日中の早めの受診・夜間に急病になった場合の「子ども急病電話相談」の利用の促進について、市ホームページ、救急医療ガイド等により周知し、限りある医療資源を有効に活用することで、救急医療体制の充実を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	市民
事業名	87 安全で安心なまちづくり基本計画等に基づく施策の実施		
事業の概要	◆「基本計画」及び「実施計画」に基づき、防犯啓発活動、庁内関係機関及び地域等との連携・ネットワークの整備、防犯パトロールの強化、子どもたちの通学時等における安全確保、地域防犯活動への支援等の施策に積極的に取り組みます。		
平成26年度事業目標	◆警察、市民等と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等充実させること。また防犯対策強化を図り犯罪抑止に努めます。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策について協議し、まちづくり出前講座等を活用し、市民の防犯意識の高揚を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆防犯パトロール支援(年30回程度) ◆市民大会等の開催(まちづくり出前講座含む) ◆街頭啓発キャンペーン等(自転車防犯診断2回、防犯チラシ等配布3回) ◆犯罪発生状況等の情報提供(ホームページ、携帯メール) ◆迷惑電話チェッカーの貸出し(平成27年3月末現在60台)				
評価指標	◆犯罪発生件数	平成25年度数値	◆2,391件	平成26年度数値	◆1,928件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆犯罪発生件数が大幅に削減(前年度比463件減)されました。また、自主防犯活動団体が増加するなど、自分のまちは自分で守るという強い防犯意識が浸透してきました。	◆振り込め詐欺被害について、様々な対策をとっているものの、減少に移行しない状況が続いているため、更に効果的な対策を行う必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆警察、市民等と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等充実させること。また防犯対策強化を図り犯罪抑止に努めます。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策について協議し、まちづくり出前講座等を活用し、市民の防犯意識の高揚を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	企画政策課・道路交通課・各施設所管課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	高齢者、障がい者等、鉄道事業者
事業名	88 駅、公共施設、道路等のバリアフリー化		
		平成26年度事業費決算見込み額	45,334,000円
事業の概要	◆駅や公共施設における手すりやエレベーターの設置等の整備・改善について関係機関の協力を得ながら促進します。 ◆歩道の段差改善等のバリアフリー化を図ります。		
平成26年度事業目標	◆JR津田沼駅自由通路および、都市計画道路3・4・5号線歩道部のバリアフリー化工事を実施します。(道路交通課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆例年、エレベーター、エスカレーター、スロープや内方線付き点状ブロックの整備に加え、多機能トイレの設置等を鉄道事業者主体で実施してきたところですが、平成26年度においては、京成電鉄株、新京成電鉄株との協議の結果、京成津田沼駅の耐震補強に特化して取り組むこととなり、「京成津田沼駅耐震対策事業」として実施される事業に対し、各年度、事業費の6分の1を補助しました。(平成26年度実施分に対しては、京成電鉄株のみ対象で、補助金の交付決定は平成27年3月末に実施済みです。)(企画政策課) ◆JR津田沼駅自由通路の改修工事については、工事発注を2回行いましたが、いずれも入札不調・未契約繰越となり、入札に向け契約検査課へ業務依頼済みです。(道路交通課) ◆都市計画道路3、4、5号線の歩道部改修工事については、商店街との協議・調整に時間を要したことにより、工期が不足することになり工事発注時期を見送ったため未契約繰越となりました。現在、発注に向け準備中です。(道路交通課)				
評価指標	—	平成25年度数値	—	平成26年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(企画政策課) ◆京成電鉄株及び新京成電鉄株からは、平成26年度から平成27年度には、京成津田沼駅の耐震補強工事に取り組み、この工事完了後、内方線付き点状ブロックの未整備の駅に対して、段階的に整備を進める意向が示されています。 ◆JR東日本からも同様に、内方線付き点状ブロックの未整備の駅に対して、段階的に整備を進める意向が示されています。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆国、本市、京成電鉄株の連携により、京成津田沼駅の耐震補強工事が進められ、駅利用者をはじめ、子どもを含めた市民の安全確保を図られました。(企画政策課)	◆駅の耐震補強工事のため駅施設の移動などにより、駅利用者に対して何らかのご不便をおかけしています。(ガードマンなどにより安全対策は行っています。)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆京成津田沼駅耐震対策事業を、京成電鉄株及び新京成電鉄株に着実に実施させ、駅利用者をはじめ、子どもを含めた市民の安全確保を図ります。(企画政策課) ◆平成26年度事業として予定していたが繰越となってしまうため、早期の工事完了を目指します。(道路交通課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	学校教育課・指導課・こども保育課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校
事業名	89 学校安全の充実	平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆①総合的な学校安全計画作成・整備、②学年や年齢に合わせた交通安全教室の充実・指導の徹底、③安全点検の充実・事後処理の徹底、④学校安全関係者の質的向上、⑤学校・行政・地域が連携した通園・通学路の点検・改善整備を図ります。		
平成26年度事業目標	◆各学校の実態に即した、学校防災マニュアルの作成をし、活用していきます。(学校教育課・小学校・中学校) ◆児童生徒の発達段階にあった、交通マナーを学ぶ交通安全教室を実施します。(学校教育課・小学校・中学校) ◆文書等を通じて、主に交通安全教育の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆学校警察連絡会、生徒指導主任会議及び生徒指導担当教員会議を通して、市内の状況を共有化し、関係機関と連携を図りながら、交通安全指導の共通理解を図り、未然防止に努めます。(指導課) ◆地域や園児・保護者の実態を踏まえて、多様な場面を想定した「危機管理マニュアル」や訓練計画の作成に努めていきます。(こども保育課) ◆交通安全協会等と連携を図り、交通ルール等の交通安全に対する意識向上に努めます。(こども保育課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆習志野市立小・中学校における地震発生時の行動計画について共通理解を図るため、習志野市教育委員会版「学校における地震防災マニュアル」を作成し、各学校に配布しました。(学校教育課) ◆通学路安全対策協議会を年3回実施(合同点検1回実施)し、学校・道路管理者・警察が連携しながら、通学路の改善に努めました。(学校教育課) ◆安全主任等研修会において、外部講師を招き、非構造部材の安全点検のポイントについて学ぶ機会を設けました。(学校教育課) ◆各学校において、警察・交通安全協会の協力を得ながら、交通安全教室を実施しました。(学校教育課) ◆不審者侵入・園外保育時など様々な場面を想定した防犯訓練を実施し、具体的な対応の仕方を指導しました。(こども保育課) ◆交通安全協会との連携をきっかけに、園内でも交通ルールの順守や安全に対する意識を高める指導を繰り返し行いました。(こども保育課) ◆年3回、学校と警察との連絡協議会を実施し、連携も密にするともに、交通安全教育の徹底を図りました。(指導課) ◆年4回の生徒指導主任会議(小・中学校)や毎月開催した生徒指導担当教員会議(中学校)を通して、市内の交通事故の実態を報告し、交通安全指導の徹底を図りました。(指導課)				
評価指標	◆小学校・中学校での安全計画作成割合 ◆小学校・中学校での交通安全教室実施率	平成25年度数値	◆100% ◆100%	平成26年度数値	◆100% ◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆教育委員会から出された「学校における防災マニュアル」を参考し、各学校において、自校の防災計画を見直すことができました。(学校教育課) ◆24年度、25年度と2年続けて実施した通学路合同点検により、通学路における危険箇所を把握し、その改善のために関係機関と連携を図ることができました。(学校教育課) ◆各学校で行っている安全点検のポイントを示唆していただき、安全点検の重要性を理解することができました。(学校教育課) ◆関係機関の協力により、交通事故を未然に防ぐための歩行の仕方や自転車の乗り方を学ぶ交通安全教室を実施することができました。(学校教育課) ◆様々な想定で訓練を実施したことで、子どもを守るために職員がどのように行動すればよいかを明確にし、意識化することができました。(こども保育課) ◆訓練を通して園児が具体的な行動の仕方を身につけることができました。(こども保育課) ◆各会議の中で、小学校、中学校の垣根を越えて学区ごとに集まり、情報交換をすることで中かが一貫した指導が大切であることへの意識が高まりました。(指導課)	◆各学校の防災マニュアルの作成にあたっては、児童生徒の実態・地域の特性を考慮しながら、活用できるマニュアルの作成が必要であると考えます。(学校教育課) ◆通学路の改善に向けて、通学路安全対策協議会の中で、合同点検のポイントを共通理解し、さらに安全な通学路になるよう関係機関と連携し、努めていきます。(学校教育課) ◆自転車の乗り方については、加害者にもなりうることから、児童生徒の発達段階にあった交通マナーを学ぶ交通安全教室を実施していきます。(学校教育課) ◆地域や幼児・園環境の実態の把握と分析をし、わかりやすいマニュアルと実態に即した訓練その後の評価を工夫していく必要があります。(こども保育課) ◆毎月開催している中学校の生徒指導担当者会議では、中学校の情報しか上がってこないの、小学校の情報を吸い上げるシステムが必要です。(指導課)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆各学校の実態に即した、学校防災マニュアルの作成をし、活用していきます。(小・中学校) ◆児童生徒の発達段階にあった、交通マナーを学ぶ交通安全教室を実施します。(小・中学校) ◆多様な場面を想定したわかりやすい「危機管理マニュアル」や訓練計画の作成に努めます。(こども保育課) ◆交通安全協会等と連携を図り、交通ルール等の交通安全に対する意識向上に努めます。(こども保育課) ◆文書等を通じて、交通安全教育の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆学校警察連絡会、生徒指導主任会議及び生徒指導担当教員会議を通して、市内の状況を共有化し、関係機関と連携をとりながら、交通安全指導の共通理解を図り、未然防止に努めます。(指導課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	子育て支援課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	乳幼児とその保護者
事業名	90 子育て応援ステーション事業の充実		
		平成26年度事業費決算見込み額	30,000円
事業の概要	◆乳幼児を連れて、安心して外出できる環境を整えるため、授乳やおむつ交換ができる場を整備していくとともに、地域力を活用した子育て家庭への支援施策を検討します。		
平成26年度事業目標	◆授乳やおむつ交換の場を提供してくれる事業者を少しずつ増やしていくことで、子育て中の家族が安心して外出することのできる環境の更なる整備を図ります。 ◆地域力を活用した子育て家庭への支援施策を検討し、制度の更なる拡充を図ります。 ◆千葉県が平成24年7月から実施している「子育て応援！チーパス事業」と連携しながら周知を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆協力店舗には店先等の目立つステッカーを掲示していただき、利用者が気軽に立ち寄ることができる環境を整備しました。また、各店舗における利用状況を確認しました。 ◆千葉県が「子育て応援！チーパス事業」において子育て家庭に配布している「チーパスカード」が、平成27年4月から新しくなることから、市内の保育所、幼稚園、こども園、小中学校、私立保育園、幼稚園、庁内関係機関等にカード及び周知用ポスターの配布するとともに、広報、ホームページ等に周知を行いました。(カード107か所、ポスター49か所)		
評価指標	◆協力店舗数	平成25年度数値	◆13店舗
		平成26年度数値	◆13店舗

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆小児科のある病院のすぐ近くの薬局が子育て応援ステーションになっているので、おむつ替えなどで利用でき助かっています。 ◆チーパスカードは、以前より参加の店舗が増え、該当するお店では割引などしてくれるので、よく利用しています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子育て応援ステーション協力店の周知を行うことで、乳幼児連れの家族が安心して外出できる環境が整備されました。	◆授乳やおむつ交換の場を提供していただける子育て応援ステーションの協力店舗をさらに増やしていく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆授乳やおむつ交換の場を提供してくれる事業者を少しずつ増やしていくことで、子育て中の家族が安心して外出することのできる環境の更なる整備を図ります。 ◆地域で子育てがしやすい環境づくりのため、イベントや災害時に使用できるおむつ替えや授乳時に使用できるテントを整備します。 ◆千葉県が実施している「子育て応援！チーパス事業」について、県と連携しながら周知を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	公園緑地課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	市民
事業名	91 公園施設の整備		
事業の概要	◆公園施設は、子どもの視点に立った整備に配慮します。		
平成26年度事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、引き続き専門業者による遊具安全点検を実施するとともに、危険箇所を見つけ次第、修繕します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆日々、職員による遊具の安全点検を実施するとともに、地域住民参加型の公園維持管理を実施し、遊具の危険箇所を見つけ次第、修繕を実施しました。				
評価指標	◆点検結果に応じた危険な遊具の修繕・撤去数	平成25年度数値	◆修繕40基、更新3基、撤去3基	平成26年度数値	◆修繕30基、更新2基、撤去2基

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆遊具安全点検を実施するとともに、危険箇所を見つけ次第修繕し、安全で安心な公園を提供できました。	◆特になし。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、職員による遊具の安全点検を実施するとともに、地域住民参加型の公園維持管理業務を実施し、危険箇所を見つけ次第、遊具の修繕を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	公園緑地課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	町会、子供会、老人会、ボランティア団体
事業名	92 地域住民参加型の公園維持管理		
		平成26年度事業費決算見込み額	9,758,100円
事業の概要	◆一部の公園で、地域住民の協力を得ながら掃除、軽微な遊具点検等の維持管理を推進していきます。		
平成26年度事業目標	◆地域に密着した公園を目指していくために、少子高齢化が進む中、地域住民の更なる協力による清掃等の維持管理を推進します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆地域における公園の清掃・除草・草刈・施設の点検などを依頼しました。		
評価指標	◆街区公園に対する市民管理団体の割合	平成25年度数値 ◆43.8%	平成26年度数値 ◆42.1%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆地域の住民に公園を管理してもらうことで、地域における公園の重要性を認識してもらうとともに、効率的な維持管理が可能となります。	◆少子高齢化が進み、参加者が減っているため満足のいく公園の維持管理ができない団体がありました。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆地域に密着した公園を目指していくために、少子高齢化が進む中、地域住民の更なる協力による清掃等の維持管理を推進します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安全、安心な生活環境の整備	担当課	警防課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	市内在住・在勤・在学者
事業名	93 応急手当普及啓発活動の推進	平成26年度事業費決算見込み額	3,106,000円
事業の概要	◆救急救命率の向上を図るため、市民への普通救命講習会を実施します。		
平成26年度事業目標	◆普通救命講習受講者数4,000人以上を維持することを目標にするとともに、子どもの命を守るよう、小児・乳児に対する心肺蘇生法の実施を積極的に取り組みます。また、小学校から大学、社会人と生涯教育として一貫した普通救命講習を実施します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆消防本部で開催しております定期講習(毎月9・19・29日)では、成人講習の他、小児・乳児の普通救命講習Ⅲを組み込んだほか、公民館や幼稚園・保育園などに出向し、多くの市民の方に受講していただきました。 ◆市内全ての小学校高学年を対象に、救命入門コースを実施しました。 ◆市内の中学校(7校)・高校(3校)・大学(1校)の生徒、学生に普通救命講習を実施しました。				
評価指標	◆乳幼児の救急講習受講者数	平成25年度数値	◆840人	平成26年度数値	◆563人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆今回の体験を生かして、人のことを助けられたらと思いました。 ◆心停止の場面で行動できるか心配ですが、自分の子どものことを考え真剣に受けられました。 ◆知っているではなく、出来る様にして普段の生活や職場ですぐに対応出来るようにしたいです。 ◆自分の子どもの命だけではなく、他の方の命も助けられるようになったらと思いました。 ◆忘れてしまうので、数年に1回など定期的に受講の機会を義務的につくると受けやすいです。 ◆人を助けるために必要なことなので、教わったことを忘れず、役立てていきたいです。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆平成26年度の普通救命講習は4,929人が受講し、3年連続で目標を達成しました。 ・普通救命講習Ⅲ(16回開催、212人受講) ・小児乳幼児に対する短時間の救急講習(24会開催、351人受講) ・小学校高学年を対象にした救命入門コース(16校、1605人受講) ・中学校(7校、1,603人受講) ・高校(3校、1,042人受講) ・大学(1校、139人受講)	◆継続的に受講者を確保するためには、広報活動等を行うとともに、受講者のニーズに応じたスケジュール構成など環境づくりを積極的に取り組む必要があります。 ◆継続的に目標を達成するためには、応急手当普及員の養成及び講習で使用する資器材を計画的に整備する必要があります。 ◆講習の指導については、統一した指導法や指導内容とすることが必要です。 ◆生涯教育として馴染ませるために毎年最低1回、市内全学校に講習会を実施する必要があります。(平成26年度は市内私立中学校1校、大学1校が未実施)
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆普通救命講習受講者数4,000人以上を実施することを目標にするとともに、子どもの命を守るよう、小児・乳児に対する心肺蘇生法の実施を積極的に取り組みます。また、小学校から大学、社会人と生涯教育として一貫した普通救命講習を実施します。 ◆救命処置法を忘れないように普通救命講習受講者に対し再講習を促し、新たに再講習用のコースを新設します。 ◆より普通救命講習を受講しやすくするため、講習3時間の内1時間分を自宅で受講できるe-ラーニングを新設します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	市民、市、関係機関
事業名	94 地域防災計画の見直しと各種防災対策の拡充及び強化		
事業の概要	◆災害から子どもたちの命と身を守るため、「地域防災計画」及び「行動計画」の見直しを行い、防災訓練や防災教育の実施、幼稚園や保育所・こども園・小学校・中学校等の安全性の向上、応急保育や応急教育の実施、避難体制や防災拠点・施設等の整備、災害時要援護者支援等、各種防災対策の拡充及び強化を図り、災害に強い、安全で安心なまちづくりを推進します。		
平成26年度事業目標	◆計画をもとに地域への防災教育や訓練を推進します。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆袖ヶ浦西小学校における防災授業の支援 ◆起震車による地震体験の授業(袖ヶ浦西小学校、香澄小学校、実籾小学校、屋敷幼稚園) ◆避難訓練支援(袖ヶ浦西小学校、東習志野小学校) ◆幼児をもつ親向けの防災講話(菊田公民館、屋敷公民館) ◆備蓄に関する講話(ボーイスカウト、谷津南小学校)等、各種講話 				
評価指標	—	平成25年度数値	—	平成26年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分と異なる意見を聞くことができて勉強になった。 ◆子どもがいる家庭での備蓄品では予想外のものもあり、参考になった。 ◆親子で、散歩を兼ねて近所の危険物を点検することは重要だと思う。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆小学校を主として、多くの防災教育事業を実施しましたが、特に多く足を運んだ袖ヶ浦西小学校では、着実に児童の防災意識の高揚が感じられました。 ◆一度、講話等を行った公民館・学校では、初回の反響により、再度、講師依頼があるなど、事業の積み重ねにより、段々とレベルアップしていることが感じられました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成26年度は、中学校や保育所をまわる機会が無かったことから、今後は幅広い年代の子どもたちへの防災教育とするため、こちらから働きかけをする等、防災授業の機会の増加を図ります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆計画をもとに地域への防災教育や訓練を推進します。
------------	---------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	自主防災組織
事業名	95 自主防災組織の拡充及び強化		
事業の概要	◆地域における防災活動の中心となる、自主防災組織の拡充と強化を図ります。		
平成26年度事業目標	◆6組織以上の新規設立を目標とします。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆新規設立の自主防災組織(8組織)に対し、活動を支援するため、設立初年度に限り20万円を上限とした防災資機材を交付しました。(1,586,649円) ◆自主防災組織の育成及び活動の支援を行うため、170組織に活動助成金を交付しました。(6,890,139円) ◆自主防災組織のリーダーを育成するため、習志野市自主防災組織リーダー研修会を開催しました。(年3回)				
評価指標	◆自主防災組織数	平成25年度数値	◆193組織	平成26年度数値	◆201組織

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆自主防災組織の新規設立の当初目標6組織に対し、8組織の新規設立となりました。	◆組織により、取り組み内容・活動レベルに差があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆6組織以上の新規設立を目標とします。
------------	---------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	市内市立小学校(5・6年生) 市内市立中学校(1・2年生)
事業名	96 青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成		
事業の概要	◆自主・自立の防犯対策や青少年の健全育成を目的に、小学生と中学生で組織される青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成を図ります。		
平成26年度事業目標	◆活動をとおして、防犯についての重要性を考える機会を提供し、直接市民へ啓発の呼びかけをするなど体験型の活動により自主・自立の防犯対策を更に強化を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆自転車防犯診断(7・10月、市内4か所の市営駐輪場にて) ◆市民まつり(7月、来場者に対し、チラシ配布や防犯に関する意識調査) ◆街頭啓発キャンペーン(10月、市内7駅) ◆市民大会における防犯寸劇(10月、振り込め詐欺について) ◆防犯マップ作成(11月、津田沼・鷺沼地区) ◆歳末街頭啓発キャンペーン(12月、JR津田沼駅周辺)				
評価指標	◆キラット・ジュニア防犯隊隊員数	平成25年度数値	◆128人	平成26年度数値	◆224人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆防犯活動に参加することにより防犯意識が向上し、防犯対策の必要性を認識すると共に自主・自立の防犯対策を身に付けることができました。 ◆学区の違う子どもたちが集まることで仲間意識を養い、地域住民と活動を実施することで地域の活性化につながりました。	◆限られた時間での活動となるため、活動内容を工夫、検討すると共に充実した活動となる様、引き続き実施していきます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆活動を通して、防犯についての重要性を考える機会を提供し、直接市民へ啓発の呼びかけをするなど体験型の活動により自主・自立の防犯対策を更に強化を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	青少年センター
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	市立小・中・高等学校 「子ども110番の家」協力者
事業名	97 子ども110番の家の拡充		
事業の概要	◆児童生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力とするため、「子ども110番の家」の拡充を図ります。		
平成26年度事業目標	◆地域や関係諸機関と連携を図り、継続的に点検調査活動に取り組み、「子ども110番の家」の機能の充実を図ります。 ◆子どもの安全を地域ぐるみで守るため、「子ども110番の家」を拡充し、児童・生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力としていきます。 ◆各小・中学校及び関係団体への「子ども110番の家」の設置協力依頼を積極的に行います。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆平成26年8月に、全協力者に継続調査及びアンケート調査を行いました。アンケート調査の中から、協力者から上がった声を各学校に送り利用状況を伝え、「子ども110番の家」の機能の充実を図りました。平成25年8月より平成26年7月までの緊急回避の駆け込み事案件数は13件でした。 ◆高齢や健康面等での理由で34件の退会者がありました。退会者により26年末には1,000軒を切り、1月に各小・中学校及び関係団体への「子ども110番の家」の設置協力依頼を積極的に行いました。その結果1,032軒まで回復しました。 ◆各学校で実施している家庭教育学級や地域で実施している研修会に積極的に参加し、子ども達の被害の実態を説明するとともに、子どもの安全を地域ぐるみで守るため、「子ども110番の家」が緊急回避場所になり、不審者出没の抑止力となることの大切さを啓発しました。				
評価指標	◆「子ども110番の家」加入軒数	平成25年度数値	◆1,031軒	平成26年度数値	◆1,032軒

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆今後も子ども達の安心の為見守りや、声かけをしていきたいと思う。 ◆通学路に学童の姿が見える限り見守りを続ける。 ◆看板設置が少しでも犯罪防止に有効であればと思う。看板がある事で町の防犯意識の高さが感じられる。 ◆トイレ借用などの緊急回避以外の駆け込みが頻繁にある。 ◆大人のトイレや子どもの遊び道具の要求には対応しかなる。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆緊急避難として13件の事例がありました。内訳は声かけ、露出、痴漢、変質行為などでした。犯罪の被害を未然に防いだり、犯罪の早期発見に寄与しました。 ◆家庭教育学級や1000か所ミニ集会などの地域で実施している研修会に積極的に参加し、子どもの安全を地域ぐるみで守るため、「子ども110番の家」が緊急回避場所になり、不審者出没の抑止力になりうることの大切さを訴えることをとおして防犯意識の高まりに寄与しました。 ◆各学校からの働きかけなどにより新規の加入者が33件増加しました。 ◆数字には表れない効果として看板を設置することにより犯罪の抑止力となっています。	◆目標値の1,200軒に届きませんでした。目標値は平成13年に全世帯数の2%ということで設定し、その目標を達成できていないため継続してきましたが、マンションなどの増加も勘案し、目標値の再設定を検討します。「子ども110番の家」は原則として通学路などに面している世帯が対象 ◆「子ども110番の家」の利用状況を見ると緊急避難以外にもトイレ借用などの犯罪に関係のない駆け込みもあります。子どもたちに「子ども110番の家」の存在意義と利用の仕方について学校を通じて知らせていきます。 ◆より多くの方に地域の子どもの安全を守るという意識を持っていただけるような啓発活動を更に増やしていきます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆地域や関係諸機関と連携を図り、継続的に点検調査活動に取り組み、「子ども110番の家」の機能の充実を図ります。また、ナラシドという親しみやすく、わかりやすい市のキャラクターができたことから、ナラシドを加えたデザインにし、更新に合わせて取り替えていきます。 ◆子どもの安全を地域ぐるみで守るため、「子ども110番の家」を拡充し、児童・生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力としていきます。 ◆各小・中学校及び関係団体への「子ども110番の家」の設置協力依頼を積極的に行います。また、校長会議などの場で学校を通して「子ども110番の家」の意味と利用の仕方について知らせていきます。 ◆地域の研修会に積極的に参加し、より多くの方に地域の子どもの安全を守るという意識をもっていただくような啓発活動を行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	学校教育課・指導課・こども保育課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校
事業名	98 子ども向け防犯教育の徹底		
事業の概要	◆子どもたちが自分の身を守るためにどうしたらよいかを考え、行動できるように、防犯教育の徹底を図ります。		
平成26年度事業目標	◆文書等を通じて、主に不審者対策等の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆子どもの発達にあった、防犯教室等を実施します。(学校教育課) ◆防犯対策の為に備品を整えていきます。(学校教育課) ◆日常の危険を回避して安全な行動がとれるように、計画的な訓練の実施と職員や関係機関との協力体制を強化します。(こども保育課)		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆教育計画に基づき、状況を変化させながら計画的な訓練の実施に努めました。(こども保育課) ◆文書等を通じて、主に不審者対策等の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆不審者対応訓練を実施し、不審者侵入時における安全確保について理解する機会を設けました。(学校教育課) ◆「いかのおすし」を合い言葉に、子どもたちに「自分の身は自分で守る」ことを意識付けしています。(学校教育課) ◆不審者情報を各学校へ連絡し、注意喚起に努めています。(学校教育課)				
評価指標	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校での防犯教育実施率	平成25年度数値	◆100%	平成26年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆様々な状況を想定した訓練を実施したことで、子どもを守るために職員がどのように行動すればよいかを明確にし、意識化することができました。 ◆段階的な訓練の実施を通して園児が具体的な行動の仕方を身につけることができました。	◆様々な情報を収集・確認し日常の中で潜在する様々な危険を予測して、日々の点検や施設整備を確実に実施していく必要があります。 ◆少ない職員体制での防犯対策について、地域や近隣の学校施設等関係機関との協力体制を強化していく必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆生活の中で安全な行動がとれ、危険認知や危険回避の意識が高まるように、計画的な訓練の実施と職員や関係機関との協力体制を強化します。(こども保育課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	青少年センター
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	小学校・中学校・習志野高校・私立高等学校
事業名	99 学校・警察連絡制度の充実		
事業の概要	◆学校と警察が相互に連絡し、情報の共有化を図りながら、児童・生徒の非行防止や安全確保を図ります。		
平成26年度事業目標	◆有事に備え、常日頃から警察等関係機関との連携を密にしていこうにより、連絡制度の一層の充実を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆児童・生徒の健全育成及び非行防止並びに犯罪被害予防のため、学校警察連絡協議会を年間3回開催し、学校と習志野警察が相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図り、研修を行いました。 ◆連携を円滑に行うための担当窓口等を明らかにし、学校・警察連絡制度の一層の充実を図りました。				
評価指標	—	平成25年度数値	—	平成26年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆第1回及び第3回学校警察連絡協議会は小・中・高等学校の校長が出席し、学校と習志野警察の相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図ることができました。また、研修を行うことで、危険ドラッグやネット被害の現状と課題についての理解を深めることができました。 ◆第2回学校警察連絡協議会は、小・中・高等学校の生徒指導担当者が出席し、各学校と習志野警察の間における実務レベルでの情報交換を行ったり、具体的な非行防止対策を検討したりすることができました。	◆児童・生徒を取り巻く環境は、日々、変化しているとともに常に新たな危険性が生まれています。その時々状況に即した内容の研修を行ったり、情報の共有化を図ったりすることで、学校・警察連絡制度のより一層の充実を図ることができるため、研修内容の検討が重要であると考えます。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆児童・生徒の健全育成及び非行防止並びに時宜を得た犯罪被害予防のため、学校警察連絡協議会を年3回行い、学校と習志野警察が相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図ったり研修を行ったりします。 ◆有事に備え、常日頃から警察等関係機関との連携を密にしていこうにより、学校・警察連絡制度の一層の充実を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料4

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	ケータイ緊急情報サービス登録者
事業名	100 ケータイ緊急情報サービスの提供		
事業の概要	◆防災情報のほか、火災等の消防情報、緊急時の注意を呼びかける防犯対策情報等を、市民にとっての重要情報としてメールでお知らせするとともに、登録者数の拡大を図ります。		
平成26年度事業目標	◆ホームページや広報誌、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図ります。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆犯罪発生状況等、重要情報の配信 ・市内犯罪発生状況:95件 ・火災:837件 ・迷子・行方不明者:17件 ・光化学スモッグ:13件 ・不審者情報:25件 ・災害情報:17件 ・土砂災害に関する情報:6件 ・習志野市の緊急事態:5件 ・その他:19件				
評価指標	◆ケータイ緊急情報サービス登録者数	平成25年度数値	◆10,867人 (平成25年12月末)	平成26年度数値	◆11,116人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆緊急かつ重要な情報を迅速に配信し、市内で発生している事案を周知することにより、必要な防犯対策等を講じてもらうことができました。	◆緊急情報への認識を高め、更なる登録者数の増加を図ります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成27年度事業目標	◆ホームページや広報誌、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成26年度】

資料 4

2 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子ども政策課・子育て支援課・子ども保育課
施策内容	3 健やかな発育・発達を支える支援体制の充実	事業対象者	未就学の子どもとその保護者・妊婦
事業名	101 利用者支援事業(子育て支援コンシェルジュ)の実施	平成26年度事業費決算見込み額	0円
事業の概要	◆一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与するため、子ども及びその保護者等または妊婦にとって身近な場所で、市が認定した子育て支援コンシェルジュが子どもに関するサービスや制度に係る相談や情報提供、必要に応じて関係機関につなげます。		
平成26年度事業目標	◆平成27年度の本格実施に向け、平成26年7月より東習志野こども園こどもセンターにおいて、市が認定した子育て支援コンシェルジュが子どもに関するサービスや制度に係る相談や情報提供、必要に応じて関係機関につなげます。		

1. 平成26年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成26年度数値をご記入ください。

平成26年度に実施した事業内容	◆子育て支援コンシェルジュを認定するため、所定の研修(講座)を実施し、保護者からの相談や情報提供等を行いました。 【養成講座の内容(10コマ 10時間45分)】(1)子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)について(45分)・(2)障がいのある子どもと保護者の支援について(60分)・(3)ファミリー・サポート・センター、病児・病後児保育等について(60分)・(4)虐待の予防及び子どもに係る相談窓口について(60分)・(5)保育所・幼稚園・こども園の入所・入園の手続き等について(120分)・(6)子どもに係る手当・助成制度について(60分)・(7)放課後児童会について(60分)・(8)母子保健について(60分)・(9)ひとり親の支援について(60分)・(10)個人情報保護及び守秘義務について(60分)				
評価指標	◆相談件数	平成25年度数値	—	平成26年度数値	◆45件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆子どもとよく遊びに行っているこどもセンターで、顔見知りの先生に相談ができることが子育ての安心感につながります。 ◆平成26年度は東習志野こども園だけの実施ですが、今後はもっと実施場所を広げてほしいです。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成26年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子どもと保護者が、身近で気軽に立ち寄れるこどもセンターにおいて、市の所定の研修(講座)を修了した子育て支援コンシェルジュから情報提供を受け、更に相談から関係機関につなげることで、子育てへの安心感につながりました。	◆平成27年度からの本格実施に向け、サポート体制を明確にする必要があります。 ◆子育て支援コンシェルジュの研修を定期的に行う必要があります。 ◆国の動向を注視し、情報共有を図る必要があります。
平成26年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成26年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成27年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成27年度事業目標	◆市内の全てのこどもセンターときらっ子ルームで実施し、子どもに係る情報提供や相談、関係機関につなげるとともに、情報共有を図ります。
------------	---